県道中徳三谷高松線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第2冊

三谷中原遺跡

2019.3 香川県教育委員会

序文

本書には、県道中徳三谷高松線建設事業に伴い平成13・14年度に発掘調査を実施した、香川県高松市三谷町中原に所在する三谷中原遺跡(みたになかはらいせき)の報告を収録しています。

発掘調査は、歴史地理学の研究成果により現在の県道三木国分寺線のやや北側に東西方向に敷設されたとされる古代南海道推定地を含む幅25 m、南北延長180 mの範囲について実施しました。調査の結果、道路側溝の可能性のある古代の溝は存在しましたが、後世の土地開発による削平が著しく、古代官道に関わる明確な証拠を検出するには至りませんでした。しかしながら、土壌の堆積や削平の歴史、周辺地形との関係、そして出土品を詳細に調査し、周辺の土地開発の歴史や県内の道路関係遺構を精査することにより、少しでも古代官道の存在の可能性について研究する材料を提供することができたものと考えております。

発掘調査終了後、本報告書刊行までに長時間が経過しましたが、この成果が本県の歴史研究の資料として今後広く活用されるとともに、埋蔵文化財に対する理解と関心が一層深められる一助となれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査から出土品の整理・報告に至るまでの間、県土木部道路課並びに関係 各機関・地元関係各位には多大なご協力とご指導をいただきました。ここに深く感謝の意を表しますと ともに、今後とも埋蔵文化財保護行政並びに当センターへのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 31 年 3 月 15 日

香川県埋蔵文化財センター 所長 西岡 達哉

例 言

- 1. 本書は、県道中徳三谷高松線建設事業に伴い平成13年度と平成14年度に実施した三谷中原遺跡(みたになかはらいせき)の発掘調査の本報告である。
- 2. 発掘調査及び整理作業は香川県教育委員会が調査主体となり、発掘調査は平成13年度と平成14年度に当時の財団法人香川県埋蔵文化財調査センター(現在、解散)に委託して実施し、整理作業は 平成29年度に香川県埋蔵文化財センターが実施した。
- 3. 発掘調査時及び整理作業時の調査担当機関における組織構成は、次のとおりである。 平成13年度

香川県教育員会事務局文化行政課

総括 課長 北原和利、課長補佐 小国史郎

総務 副主幹 中村禎伸、主査 須崎陽子、主事 亀田幸一

文化財 副主幹 大山真充、主任 西岡達哉、文化財専門員 古野徳久・宮崎哲治

財団法人香川県埋蔵文化財調査センター

総括 所長 小原克己、次長 川原裕章

総務 参事 河野浩征、副主幹 大西誠治、係長 多田敏弘、主査 山本和代

調査 参事 梅木正信、主任文化財専門員 廣瀬常雄・藤好史郎

調查担当 文化財専門員 川原和生、主任技師 長井博志、調査技術員 武井美和

平成 14 年度

香川県教育員会事務局文化行政課

総括 課長 北原和利、課長補佐 渡邊勇人

総務 主任 香川浩章 主事 亀田幸一

文化財 副主幹 大山真充、文化財専門員 片桐孝浩・古野徳久・佐藤竜馬

財団法人香川県埋蔵文化財調査センター

総括 所長 小原克己、次長 渡部明夫

総務 参事 河野浩征、副主幹 野保昌弘、係長 多田敏弘、主査 山本和代

調査 参事 梅木正信、主任文化財専門員 藤好史郎

調查担当 文化財専門員 森下友子、主任技師 小林明弘、調查技術員 加納裕之·武井美和 平成 29 年度 整理

香川県教育委員会事務局生涯学習·文化財課

総括 課長 小柳 和代 副課長 片桐孝浩

文化財グループ 主任文化財専門員 信里芳紀・乗松真也

香川県埋蔵文化財センター

総括 所長 増田宏 次長 森格也

資料普及課 課長 古野徳久

整理担当 主任文化財専門員 森下英治

- 4. 本書は第4章については受託者による分析等成果原稿を掲載したほかは、執筆及び全体編集を森下 英治が担当した。
- 5. 調査、整理にあたって、次の機関や方々に協力を得た。記して謝意を表したい。(敬称略) 香川県土木部道路課、地元各自治会、地元各水利組合、高松市教育委員会
- 6. 調査時に使用した遺構略号は、次のとおりである。

SH 竪穴建物 SP 柱穴 SK 土坑 SD 溝 SR 河川

SX 性格不明遺構

なお、調査時に付与した遺構略号は当該報告においても変更していないので、当該報告で確定した 遺構の性格と遺構略号が一致しないものもある。

- 7. 挿図に国土地理院数値地図 25000 (地図画像) 徳島·岡山及び丸亀、同数値地図 25000 (土地条件)、 高松市発行都市計画図を使用した。
- 8. 本書で使用している座標は調査時に使用した国土座標系日本測地系第Ⅳ系を踏襲している。
- 9. 本書に掲載した写真は第4章を除き、調査担当者が撮影したものである。
- 10. 土層断面図における土色の一部は、農林水産省農林水産技術会議事務局 監修・財団法人日本色彩 研究所 色票監修『新版 標準土色帖』に従って表示した。

本文目次

第1章	調査に至る経緯と経過1
第2章	遺跡の立地と環境
第1節 第2節	地理的環境····································
第3章	調査成果
第1節 第2節	調査地区割及び層序・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
第4章	自然科学的分析
第1節	樹種同定······75
第5章	総括
第1節	複数の調査区にまたがる遺構の整理・・・・・・・・・・・・・・・・78
第2節	周辺微地形と溝の水利環境上の位置・・・・・・・・・・・・83
第3節	古代南海道遺構としての位置づけ・・・・・・・85
第4節	まとめ・・・・・・・100

挿図目次

第1図	調査地位置図・・・・・・1	第 46 図	Ⅳ区 SD03_17 断面図、出土遺物実測図 · · · · · · 52
第2図	高松平野南部の土地条件図・・・・・・・2	第 47 図	VI区 SD02·04·06·09·10·11 断面図、
第3図	周辺遺跡分布図・・・・・・4		出土遺物実測図53
第4図	調査地区割図・・・・・・8	第 48 図	Ⅷ区 SD01·02 断面図、出土遺物実測図·····54
第5図	全体平面図及び縮小断面図9	第 49 図	Ⅷ区 SD01 · 02 · 03 · 04 · Ⅵ区 SD01 断面図、
第6図	I 区調査区壁面断面図 (1)······12		出土遺物実測図 · · · · · · 55
第7図	I 区調査区壁面断面図 (2)······13	第 50 図	IX区 SD12 断面図、出土遺物実測図 · · · · · · · 56
第8図	Ⅱ区調査区壁面断面図・・・・・・・・・・14	第 51 図	IX区 SD07 · 13 · 14 · 16 ~ 18 · 20 ~ 22 断面図 57
第9図	Ⅲ区調査区壁面断面図(1)西壁15	第 52 図	Ⅲ区SX04· 区区SX05 平·断面図、
第 10 図	Ⅲ区調査区壁面断面図 (2) 東壁16		出土遺物実測図 · · · · · · · 58
第11図	Ⅲ区調査区壁面断面図(3)東西断面17	第 53 図	河川跡流路区分図・・・・・59
第12図	Ⅳ区調査区壁面断面図18	第 54 図	VI区 SR01 出土遺物実測図 1·····60
第13図	V 区調査区壁面断面図······19	第 55 図	VI区 SR01 出土遺物実測図 2·····61
第 14 図	Ⅵ区調査区壁面断面図20	第 56 図	Ⅷ区 SR01 · SR02 出土遺物実測図 1 · · · · · · · 62
第 15 図	Ⅲ区調査区壁面断面図 (1) · · · · · · · · · 21	第 57 図	Ⅷ区 SR01 · SR02 出土遺物実測図 2 · · · · · · · 63
第16図	Ⅲ区調査区壁面断面図 (2) · · · · · · · · · 22	第 58 図	Ⅷ区 SR01 · SR02 出土遺物実測図 3 · · · · · · · · 64
第17図	Ⅷ区調査区壁面断面図 (1)・・・・・・・23	第 59 図	Ⅷ区 SR01 · SR02 出土遺物実測図 4 · · · · · · · 65
第18図	Ⅷ区調査区壁面断面図 (2) · · · · · · · · · · · · 24	第 60 図	Ⅷ区 SR01 出土遺物実測図 1·····66
第19図	Ⅷ区調査区壁面断面図 (3) · · · · · · · · · 25	第 61 図	Ⅷ区 SR01 出土遺物実測図 2······67
第 20 図	Ⅷ区調査区壁面断面図 (4) · · · · · · · · · 26	第 62 図	Ⅷ区 SR01 出土遺物実測図 3·····68
第 21 図	Ⅷ区調査区壁面断面図(5)中央トレンチ・・・・・27	第 63 図	Ⅷ区 SR02 出土遺物実測図 1·····69
第 22 図	区調査区壁面断面図(1)東壁1 · · · · · · · · 28	第 64 図	Ⅷ区 SR02 出土遺物実測図 2······70
第23図	区調査区壁面断面図(2)東壁2 · · · · · · · · 29	第 65 図	Ⅷ区 SR02 出土遺物実測図 3······71
第24図	IX区調査区壁面断面図(3) 西壁 1 · · · · · · · · 30	第 66 図	Ⅷ区 SR02 出土遺物実測図 4·····72
第 25 図	区図調査区壁面断面図(4)西壁231	第 67 図	IX区 SR03 出土遺物実測図 · · · · · · · 73
第 26 図	区調査区壁面断面図(5)南壁⋯⋯⋯32	第 68 図	包含層出土遺物実測図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・74
第 27 図	Ⅲ区 SH01 平・断面図、出土遺物実測図 · · · · · 33	第 69 図	出土木製品の光学顕微鏡写真・・・・・・77
第28図	I 区 SK01 平・断面図 … 33	第 70 図	三谷中原遺跡遺構変遷図 · · · · · · · 79
第 29 図	Ⅲ区 SK01 平・断面図、出土遺物実測図	第71図	三谷中原遺跡周辺の微地形及び条里関連
	34		遺構等分布図 · · · · · · 82
第 30 図	Ⅳ区 SK01 平·断面図 · · · · · · 34	第72図	高松市調査南海道推定地調査区の概要・・・・・87
第 31 図	V 区 SK01 ~ 04 平·断面図 ·····35	第73図	坪井遺跡(東かがわ市) 道路遺構分布図・・・・・90
第 32 図	Ⅵ区 SK01 ~ 05 平・断面図 · · · · · · 36	第 74 図	川原遺跡(高松市)道路遺構分布図・・・・・・90
第 33 図	Ⅵ区 SK08 平・断面図、出土遺物実測図 ·····37	第75図	岸の上遺跡(丸亀市)道路遺構等分布図・・・・・91
第 34 図	WI区 SK01 平·断面図 · · · · · · 38	第 76 図	四国学院大学構內遺跡道路遺構分布図 … 92
第 35 図	Ⅲ区 SK02 平·断面図、出土遺物実測図 1 ····39	第77図	仲村廃寺跡道路遺構分布図 … 94
第 36 図	Ⅲ区 SK02 出土遺物実測図 2 · · · · · · · · 40	第 78 図	旧練兵場遺跡道路遺構分布図(1)・・・・・・95
第 37 図	Ⅲ区 SK02 出土遺物実測図 3 ······41	第 79 図	旧練兵場遺跡道路遺構分布図 (2) · · · · · · · 96
第 38 図	Ⅲ区 SK02 出土遺物実測図 4 ······42	第80図	旧練兵場遺跡道路遺構分布図 (3) · · · · · · · 97
第 39 図	区区 SK02 平·断面図 · · · · · · · 43	第81図	東坂元三の池遺跡(丸亀市)
第 40 図	I 区 SD01 ∼ 07 断面図、出土遺物実測図 ·····45		道路遺構分布図 · · · · · · 98
第 41 図	Ⅲ区 SD05 ~ 08 断面図 · · · · · · · · · 46		
第 42 図	Ⅲ区 SD05 ~ 07 出土遺物実測図 · · · · · · · · 47	付図 三	谷中原遺跡全体図(1/200)
第 43 図	Ⅲ区 SD09~11·19 断面図 · · · · · · · 48		
第 44 図	IV · V区 SD01 · 02 断面図 · · · · · · · 49		
第 45 図	Ⅳ · V区 SD01 · 02 出土遺物実測図 · · · · · · · 50		

表目次

第1表	周辺遺跡一覧表
第2表	出土木製品の樹種同定結果一覧・・・・・・75
第3表	三谷中原遺跡出土土器観察表 · · · · · · · · 103
第4表	三谷中原遺跡出土木器観察表 · · · · · · · 119
第5表	三谷中原遺跡出土石器観察表・・・・・・119

図版目次

凶版 1	凶版 14
調査地から西側(古代南海道推定線付近から六ツ目山方	X区 SD12 (西より)
面)を望む	IX区 SD12 断面 (東より)
図版 2	図版 15
調査地から東側(古代南海道推定線付近から川島方面)を	IX区 SD12 調査区北壁(南より)
望む	IX区 SD21 (南より)
	
Ⅲ区・Ⅳ区空中写真(左が北)	Ⅸ区から北側(屋島方面)を望む
図版3	X区 SD17 (北より)
調査地から北側(屋島方面)を望む	IX区 SR03 断面(西より)
I 区全景(北より)	図版 16
I 区西側拡張区全景(北より)	遺物写真(WI区 SK02)
図版 4	$11 \cdot 12 \cdot 14 \cdot 15 \cdot 16 \cdot 20 \cdot 21 \cdot 30 \cdot 35$
I a 区 SD01 ②断面(南より)	図版 17
I 区 SD01・SD06 (南より)	遺物写真(Ⅷ区SK02、Ⅲ区SK01·SD05·SD06、Ⅵ区
I 区畦下 SD01 (北より)	SD01·SD02、M区SR02、包含層)
I a 区 SD01 ③断面(南より)	6·39·40·41·42·45·49·50·52·53·54·68·69·93·101·364·398
I区全景(北より)	図版 18
I 区西壁(東より)	遺物写真(I a 区 SD01、I b 区 SD01、Ⅲ区 SD05·
図版5	SD06·SD07、Ⅳ区SD01·SD04、Va区SD01)
Ⅲ区 SD05・SD06 最北畦(南より)	$55 \cdot 56 \cdot 57 \cdot 59 \cdot 60 \cdot 61 \cdot 64 \cdot 66 \cdot 70 \cdot 71 \cdot 72 \cdot 73 \cdot 76 \cdot 77 \cdot 78 \cdot 79$
Ⅲ区 SD08·SD07 分岐部分	図版 19
Ⅲ区 SD07 西畦 (西より)	遺物写真(Ⅲ区SX04、Ⅳ区SD01·SD02·SD05·SD06、
図版 6	Va区SD01·SD02、Ⅷ区SD01·SD02·西拡張区
Ⅲ区 SD11 (南より)	SD02、区区SD12·西拡張区SD12)
Ⅲ区 SX04 東壁断面 (西より)	80.82.83.84.85.87.88.89.90.94.95.96.97.98.99.100
Ⅲ区 SX05 東壁断面 (西より)	109 · 110 · 111 · 112 · 113 · 114 · 115 · 116 · 117 · 119 · 120 ·
Ⅲ区 SX04 (西より)	121 · 122 · 125 · 126 · 128 · 129
Ⅲ区西側拡張(北より)	
	図版 20
図版7	遺物写真(VI区SR01)
Ⅲ区 全景(北より)	130 · 132 · 136 · 140 · 141 · 142 · 144 · 145 · 146 · 147 · 148 · 149 ·
Ⅳ区 全景(南より)	$151 \cdot 152 \cdot 154 \cdot 156 \cdot 157 \cdot 159$
図版 8	図版 21
IV区 SD01 完掘(北より)	遺物写真(WI区 SR01)
IV区 SD01・SD02 部分断面(南より)	$160 \cdot 161 \cdot 162 \cdot 164 \cdot 168 \cdot 169 \cdot 170 \cdot 171 \cdot 177 \cdot 181 \cdot 182 \cdot 197 \cdot$
IV区 SD02 断面及び SD01 中層黒色土器 (82) 出土状況 (北より)	201 · 204 · 205 · 208 · 212 · 213
図版 9	図版 22
V区完掘(北より)	遺物写真(WI区 SR01、VI区 SK08)
V区 SD02 完掘 (北より)	10.215.216.217.218.219.220.221.222.225.226.227.
図版 10	228 · 229 · 230 · 231 · 232 · 233 · 234 · 235 · 236 · 237 · 239 ·
V a 区 SD01·SD02 断面 (北より)	240 · 241 · 242 · 243 · 244
▼ a 区 SD01 SD02 断菌(えより) ▼区 SH01 床面遺物出土状況(西より)	
	図版 23
VII区 SK02 (南より)	遺物写真(WI区 SR01)
WI区 SR02 (南より)	$245 \cdot 250 \cdot 251 \cdot 252 \cdot 253 \cdot 254 \cdot 263 \cdot 264 \cdot 267 \cdot 269 \cdot 270 \cdot 272 \cdot$
V区完掘(南より)	273 · 274
Ⅷ区SH01・SD02(西より)	図版 24
Ⅷ区 SK02 (東より)	遺物写真(Ⅷ区 SR01·SR02)
図版 11	276 · 277 · 278 · 279 · 282 · 290 · 291 · 293 · 295 · 296 · 300 · 302 ·
Ⅲ区南拡張 SR01 検出状況(北より)	310.320
▼区南拡張 SR01 (北より)	図版 25
図版 12	遺物写真(WI区 SR02·包含層、IX区 SR03·包含層、
	V b 区包含層)
	335·336·337·338·340·341·343·348·349·350·351·360·
図版 13	
	$365 \cdot 367 \cdot 369 \cdot 371 \cdot 374 \cdot 375 \cdot 376 \cdot 378 \cdot 379 \cdot 380 \cdot 382 \cdot 386$
MI区 SR01 (北より)	
Ⅷ区南壁(北より)	

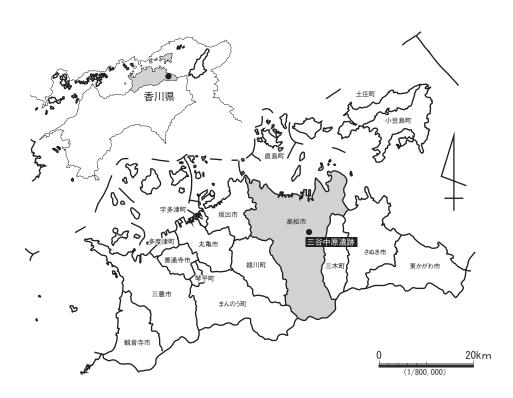
Ⅷ区 SR02 遺物出土状況

第1章 調査に至る経緯と経過

高松平野南部に位置していた高松空港が平成元年に南部の同市香南町の山間に移転した後の広大な跡地の有効活用のため、県は翌年度から「技術・情報・文化の複合拠点」インテリジェントパークとして整備を進め、あわせて利便性を高めるため東西南北へ県道の拡幅・新設を並行して行った。県道中徳三谷高松線のうちインテリジェントパークから南に新設されたルートは、用地内の埋蔵文化財の保護について、県高松土木事務所と県教育委員会事務局文化行政課(現在「生涯学習・文化財課」、以下「県教委」という)との間で協議が進められ、平成10年度から県教委が試掘調査を実施して「上林遺跡」「北野遺跡」「鎌野西遺跡」「三谷中原遺跡」の所在を確認、順次財団法人香川県埋蔵文化財調査センターに委託して本発掘調査を実施した。

三谷中原遺跡はインテリジェントパークから県道三木国分寺線まで南に延びる新設路線のうち最も南に位置し、平成13年度に2,180㎡、平成14年度に2,404㎡の調査を直営で実施した。出土遺物は土器等で28リットル入りコンテナで62箱分である。

本発掘調査終了後、長期が経過したが、平成23年度に県教委と県土木部道路課との間で県道関係遺跡の整理作業を計画的に実施する旨の協議が整い、平成29年度に三谷中原遺跡の整理作業を実施し、本報告書は翌30年度に印刷を行った。



第1図 調査地位置図

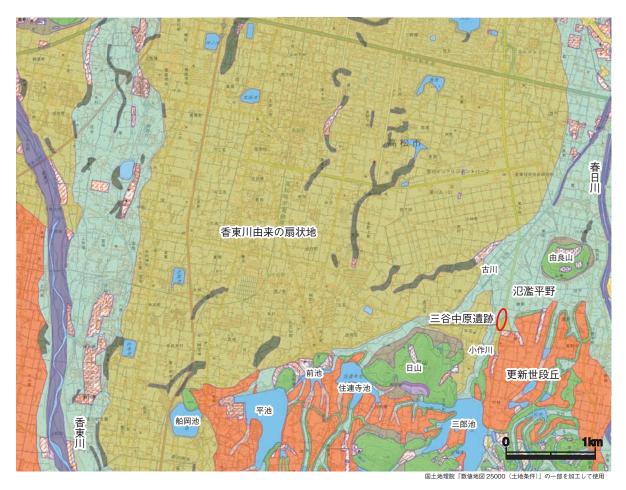
第2章 遺跡の立地と環境

第1節 地理的環境

香川県は四国東北部の瀬戸内海沿岸地域にある。県の平面形はおよそ半月形を呈し、南に標高800~1,000 mの讃岐山脈が連なり、北に讃岐平野が展開する。河川は讃岐山脈に源を発し、北流して瀬戸内海に注ぐ。県面積は全国最小(1,876km)で、平地と山地は相半ばする。北は瀬戸内海を挟み、岡山県と接し、東及び南は徳島県、西は愛媛県に接する。瀬戸内海に面する海岸線は延長約724kmあり、面積の割に海岸線が長いのが特徴である。気候は四季を通じて温暖で、災害も少ない温和な土地柄である。

讃岐山脈は中生代白亜紀に生成された領家帯花崗岩及びその上部に堆積した和泉帯砂岩を基盤とし、その北には新生代新第三紀中新世に活動した瀬戸内火山帯によって生成された凝灰岩や安山岩等の火山性岩石を山上に冠する円錐形(ビュート)や台地状(メサ)といった山塊が点在する。円錐形の山塊は讃岐富士と呼ばれる飯野山(丸亀市)、台地状の山塊は源平合戦で著名な屋島など、特徴的な山塊が点在する。山間を縫って流下する中小河川は更新世から完新世にかけて多量の土砂をもたらし、埋没谷を埋め尽くし現在の扇状地平野を生成した。

讃岐平野と総称される平野は、西から三豊平野、丸亀平野、高松平野に細分できる。いずれの平野も そのような扇状地が発達する点で共通し、更新世末期以後の生活痕跡が地表面下の比較的浅い位置で確 認できる。高松平野は高松市南部の香川町付近から扇状に広がる香東川が形成した扇状地がもっとも大



第2図 高松平野南部の土地条件図

きく、南西から北東に向かっての支流や埋没河川が数多く流下する。その自然地形の凹凸を利用して人々の営みが展開した。

三谷中原遺跡は香東川より東側の扇状地帯南縁、標高 21 ~ 23 m地点に立地する。遺跡の南には瘤山 (116 m)・日山 (192 m) などの独立性の低丘陵が北東方向に小尾根を延ばし、その先端部に取り付く 高位段丘が遺跡背後の間際まで迫る。日山の南に所在する三郎池はそのような丘陵間の谷水を堰き止めた巨大な谷池で、吐水は小作川として流下する。西方の住蓮寺池や前池付近にも同様の谷水が流下し、それらが合流して北東方向に古川として流下し、さらに春日川に合流する。小作川と古川合流点は遺跡から約 600 m北西にあり、そこから下流域は氾濫平野(沖積低地)となる。

以上のように当遺跡は高松平野南部の扇状地側面末端部に位置し、遺跡の基盤に更新世末期から完新 世にかけての埋没した開析谷や旧河道が複雑に重複しながら存在するといった地形・地質環境にあった。

第2節 歷史的環境

旧石器時代

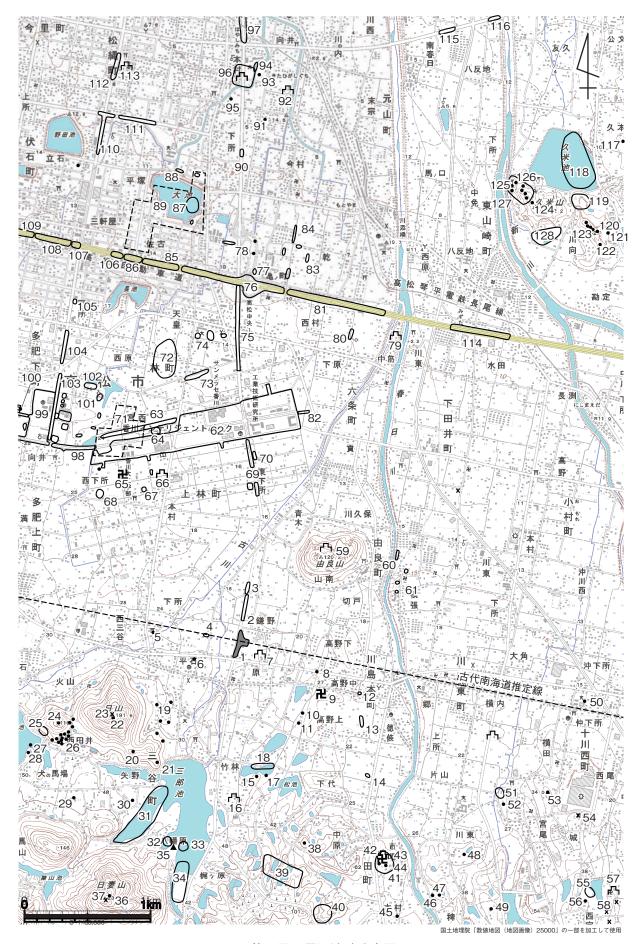
当遺跡南西、住蓮寺池岸付近の雨山南遺跡(25)で国府型ナイフ形石器が採集されている。また西500mの横内東遺跡(6)では一側縁加工のナイフ形石器が複数点出土しており日山周辺における旧石器時代遺跡の群在が予測される。正式な火山灰分析例はないが、AT火山灰降灰以後の後期旧石器時代ナイフ形石器文化後半期における遺跡群である。石器石材はいずれも平野の西に所在する五色台山塊頂部、国分台遺跡周辺等で産出するサヌカイトを使用する。

縄文時代

大池遺跡(87)で有舌尖頭器が採集されている。サヌカイト製で基部が逆三角形状に突出する草創期に所属するものである。そのほか東山崎水田遺跡(114)、十川東平田遺跡や、三谷三郎池 C 遺跡(33)でも有舌尖頭器が出土している。このうち東山崎水田遺跡及び大池遺跡は埋没丘陵の存在が想定し難い標高 10 m前後の沖積地で出土したもので、旧石器時代の開析谷が急速に埋没したことを示す。それを傍証する材料として、標高 17 ~ 20 mに所在する空港跡地遺跡(62)では弥生時代以後の遺構面下位の自然河川跡で鬼界アカホヤ火山灰純層のレンズ堆積層が、またそれら河川跡の基盤となる粘土層では鬼界アカホヤ火山灰を含まない AT 火山灰の二次堆積層が検出されており、鬼界アカホヤ火山灰降灰前後に谷の堆積が急速に進行したことがわかる。なお、井出東 I 遺跡(106)では GL70cm で層厚 10cmのアカホヤ火山灰の水平堆積が認められた。

アカホヤ火山灰降灰後の前期の遺跡としては、東植田町の下司遺跡で羽島下層式土器が少量採集されており、山間地の遺跡に早期・前期の遺跡が知られている。まとまった土器資料が確認できるのは後期以後である。後期は前半の彦崎 K I 式(永井 II ~ IV 式)の資料が各所で出土する。平野東側丘陵裾の前田東中村遺跡 D 区自然河川跡 SR01 でまとまった資料が出土している。小山南谷遺跡では自然河川跡 SR625 で津雲 A 式(永井 I 式)、同 SR626 で彦崎 K I 式の資料が出土している。三谷三郎池 C 遺跡では後期後半の凹線文系である福田 K II 式土器が出土している。

晩期に至ると居石遺跡(108)の自然河川跡から木製品とともに晩期前半の谷尻式土器が出土している。 後半期の突帯文土器は東中筋遺跡で上下2層で出土しており、上層では弥生時代前期の遠賀川系土器が 伴う。



第3図 周辺遺跡分布図

三谷中原遺跡 高松市三谷町 高松市川島本町高野中 高松市川島本町高野市 高松市川島本町 高松市川島本町 高松市川島本町 11 13 13 14 14 15 16 16 16 16 16 16 16	番号	遺跡名	所在地
2 鎌野西遺跡 高松市上林町 3 北野遺跡 高松市上林町 5 加摩羅神社古墳 高松市三谷町 6 機内東遺跡 高松市三谷町 7 鎌野城跡 高松市二局本町高野中 9 高野東九山古墳 高松市川島本町高野中 10 高野南 1 号墳 高松市川島本町高野市 10 高野南 1 号墳 高松市川島本町高野市 10 高野市 1 号墳 高松市川島本町高野市 11 高野市 1 号墳 高松市川島本町高野市 12 川島本町山田遺跡 高松市田島本町高野市 13 川島本町遺跡 高松市田島本町高野市 14 川島本町遺跡 高松市田島本町高野市 15 三谷市市 2号墳 高松市三谷町 16 三谷城跡 高松市三谷町 17 石舟池1 号寸 高松市三谷町 16 石舟池1 号寸 高松市三谷町 17 石舟池1 号寸 高松市三谷町 18 石井池1 号寸 高松市三谷町 19 平石上古墳郡 高松市三谷町 20 宿山頂在支車 高松市三谷町日山山頂 21 宿山山頂古寸 高松市三谷町 22 日山山頂彦・ 高松市三谷町 <th>-</th> <th></th> <th></th>	-		
3 北野遺跡 高松市上林町 高松市三谷町	-		
5 加摩羅神社古墳 高松市三谷町 6 横内東遺跡 高松市本町 8 高野丸山古墳 高松市川島本町高野中 10 高野南 1号墳 高松市川島本町高野市 11 高野南 2号墳 高松市川島本町高野市 12 川島本町山田遺跡 高松市川島本町高野市 13 川島本町高野南 高松市川島本町高野雨 14 川島本町高野南 高松市川島本町 15 三谷石舟古墳 高松市三谷町 16 三谷城跡 高松市三谷町 17 石舟池1~5石棺 高松市三谷町 16 三谷城跡 高松市三谷町 17 石舟池1~10号墳 高松市三谷町 18 石舟池1~10号墳 高松市三谷町 19 平石上古墳群 高松市三谷町 19 平石上古墳群 高松市三谷町 19 平石上古墳群 高松市三谷町 20 稲山(小日山)1号墳 高松市三谷町 21 稲山(小日山)1号墳 高松市三谷町 22 日山山頂古墳 高松市三谷町 23 日山山頂古墳 高松市三谷町 24 雨山山頂古墳 高松市三谷町 25 雨山南土 13号墳 高松市三谷町 26 極連寺池 1号墳 高松市三谷町 27 住運寺池 1号墳 高松市三谷町 30 矢野面占墳 高松市三谷町 31 三谷三郎池遺跡 高松市三谷町 32 三谷三郎池遺跡 高松市三谷町 33 三谷三郎池遺跡	-		
5 加摩羅神社古墳 高松市三谷町 6 横内東遺跡 高松市本町 8 高野丸山古墳 高松市川島本町高野中 10 高野南 1号墳 高松市川島本町高野市 11 高野南 2号墳 高松市川島本町高野市 12 川島本町山田遺跡 高松市川島本町高野市 13 川島本町高野南 高松市川島本町高野雨 14 川島本町高野南 高松市川島本町 15 三谷石舟古墳 高松市三谷町 16 三谷城跡 高松市三谷町 17 石舟池1~5石棺 高松市三谷町 16 三谷城跡 高松市三谷町 17 石舟池1~10号墳 高松市三谷町 18 石舟池1~10号墳 高松市三谷町 19 平石上古墳群 高松市三谷町 19 平石上古墳群 高松市三谷町 19 平石上古墳群 高松市三谷町 20 稲山(小日山)1号墳 高松市三谷町 21 稲山(小日山)1号墳 高松市三谷町 22 日山山頂古墳 高松市三谷町 23 日山山頂古墳 高松市三谷町 24 雨山山頂古墳 高松市三谷町 25 雨山南土 13号墳 高松市三谷町 26 極連寺池 1号墳 高松市三谷町 27 住運寺池 1号墳 高松市三谷町 30 矢野面占墳 高松市三谷町 31 三谷三郎池遺跡 高松市三谷町 32 三谷三郎池遺跡 高松市三谷町 33 三谷三郎池遺跡	4	旧南海道跡	高松市三谷町
7 織野城跡 高松市三谷町鎌野 8 高野九山古墳 高松市川島本町高野中 9 高野庵寺 高松市川島本町高野南 10 高野南 1 号墳 高松市川島本町高野南 11 高野南 2 号墳 高松市川島本町 13 川島本町遺跡 高松市川島本町 14 川島本町遺跡 高松市出日町 15 三谷城跡 高松市三谷町 16 三谷城島 高松市三谷町 17 石舟池 1 号石棺 高松市三谷町 18 石舟池 1 号石棺 高松市三谷町 19 平石上古墳群 高松市三谷町 19 平石上古墳群 高松市三谷町 20 館山 (小日山) 2 号墳 高松市三谷町 21 館山 (小日山) 2 号墳 高松市三谷町 22 日山山頂話墳 高松市三谷町三谷町 23 日山山頂話塚 高松市三谷町田山山頂 24 雨山山百台墳 高松市三谷町大の馬場矢野面 25 雨山市遺跡 高松市三谷町 26 板車市2分町 高松市三谷町 27 在連寺池 1 号墳 高松市三谷町 28 大の馬場矢野面 高松市三谷町三郎池 39 三谷画的池遺跡 高松市三谷町三郎池 <th>5</th> <th>加摩羅神社古墳</th> <th></th>	5	加摩羅神社古墳	
8 高野成寺 高松市川島本町高野中 10 高野南 1号墳 高松市川島本町高野南 12 川島本町山田遺跡 高松市川島本町高野南 12 川島本町山田遺跡 高松市川島本町 13 川島本町南遺跡 高松市川島本町 14 川島本町南遺跡 高松市川島本町 15 三谷石舟古墳 高松市三谷町 16 三谷城跡 高松市三谷町 17 石舟池 1 号石村 高松市三谷町 18 石舟池 1 ~ 10 号墳 高松市三谷町 19 平石上古墳群 高松市三谷町 20 稲山(小日山)1 号墳 高松市三谷町 21 稲山(小日山)2 号墳 高松市三谷町 22 稲山山頂店墳 高松市三谷町日 23 田山山頂告墳 高松市三谷町日 24 雨山山頂告墳 高松市三谷町日山山頂 25 雨山南遺跡 高松市三谷町日 26 雨山面自 ~ 13 号墳 高松市三谷町日 27 住連寺池 2 号墳 高松市三谷町 28 住連寺池 2 号墳 高松市三谷町 29 大の馬山寺 高松市三谷町 31 三谷三郎池遺跡 高松市三谷町三郎池 32 三谷三郎池遺跡 高松市	6	横内東遺跡	高松市林町
8 高野成寺 高松市川島本町高野中 10 高野南 1号墳 高松市川島本町高野南 12 川島本町山田遺跡 高松市川島本町高野南 12 川島本町山田遺跡 高松市川島本町 13 川島本町南遺跡 高松市川島本町 14 川島本町南遺跡 高松市川島本町 15 三谷石舟古墳 高松市三谷町 16 三谷城跡 高松市三谷町 17 石舟池 1 号石村 高松市三谷町 18 石舟池 1 ~ 10 号墳 高松市三谷町 19 平石上古墳群 高松市三谷町 20 稲山(小日山)1 号墳 高松市三谷町 21 稲山(小日山)2 号墳 高松市三谷町 22 稲山山頂店墳 高松市三谷町日 23 田山山頂告墳 高松市三谷町日 24 雨山山頂告墳 高松市三谷町日山山頂 25 雨山南遺跡 高松市三谷町日 26 雨山面自 ~ 13 号墳 高松市三谷町日 27 住連寺池 2 号墳 高松市三谷町 28 住連寺池 2 号墳 高松市三谷町 29 大の馬山寺 高松市三谷町 31 三谷三郎池遺跡 高松市三谷町三郎池 32 三谷三郎池遺跡 高松市	7	鎌野城跡	高松市三谷町鎌野
10 高野南 1 号墳 高松市川島本町高野南 高松市川島本町 高松市三谷町 日山山頂古墳 高松市三谷町 高松市三谷町 高松市三谷町 日山山頂古墳 高松市三谷町田山山頂 百松市三谷町 日山山頂 西山山頂 西山山頂 西山山頂 西山山頂 西山市 市公市 市公市 日山山頂 高松市三谷町 田山山頂 西山市 高松市三谷町 田山山頂 西山市 高松市三谷町 田山山頂 高松市三谷町 田山山頂 高松市三谷町 四山市 3号墳 高松市三谷町 四山市 3号墳 高松市三谷町 三郎池 3名松市三谷町 三郎池 3名松市三谷町 三郎池 3名松市三谷町三郎池 高松市三谷町三郎池 高松市三谷町三郎池 高松市三谷町三郎池 高松市三谷町三郎池 高松市三谷町 三郎池 高松市三谷町 田地山頂 高松市三谷町 田地 高松市三谷町 田地 高松市三谷町 田地 高松市三谷町 北東山山頂 高松市三谷町 東山山頂 高松市三谷町 東山山頂 高松市出町 市場 高松市池田町 市場 名松市池田町 市場 名松市池田町 市場 名松市池田町 市場 名松市池田町 東町山市 高松市加田町 東町山市 高松市加田町 東町山市 高松市加田町 東町山市 高松市加田町 東町山市 高松市加島東町 高松市川島東町 高松市川島東町 高松市川島東町 高松市川島東町 高松市川島東町 高松市川島東町 高松市川島東町 高松市川島東町 高松市川東町 高松市田町町 高松市田町 高松市田町町 高松市田町町 高松市田町 高松市田町町 高松市田町 高松田町 高松田町 高松市田町 南本田町 南本田町 南本田町 京本田田町 京本田田町 京本田田町 京本田田町 京本田田町 京本田田町 京本田田町	8	高野丸山古墳	
11 高野南 2 号墳	9	高野廃寺	高松市川島本町
12 川島本町山田遺跡 高松市川島本町 高松市川島本町 高松市川島本町 高松市池田町 高松市三谷町 石舟池1~10号墳 高松市三谷町 高松市三谷町 石舟池1~10号墳 高松市三谷町 高松市三谷町 高松市三谷町 高松市三谷町 五舟池1~10号墳 高松市三谷町 高松市三谷町 五舟池1~10号墳 高松市三谷町 五舟池1~10号墳 高松市三谷町 五舟池1~10号墳 高松市三谷町三谷 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	10		高松市川島本町高野南
13	11	高野南2号墳	高松市川島本町高野南
14 川島本町南遺跡 高松市三谷町 高松市三谷町 16 三谷石舟古墳 高松市三谷町 高松市三谷町 18 石舟池1~10号墳 高松市三谷町 高松市三谷町 19 平石上古墳群 高松市三谷町 高松市三谷町 19 平石上古墳群 高松市三谷町 高松市三谷町 19 平石上古墳群 高松市三谷町三谷 高松市三谷町三台 高松市三谷町三白谷 高松市三谷町田山山頂 高松市三谷町田山山頂 高松市三谷町田山山頂 高松市三谷町田山山頂 高松市三谷町田山山頂 高松市三谷町田山山頂 高松市三谷町田山山頂 高松市三谷町田山山頂 高松市三谷町町上の馬場 16 17 18 19 19 19 19 19 19 19	12	川島本町山田遺跡	高松市川島本町
15 三谷石舟古墳	-		
16 三谷城跡	-		
17 石舟池 1 号石棺	-		7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
18	-		
9 平石上古墳群 高松市三谷町 高松市三谷町 高松市三谷町三谷 高松市三谷町三谷 高松市三谷町三谷 高松市三谷町三谷 高松市三谷町三谷 高松市三谷町田山山頂 高松市三谷町 西北市三谷町 西北市三谷町三郎池 高松市三谷町三郎池 高松市三谷町三郎池 高松市三谷町三郎池 高松市三谷町三郎池 西松市三谷町三郎池 西松市三谷町三郎池 西松市三谷町三郎池 西松市三谷町三郎池 西松市三谷町 西北市三谷町 西北市三谷町 西松市三谷町 西松市三谷町 西北市三谷町 西松市三谷町 西松市三谷町 西松市三谷町 西松市三谷町 西松市池田町 西松市池田町 西松市池田町 田町市場 光専寺山西古墳 高松市池田町 本村遺跡 高松市池田町 東町 高松市川島東町 高松市川島東町 高松市川島東町 西北市川島東町 西北市川島東町 西北市川島東町 西北市川島東町 西北市川島東町 西北市川島東町 西北市川島東町 西北市川島東町 西松市川馬東町 西北市川東町 西北市川東町 西北市川東町 西北市川東町 西北市川東町 西北市川東町 西北町市地島 西北市川東町 西北市川東町 西北市川東町 西北市川東町 西北市川東町 西北市山東町 西松市十川東町 西松市十川東町 西松市十川東町 西北町 西松市十川東町 西松市十川東町 西北町市地良山 西北町山東山 西北市山東町 西北町山良山 西北市山東町 西北市山東町 西北市山東町 西北町山良山 西北市地田町田良山 西北市地田町田良山 西北市地田町田良山 西北市地田町田良山 西北市地田町田良山 西北市地田町田良山 西北市地田町田良山 西北市地田町田山良山 西北市地田町田良山 西松市十川東町 西松市 西北田町 西松市 西北田町 西北			
20 稲山 (小日山)1号墳 高松市三谷町三谷 21 稲山 (小日山)2号墳 高松市三谷町三谷 22 目山山頂古墳 高松市三谷町日山山頂 23 目山山頂路塚 高松市三谷町日山山頂 25 雨山南遺跡 高松市三谷町日山山頂 26 雨山南1~13号墳 高松市三谷町日山山頂 27 住運寺池1号墳 高松市三谷町 28 住連寺池2号墳 高松市三谷町大の馬場中央 29 大の馬場古墳 高松市三谷町大の馬場中央 30 矢野面古墳 高松市三谷町三郎池 31 三谷三郎池遺跡 B 高松市三谷町三郎池 32 三谷三郎池遺跡 B 高松市三谷町三郎池 33 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町三郎池 35 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町田郎池 36 日妻山山頂古墳 高松市三谷町田郎池 37 日妻山山頂古墳 高松市三谷町田郎池 38 下代古墳 高松市三谷町 妻山山頂 37 日妻山山頂話塚 高松市三谷町 39 上佐山東遺跡 高松市池田町 42 光専寺山南土墳 高松市池田町 42 光専寺山中央古墳 高松市池田町 42 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 高松市池田町市場 高松市池田町市場 高松市池田町川東 高松市池田町川東 高松市池田町川東 高松市池田町川東 高松市川島東町山南 50 西下遺跡 高松市池田町川東 高松市川田東町 高松市川島東町 51 松字八幡境内遺跡 高松市川島東町 51 松字八幡境内遺跡 高松市川島東町 55 鷹池市山墳 高松市川島東町 55 鷹池市古墳 高松市川島東町 56 鷹池市古墳 高松市川島東町 57 十川城南五輪塔群 高松市川東町 59 由良山城跡 高松市出良町 高松市田東町 59 由良山城跡 高松市井川東町 59 由良山城跡 高松市林町 高松市井川東町 59 由良山城跡 高松市林町			
1			
22 目山山頂古墳 高松市三谷町日山山頂 23 日山山頂結塚 高松市三谷町日山山頂 25 雨山南遺跡 高松市三谷町 26 雨山南 1 ~ 13 号墳 高松市三谷町 27 住蓮寺池 1 号墳 高松市三谷町 28 住蓮寺池 1 号墳 高松市三谷町 29 犬の馬場古墳 高松市三谷町 30 矢野面古墳 高松市三谷町 31 三谷三郎池遺跡 A 高松市三谷町三郎池 32 三谷三郎池遺跡 B 高松市三谷町三郎池 33 三谷三郎池遺跡 C 高松市三谷町三郎池 34 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町三郎池 35 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町三郎池 36 日妻山山頂古墳 高松市三谷町 37 日妻山山頂 高松市三谷町日妻山山頂 37 日妻山山頂 高松市三谷町 30 三谷三郎池遺跡 高松市三谷町 30 日妻山山頂 高松市三谷町 31 三谷三郎池遺跡 高松市三谷町 32 百名通合遺跡 高松市三谷町 34 七菱山山頂 高松市三谷町 35 三谷三郎池遺跡 高松市池田町 40 上佐山東寺山遺跡 高松市池田町市場 41 光専寺山西古墳 高松市池田町市場 42 光専寺山西古墳 高松市出田町川東 43 大亨寺山西古墳 高松市川島東町 44 光専寺山西市墳 高松市川田町川東町 45 本村遺跡 高松市川島東町	-		
23 日山山頂台墳 高松市三谷町日山山頂 24 雨山山頂古墳 高松市三谷町 26 雨山南 1 ~ 13 号墳 高松市三谷町 26 雨山南 1 ~ 13 号墳 高松市三谷町 27 住蓮寺池 1 号墳 高松市三谷町 28 住蓮寺池 2 号墳 高松市三谷町 29 犬の馬場古墳 高松市三谷町 30 矢野面古墳 高松市三谷町 31 三谷三郎池遺跡 A 高松市三谷町三郎池 32 三谷三郎池遺跡 B 高松市三谷町三郎池 33 三谷三郎池遺跡 C 高松市三谷町三郎池 34 三谷三郎池遺跡 B 高松市三谷町三郎池 35 三谷三郎池遺跡 B 高松市三谷町三郎池 36 日妻山山頂古墳 高松市三谷町 37 日妻山山頂経塚 高松市三谷町 38 下代古墳 高松市三谷町 39 三谷通池跡 高松市三谷町 40 上佐山東遺跡 高松市池田町 41 光専寺山 高松市池田町 42 光専寺助 高松市池田町 43 光専寺山中央古墳 高松市池田町 44 光専寺山西古墳 高松市池田町 45 本村遺跡 高松市出町町東 46 川東 1 号墳 高松市川東町 47 川東 2 号墳 高松市川東町 50 西下遺跡 高松市川島東町 51 松字八幡境内遺跡 高松市川島東町 52 松字八幡境内遺跡 高松市十川東町 53 西	-	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
24 雨山山頂古墳 高松市三谷町雨山山頂 高松市三谷町 雨山山頂 高松市三谷町 高松市三谷町	-		
25 雨山南1~13号墳 高松市三谷町 26 雨山南1~13号墳 高松市三谷町 27 住蓮寺池1号墳 高松市三谷町 28 住蓮寺池2号墳 高松市三谷町 29 犬の馬場古墳 高松市三谷町 30 矢野面古墳 高松市三谷町 31 三谷三郎池遺跡 A 高松市三谷町大の馬場午野面 32 三谷三郎池遺跡 B 高松市三谷町三郎池 33 三谷三郎池遺跡 C 高松市三谷町三郎池 34 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町三郎池 35 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町三郎池 36 巨谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町 36 巨谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町 36 日妻山山頂経塚 B 高松市三谷町 37 日妻山山頂経塚 B 高松市三谷町 38 下代古墳 B 高松市三谷町 40 上佐山東遺跡 B 高松市池田町 41 光専寺山遺跡 B 高松市池田町 42 光専寺山中央古墳 B 高松市池田町市場 43 光専寺山中央古墳 B 高松市池田町川東 44 光専寺山西古墳 B 高松市池田町川東 45 本村遺跡 B 高松市川島東町 46 川東1号墳 B 高松市川島東町 47 川東2号墳 B 高松市川島東町 48 古塚古墳 B 高松市川島東町 50 西下遺跡 B 高松市川馬東町 51 松字八幡境内遺跡 B 高松市十川東町 52 強港池遺跡 B 高松市十川東町			
26 雨山南1~13 号墳 高松市三谷町大の馬場 27 住連寺池1号墳 高松市三谷町 28 住連寺池2号墳 高松市三谷町 29 大の馬場古墳 高松市三谷町大の馬場中央 30 矢野面古墳 高松市三谷町大の馬場矢野面 31 三谷三郎池遺跡 A 高松市三谷町三郎池 32 三谷三郎池遺跡 B 高松市三谷町三郎池 33 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町三郎池 34 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町三郎池 35 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町日裏山山頂 36 日妻山山頂古墳 高松市三谷町日妻山山頂 37 日妻山山頂経塚 高松市三谷町日妻山山頂 38 下代古墳 高松市三谷町 39 三谷通台遺跡 高松市三谷町日妻山山頂 40 上佐山東遺跡 高松市池田町 41 光専寺助 高松市池田町 42 光専寺助 高松市池田町市場 43 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 44 光専寺山西古墳 高松市池田町市場 45 本村遺跡 高松市池田町川東 46 川東1号墳 高松市池田町川東 47 川東2号墳 高松市池田町川東 48 古塚古墳 高松市川馬東町 50 西下遺跡 高松市川馬東町 51 松字八幡境内遺跡 高松市川東町 52 松字神社経塚 高松市十川東町 53 鷹跡 高松市十川東町 54 鰹字神社経塚 高松市十川東町 <tr< th=""><th>-</th><th></th><th></th></tr<>	-		
27 住蓮寺池 1 号墳 高松市三谷町 28 住蓮寺池 2 号墳 高松市三谷町 29 大の馬場古墳 高松市三谷町大の馬場中野面 31 三谷三郎池遺跡 A 高松市三谷町三郎池 32 三谷三郎池遺跡 B 高松市三谷町三郎池 33 三谷三郎池遺跡 C 高松市三谷町三郎池 34 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町三郎池 35 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町三郎池 36 日妻山山頂古墳 高松市三谷町日東山山頂 37 日妻山山頂経塚 高松市三谷町日妻山山頂 38 下代古墳 高松市三谷町日妻山山頂 39 三谷通谷遺跡 高松市池田町 40 上佐山東遺跡 高松市池田町 41 光専寺山遺跡 高松市池田町市場 42 光専寺山中支古墳 高松市池田町市場 43 光専寺山中支古墳 高松市池田町市場 44 光専寺山西古墳 高松市池田町市場 45 本村遺跡 高松市池田町市場 46 川東1号墳 高松市池田町市場 47 川東2号墳 高松市池田町市場 48 古塚古墳 高松市川島東町 50 西下遺跡 高松市川島東町 51 松字八幡馬場古墳 高松市川東町 52 松宇八幡馬場古墳 高松市川東町 53 西尾天神社古墳 高松市十川東町 54 鰹宇神社経塚 高松市十川東町 55 鷹池市古墳 高松市十川東町 56 鷹池市古墳 高松市十川東町	-		高松市三谷町犬の馬場
28 住連寺池 2 号墳 高松市三谷町 29 大の馬場古墳 高松市三谷町大の馬場中野面 30 矢野面古墳 高松市三谷町大の馬場矢野面 31 三谷三郎池遺跡 A 高松市三谷町三郎池 32 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町三郎池 34 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町三郎池 35 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町田東池山頂 36 日妻山山頂古墳 高松市三谷町日妻山山頂 37 日妻山山頂台塚 高松市三谷町日妻山山頂 38 下代古墳 高松市三谷町 39 三谷通谷遺跡 高松市三谷町 40 上佐山東遺跡 高松市池田町 41 光専寺山遺跡 高松市池田町市場 42 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 43 光専寺山西古墳 高松市池田町市場 44 光専寺山西古墳 高松市池田町市場 45 本村遺跡 高松市池田町川東 46 川東 1 号墳 高松市池田町川東 47 川東 2 号墳 高松市池田町川東 48 古塚古墳 高松市川島東町こんぽうじ 高松市川島東町 50 西下遺跡 高松市川西町 51 松宇八幡境内遺跡 高松市川馬東町 52 松宇八幡境内遺跡 高松市十川東町 53 西尾天神社古墳 高松市十川東町 54 鰹沖 高松市十川東町 55 鷺池市古墳 高松市十川東町 56 鷺池市古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市十川東町 <th>-</th> <th></th> <th></th>	-		
29 大の馬場古墳 高松市三谷町大の馬場矢野面 30 矢野面古墳 高松市三谷町大の馬場矢野面 31 三谷三郎池遺跡 A 高松市三谷町三郎池 32 三谷三郎池遺跡 C 高松市三谷町三郎池 34 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町三郎池 35 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町三郎池 36 日妻山山頂古墳 高松市三谷町日妻山山頂 37 日妻山山頂経塚 高松市三谷町日妻山山頂 38 下代古墳 高松市三谷町日妻山山頂 39 三谷通谷遺跡 高松市池田町 40 上佐山東遺跡 高松市池田町 41 光専寺山遺跡 高松市池田町市場 42 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 43 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 44 光専寺山西古墳 高松市池田町市場 45 本村遺跡 高松市池田町川東 46 川東 1 号墳 高松市池田町川東 47 川東 2 号墳 高松市池田町川東 48 古塚古墳 高松市川島東町こんぽうじ 50 西下遺跡 高松市川島東町 51 松宇八幡境内遺跡 高松市川島東町 52 松宇八幡馬場古墳 高松市十川東町 54 鰹字神社経塚 高松市十川東町 55 鷺池遺跡 高松市十川東町 56 鷺池市古墳 高松市十川東町 57 十川城南五輪塔群 高松市由良町由良山 58 池市古墳 高松市十川東町 50 葉池市市良町 高松市十川東町 <th>28</th> <th>住蓮寺池2号墳</th> <th>高松市三谷町</th>	28	住蓮寺池2号墳	高松市三谷町
31 三谷三郎池遺跡 B 高松市三谷町三郎池 32 三谷三郎池遺跡 C 高松市三谷町三郎池 34 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町三郎池 35 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町三郎池 36 日妻山山頂古墳 高松市三谷町日妻山山頂 37 日妻山山頂経塚 高松市三谷町日妻山山頂 38 下代古墳 高松市三谷町 39 三谷通谷遺跡 高松市池田町 40 上佐山東遺跡 高松市池田町市場 41 光専寺山遺跡 高松市池田町市場 42 光専寺山市均 高松市池田町市場 43 光専寺山市均 高松市池田町市場 44 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 45 本村遺跡 高松市池田町川東 46 川東1号墳 高松市池田町川東 47 川東2号墳 高松市川島東町山南 48 古塚古墳 高松市川島東町 50 西下遺跡 高松市川島東町 51 松宇八幡境内遺跡 高松市川島東町 52 松宇八幡境内遺跡 高松市十川東町 53 西尾平神社音墳 高松市十川東町 54 鰹宇神社経塚 高松市十川東町 55 第池市古墳 高松市十川東町<	29		高松市三谷町犬の馬場中央
32 三谷三郎池遺跡 C 高松市三谷町三郎池 33 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町三郎池 35 三谷三郎池西岸窯跡 高松市三谷町 36 日妻山山頂古墳 高松市三谷町日妻山山頂 37 日妻山山頂経塚 高松市三谷町日妻山山頂 38 下代古墳 高松市三谷町 39 三谷通谷遺跡 高松市池田町 40 上佐山東遺跡 高松市池田町 41 光専寺山遺跡 高松市池田町 42 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 43 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 44 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 45 本村遺跡 高松市池田町市場 46 川東1号墳 高松市池田町川東 47 川東2号墳 高松市池田町川東 48 古塚古墳 高松市川島東町二人んぽうじ 50 西下遺跡 高松市川島東町 51 松宇八幡境内遺跡 高松市川島東町 52 広子小幡境内遺跡 高松市十川東町 53 西尾大神社経塚 高松市十川東町 54 郷・海社経塚 高松市十川東町 55 郷・池市古墳 高松市十川東町 56 郷・池市古墳 高松市十川東町 <th>30</th> <th></th> <th>高松市三谷町犬の馬場矢野面</th>	30		高松市三谷町犬の馬場矢野面
33 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町三郎池 34 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町三郎池 35 三谷三郎池西岸窯跡 高松市三谷町日妻山山頂 36 日妻山山頂古墳 高松市三谷町日妻山山頂 37 日妻山山頂経塚 高松市三谷町日妻山山頂 38 下代古墳 高松市三谷町 39 三谷通谷遺跡 高松市池田町 40 上佐山東遺跡 高松市池田町 41 光専寺山遺跡 高松市池田町 42 光専寺助 高松市池田町市場 42 光専寺助 高松市池田町市場 43 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 44 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 45 本村遺跡 高松市池田町川東 46 川東1号墳 高松市池田町川東 47 川東2号墳 高松市川島東町山南 48 古塚古墳 高松市川島東町こんぽうじ 50 西下遺跡 高松市川島東町 51 松字八幡境内遺跡 高松市川島東町 52 松字八幡境内遺跡 高松市川東町 53 西尾子神社古墳 高松市十川東町 54 野油社 高松市十川東町 55 第池市古墳 高松市十川東町	31	三谷三郎池遺跡 A	高松市三谷町三郎池
34 三谷三郎池遺跡 D 高松市三谷町三郎池 35 三谷三郎池西岸窯跡 高松市三谷町 36 日妻山山頂古墳 高松市三谷町日妻山山頂 37 日妻山山頂経塚 高松市三谷町日妻山山頂 38 下代古墳 高松市三谷町 39 三谷通谷遺跡 高松市池田町 40 上佐山東遺跡 高松市池田町 41 光専寺山遺跡 高松市池田町 42 光専寺助 高松市池田町 42 光専寺助 高松市池田町市場 42 光専寺助 高松市池田町市場 43 光東寺助 高松市池田町市場 44 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 45 本村遺跡 高松市池田町川東 46 川東1号墳 高松市川田町川東 47 川東2号墳 高松市川田町川東 48 古塚古墳 高松市川島東町 50 西下遺跡 高松市川島東町 50 西下遺跡 高松市川島東町 50 西下遺跡 高松市川島東町 52 松字八幡境内遺跡 高松市川東町 53 西建テ神社と塚 高松市十川東町 54 聖字神社経塚 高松市十川東町	32		
35 三谷三郎池西岸窯跡 高松市三谷町 36 日妻山山頂古墳 高松市三谷町日妻山山頂 37 日妻山山頂経塚 高松市三谷町日妻山山頂 38 下代古墳 高松市三谷町 39 三谷通谷遺跡 高松市池田町 40 上佐山東遺跡 高松市池田町 41 光専寺山遺跡 高松市池田町 42 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 43 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 45 本村遺跡 高松市池田町川東 46 川東1号墳 高松市池田町川東 47 川東2号墳 高松市池田町川東 48 古塚古墳 高松市川島東町山南 49 こんぽうじ古墳 高松市川島東町こんぽうじ 50 西下遺跡 高松市川島東町 51 松字八幡境内遺跡 高松市川島東町 52 松字八幡境内遺跡 高松市川東町 53 西尾天神社古墳 高松市十川東町 54 歴字神社経塚 高松市十川東町 55 豫池市古墳 高松市十川東町 56 豫池市古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市市山良町 60 大灘遺跡 高松市市山良町 <	-		
36 日妻山山頂古墳 高松市三谷町日妻山山頂 37 日妻山山頂経塚 高松市三谷町日妻山山頂 38 下代古墳 高松市三谷町 39 三谷通谷遺跡 高松市池田町 40 上佐山東遺跡 高松市池田町 41 光専寺山遺跡 高松市池田町 42 光専寺跡 高松市池田町市場 43 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 44 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 45 本村遺跡 高松市池田町川東 46 川東1号墳 高松市池田町川東 47 川東2号墳 高松市池田町川東 48 古塚古墳 高松市川島東町こんぽうじ 50 西下遺跡 高松市川島東町こんぽうじ 50 西下遺跡 高松市川島東町 51 松字八幡境内遺跡 高松市川島東町 52 松字八幡境内遺跡 高松市川東町 53 西尾天神社古墳 高松市十川東町 54 鰹字神社経塚 高松市十川東町 55 鶯池市古墳 高松市十川東町 56 第池市古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市市山良町 60 大灘遺跡 高松市市山良町	-		
37 日妻山山頂経塚 高松市三谷町日妻山山頂 38 下代古墳 高松市三谷町 39 三谷通谷遺跡 高松市三谷町 40 上佐山東遺跡 高松市池田町 41 光専寺山遺跡 高松市池田町 42 光専寺跡 高松市池田町市場 43 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 44 光専寺山西古墳 高松市池田町市場 45 本村遺跡 高松市池田町川東 46 川東1号墳 高松市池田町川東 47 川東2号墳 高松市池田町川東 48 古塚古墳 高松市川島東町山南 49 こんぽうじ古墳 高松市川島東町こんぽうじ 50 西下遺跡 高松市川島東町 51 松宇八幡境内遺跡 高松市川島東町 52 松宇八幡境内遺跡 高松市川島東町 53 西尾天神社古墳 高松市川東町 54 壁宇神社経塚 高松市十川東町 55 繁池遺跡 高松市十川東町 56 繁池市古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市十川東町 58 十川城南五輪塔群 高松市十川東町 59 由良山城跡 高松市由良町由良町 60 大灘遺跡 高松市市財 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師廃寺 高松市林町	-		
38 下代古墳 高松市三谷町 39 三谷通谷遺跡 高松市三谷町 40 上佐山東遺跡 高松市池田町 41 光専寺山 高松市池田町 42 光専寺跡 高松市池田町市場 43 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 44 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 45 本村遺跡 高松市池田町川東 46 川東1号墳 高松市池田町川東 47 川東2号墳 高松市池田町川東 48 古塚古墳 高松市川島東町山南 49 こんぽうじ古墳 高松市川島東町こんぽうじ 50 西下遺跡 高松市川島東町 51 松宇八幡境内遺跡 高松市川島東町 52 松宇八幡境内遺跡 高松市川島東町 53 西尾天神社古墳 高松市川東町 54 鰹宇神社経塚 高松市十川東町 55 鷺池南古墳 高松市十川東町 56 鷺池南古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市十川東町 58 十川城跡 高松市十川東町 59 由良山城跡 高松市由良町由良町 60 大灘遺跡 高松市市自良町			
39 三谷通谷遺跡 高松市三谷町 40 上佐山東遺跡 高松市池田町 41 光専寺山遺跡 高松市池田町 42 光専寺跡 高松市池田町市場 43 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 44 光専寺山西古墳 高松市池田町市場 45 本村遺跡 高松市池田町川東 46 川東1号墳 高松市池田町川東 47 川東2号墳 高松市池田町川東 48 古塚古墳 高松市川島東町山南 49 こんぽうじ古墳 高松市川島東町山南 50 西下遺跡 高松市川島東町 51 松宇八幡馬場古墳 高松市川島東町 52 松宇八幡馬場古墳 高松市川東町 53 西尾天神社舌墳 高松市十川東町 54 鰹宇神社経塚 高松市十川東町 55 鷺池遺跡 高松市十川東町 56 繁池遺跡 高松市十川東町 58 市出市山東町 高松市十川東町 58 市出市山東町 高松市十川東町 58 市出市山東町 高松市市山良町由良山 60 大灘遺跡 高松市市山良町 61 由良南原遺跡 高松市市町 <			
40 上佐山東遺跡 高松市池田町 41 光専寺山遺跡 高松市池田町 42 光専寺跡 高松市池田町市場 43 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 44 光専寺山西古墳 高松市池田町市場 45 本村遺跡 高松市池田町川東 46 川東1号墳 高松市池田町川東 47 川東2号墳 高松市川島東町山南 48 古塚古墳 高松市川島東町山南 49 こんぽうじ古墳 高松市川島東町こんぽうじ 50 西下遺跡 高松市川島東町 51 松宇八幡境内遺跡 高松市川島東町 52 松宇八幡境内遺跡 高松市川東町 53 西尾天神社台墳 高松市十川東町 54 鰹宇神社経塚 高松市十川東町 55 鷺池遺跡 高松市十川東町 56 鷺池市古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市十川東町 58 十川城跡 高松市十川東町 59 由良山城跡 高松市市山良町 60 大灘遺跡 高松市市財 61 由良南原遺跡 高松市林町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町	-		
41 光専寺山遺跡 高松市池田町 42 光専寺跡 高松市池田町市場 43 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 44 光専寺山西古墳 高松市池田町市場 45 本村遺跡 高松市池田町川東 46 川東1号墳 高松市池田町川東 47 川東2号墳 高松市池田町川東 48 古塚古墳 高松市川島東町山南 49 こんぽうじ古墳 高松市川島東町こんぽうじ 50 西下遺跡 高松市川島東町 51 松宇八幡境内遺跡 高松市川島東町 52 松宇八幡境内遺跡 高松市川馬東町 53 西尾天神社古墳 高松市十川東町 54 鰹宇神社経塚 高松市十川東町 55 鷺池遺跡 高松市十川東町 56 鷺池市古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市十川東町 58 十川城跡 高松市十川東町 59 由良山城跡 高松市市山良町 60 大灘遺跡 高松市由良町 61 由良南原遺跡 高松市林町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 百座小地町 高松市村町 64 </th <th>-</th> <th></th> <th></th>	-		
42 光専寺跡 高松市池田町 43 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 44 光専寺山西古墳 高松市池田町市場 45 本村遺跡 高松市池田町川東 46 川東1号墳 高松市池田町川東 47 川東2号墳 高松市川島東町山南 48 古塚古墳 高松市川島東町山南 49 こんぽうじ古墳 高松市川島東町こんぽうじ 50 西下遺跡 高松市川島東町 51 松宇八幡境内遺跡 高松市川島東町 52 松宇八幡境内遺跡 高松市川県町 53 西尾天神社古墳 高松市十川東町 54 鰹宇神社経塚 高松市十川東町 55 驚池遺跡 高松市十川東町 56 驚池市古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市十川東町 58 十川城跡 高松市中川東町 59 由良山城跡 高松市由良町由良山 60 大灘遺跡 高松市由良町 61 由良南原遺跡 高松市林町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町			
43 光専寺山中央古墳 高松市池田町市場 44 光専寺山西古墳 高松市池田町市場 45 本村遺跡 高松市池田町川東 46 川東1号墳 高松市池田町川東 47 川東2号墳 高松市池田町川東 48 古塚古墳 高松市川島東町山南 49 こんぽうじ古墳 高松市川島東町こんぽうじ 50 西下遺跡 高松市川島東町 51 松宇八幡境内遺跡 高松市川島東町 52 松宇八幡境内遺跡 高松市川馬東町 53 西尾天神社古墳 高松市十川東町 54 鰹宇神社経塚 高松市十川東町 55 鷺池遺跡 高松市十川東町 56 鷺池市古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市十川東町 58 十川城跡 高松市中川東町 59 由良山城跡 高松市市山良町由良山 60 大灘遺跡 高松市由良町 61 由良南原遺跡 高松市林町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師院寺 高松市林町	-	7 = 4	
44 光専寺山西古墳 高松市池田町市場 45 本村遺跡 高松市池田町川東 46 川東1号墳 高松市池田町川東 47 川東2号墳 高松市池田町川東 48 古塚古墳 高松市川島東町山南 49 こんぽうじ古墳 高松市川島東町こんぽうじ 50 西下遺跡 高松市川馬東町 51 松宇八幡境内遺跡 高松市川島東町 52 松宇八幡馬場古墳 高松市十川東町 53 西尾天神社古墳 高松市十川東町 54 鰹宇神社経塚 高松市十川東町 55 鷺池遺跡 高松市十川東町 56 鷺池南古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市十川東町 58 十川城跡 高松市十川東町 59 由良山城跡 高松市由良町由良山 60 大灘遺跡 高松市由良町 61 由良南原遺跡 高松市林町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 百座・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町	$\overline{}$	7 - 7 - 7 - 7	
46 川東1号墳 高松市池田町川東 47 川東2号墳 高松市池田町川東 48 古塚古墳 高松市川島東町山南 49 こんぽうじ古墳 高松市川島東町こんぽうじ 50 西下遺跡 高松市川島東町 51 松宇八幡境内遺跡 高松市川島東町 52 松宇八幡馬場古墳 高松市十川東町西尾 54 鰹宇神社経塚 高松市十川東町 55 鷺池遺跡 高松市十川東町 56 鷺池南古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市十川東町 58 十川城南五輪塔群 高松市十川東町 59 由良山城跡 高松市由良町由良山 60 大灘遺跡 高松市由良町 61 由良南原遺跡 高松市林町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師廃寺 高松市林町			高松市池田町市場
47 川東 2 号墳 高松市池田町川東 48 古塚古墳 高松市川島東町山南 49 こんぽうじ古墳 高松市川島東町こんぽうじ 50 西下遺跡 高松市川島東町 51 松宇八幡境内遺跡 高松市川島東町 52 松宇八幡馬場古墳 高松市十川西町西尾 53 西尾天神社古墳 高松市十川東町 54 鰹宇神社経塚 高松市十川東町 55 鷺池遺跡 高松市十川東町 56 鷺池南古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市十川東町 58 十川城南五輪塔群 高松市十川東町 59 由良山城跡 高松市由良町由良山 60 大灘遺跡 高松市由良町 61 由良南原遺跡 高松市林町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師廃寺 高松市林町	45		
48 古塚古墳 高松市川島東町山南 49 こんぽうじ古墳 高松市川島東町こんぽうじ 50 西下遺跡 高松市川島東町 51 松字八幡境内遺跡 高松市川島東町 52 松字八幡馬場古墳 高松市十川西町西尾 53 西尾天神社古墳 高松市十川東町 54 鰹字神社経塚 高松市十川東町 55 驚池遺跡 高松市十川東町 56 驚池南古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市十川東町 58 十川城南五輪塔群 高松市十川東町 59 由良山城跡 高松市由良町由良山 60 大灘遺跡 高松市由良町 61 由良南原遺跡 高松市林町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師廃寺 高松市林町	46	川東1号墳	
49 こんぽうじ古墳 高松市川島東町こんぽうじ 50 西下遺跡 高松市川島東町 51 松宇八幡境内遺跡 高松市川島東町 52 松宇八幡馬場古墳 高松市十川西町西尾 53 西尾天神社古墳 高松市十川東町 54 鰹宇神社経塚 高松市十川東町 55 驚池遺跡 高松市十川東町 56 驚池南古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市十川東町 58 十川城南五輪塔群 高松市十川東町 59 由良山城跡 高松市由良町由良山 60 大灘遺跡 高松市由良町 61 由良南原遺跡 高松市林町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師廃寺 高松市林町	47		
50 西下遺跡 高松市十川西町 51 松宇八幡境内遺跡 高松市川島東町 52 松宇八幡馬場古墳 高松市川島東町 53 西尾天神社古墳 高松市十川西町西尾 54 鰹宇神社経塚 高松市十川東町 55 驚池遺跡 高松市十川東町 56 驚池市古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市十川東町 58 十川城南五輪塔群 高松市十川東町 59 由良山城跡 高松市由良町由良山 60 大灘遺跡 高松市由良町 61 由良南原遺跡 高松市林町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師廃寺 高松市林町	-		
51 松字八幡境內遺跡 高松市川島東町 52 松字八幡馬場古墳 高松市川島東町 53 西尾天神社古墳 高松市十川東町 54 鰹字神社経塚 高松市十川東町 55 驚池遺跡 高松市十川東町 56 驚池南古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市十川東町 58 十川城南五輪塔群 高松市十川東町 59 由良山城跡 高松市由良町由良山 60 大灘遺跡 高松市由良町 61 由良南原遺跡 高松市林町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師廃寺 高松市林町	-		
52 松宇八幡馬場古墳 高松市川島東町 53 西尾天神社古墳 高松市十川東町 54 鰹宇神社経塚 高松市十川東町 55 驚池遺跡 高松市十川東町 56 驚池南古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市十川東町 58 十川城南五輪塔群 高松市十川東町 59 由良山城跡 高松市由良町由良山 60 大灘遺跡 高松市由良町 61 由良南原遺跡 高松市林町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師廃寺 高松市林町	-		
53 西尾天神社古墳 高松市十川西町西尾 54 鰹宇神社経塚 高松市十川東町 55 驚池遺跡 高松市十川東町 56 驚池南古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市十川東町 58 十川城南五輪塔群 高松市由良町由良山 59 由良山城跡 高松市由良町由良山 60 大灘遺跡 高松市由良町 61 由良南原遺跡 高松市林町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師廃寺 高松市林町	-		
54 鰹宇神社経塚 高松市十川東町 55 驚池遺跡 高松市十川東町 56 驚池南古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市十川東町 58 十川城南五輪塔群 高松市由良町由良山 59 由良山城跡 高松市由良町由良山 60 大灘遺跡 高松市由良町 61 由良南原遺跡 高松市林町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師廃寺 高松市林町	-		
55 驚池遺跡 高松市十川東町 56 驚池南古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市十川東町 58 十川城南五輪塔群 高松市由良町由良山 59 由良山城跡 高松市由良町由良山 60 大灘遺跡 高松市由良町 61 由良南原遺跡 高松市由良町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師廃寺 高松市林町			
56 驚池南古墳 高松市十川東町 57 十川城跡 高松市十川東町 58 十川城南五輪塔群 高松市十川東町 59 由良山城跡 高松市由良町由良山 60 大灘遺跡 高松市由良町 61 由良南原遺跡 高松市由良町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師廃寺 高松市林町	-		
57 十川城跡 高松市十川東町 58 十川城南五輪塔群 高松市十川東町 59 由良山城跡 高松市由良町由良山 60 大灘遺跡 高松市由良町 61 由良南原遺跡 高松市林町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師廃寺 高松市林町	-		
58 十川城南五輪塔群 高松市十川東町 59 由良山城跡 高松市由良町由良山 60 大灘遺跡 高松市由良町 61 由良南原遺跡 高松市由良町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師廃寺 高松市林町	-		i
59 由良山城跡 高松市由良町由良山 60 大灘遺跡 高松市由良町 61 由良南原遺跡 高松市由良町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師廃寺 高松市林町	_		
60 大灘遺跡 高松市由良町 61 由良南原遺跡 高松市由良町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師廃寺 高松市林町	-		i
61 由良南原遺跡 高松市由良町 62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師廃寺 高松市林町	-		
62 空港跡地遺跡 高松市林町 63 宮西・一角遺跡 高松市林町 64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師廃寺 高松市林町			
64 一角遺跡 高松市林町 65 拝師廃寺 高松市林町	62		
65 拝師廃寺 高松市林町	63	宮西・一角遺跡	高松市林町
	64	一角遺跡	高松市林町
66 上林城跡 高松市林町	-		
	66	上林城跡	高松市林町

67 上林本村遺跡 高松市上林町 69 上林遺跡 高松市林町 70 中林遺跡 高松市林町 71 弘福寺領田図調査地(南地区) 高松市林町 72 天皇西原遺跡 高松市林町 73 公務員宿舎遺跡 高松市林町 74 林宗高遺跡 高松市林町 75 京高・坊城遺跡 高松市林町 76 林・坊城遺跡 高松市林町 77 林・下所遺跡 高松市林町 78 林・こ遺跡 高松市林町 79 六条成跡 高松市大条町上所 80 六条上川西遺跡 高松市大条町 80 六条上川西遺跡 高松市大条町 81 六条・上所遺跡 高松市大町 82 六条下所遺跡 高松市大町 83 林下所・大条乾遺跡 高松市林町長池 84 木太冬門上面遺跡 高松市大町 85 ご・長池工遺跡 高松市大町 86 芝・長池工遺跡 高松市林町長池 87 大池直跡 高松市木大町 87 大池工園跡 高松市木大町 88 上四原遺跡 高松市木大町 91 大流	番号	遺跡名	所在地
69 出産跡 高松市木町 69 上林遺跡 高松市林町 70 中林遺跡 高松市林町 70 中林遺跡 高松市林町 71 弘務員宿舎遺跡 高松市林町 72 天皇西原遺跡 高松市林町 73 公務員宿舎遺跡 高松市林町 75 宗高・坊城遺跡 高松市林町 76 林・坊城遺跡 高松市林町 77 林・下所遺跡 高松市林町 76 林・坊城遺跡 高松市林町 76 林・坊城遺跡 高松市林町 77 林・下所遺跡 高松市林町 76 林・方城遺跡 高松市六条町 8 林・下所遺跡 高松市六条町 8 本条・上所遺跡 高松市六条町 80 六条・ド所遺跡 高松市大町 81 六条・ド所遺跡 高松市木町 82 二長池 上野遺跡 高松市木町 84 木太・村上所遺跡 高松市木大町 85 三上 長池 上野遺跡 高松市木大町 86 ご・長池 上野遺跡 高松市木大町 87 大池市遺跡 高松市木大町 89 立山本社 遺跡 <td></td> <td></td> <td></td>			
 69 上林遺跡 高松市林町 70 中林遺跡 高松市林町 71 弘福寺領田図調査地 (南地区) 高松市林町 72 天皇西原遺跡 高松市林町 73 公務員宿舎遺跡 高松市林町 74 林宇高遺跡 高松市林町 75 宗高・坊城遺跡 高松市林町 76 林・坊城遺跡 高松市林町 77 林・下所遺跡 高松市林町 78 林・芝・遺跡 高松市林町 79 大衆城跡 高松市林町 79 大衆城跡 高松市林町 70 大条上川西遺跡 高松市大条町中中筋 80 六条上川西遺跡 高松市大条町 81 六条・上所遺跡 高松市大条町 82 六条・戸所遺跡 高松市林町 83 林下所・六条乾遺跡 高松市林町 84 木太今村上所遺跡 高松市林町 85 さこ・長池 I 遺跡 高松市林町 86 さこ・長池 I 遺跡 高松市林町 87 大池遺跡 高松市林町 88 上西原遺跡 高松市林町長池 高松市林町 89 弘福寺間田図調査地 (北地区) 高松市木太町 90 木太町九区遺跡 高松市木太町 91 大荒神古墳 高松市木太町 92 向城跡 高松市木太町 93 自山神社古墳 高松市木太町 94 木太本村 I 遺跡 高松市木太町 95 木太中村遺跡 高松市木太町 96 神内城跡 高松市木太町 97 木太中村遺跡 高松市木太町 98 多肥宮凡遺跡 高松市木太町 101 池の内遺跡 I 高松市多肥上町 102 池の内遺跡 I 高松市多肥上町 103 日暮・松林遺跡 高松市多肥上町 104 四原遺跡 高松市多肥上町 105 多肥下町下所遺跡 高松市多肥上町 106 井手東 I 遺跡 高松市多肥上町 107 井手東 I 遺跡 高松市多肥上町 108 居石遺跡 高松市を肥下町 109 財政遺跡 高松市を肥下町 101 地の内遺跡 I 高松市多肥上町 102 池の内遺跡 I 高松市多肥上町 103 日暮・松村遺跡 高松市多肥上町 104 四原遺跡 高松市を肥下町 105 多肥下町下所遺跡 高松市を肥下町 106 井東 I 遺跡 高松市を肥下町 107 井手東 I 遺跡 高松市を肥町 108 居石遺跡 高松市が田町 119 大地遺跡 高松市が縄町下所 111 坂田・下西原遺跡 高松市が縄町下所 111 坂田・水田遺跡 高松市が縄町下所 111 坂田・下西原遺跡 高松市が縄町下所 111 坂田・水田遺跡 高松市新田町 112 天満・宮西遺跡 高松市新田町 113 仏縄城跡 高松市新田町 114 東山崎・水田遺跡 高松市新田町 115 高松市山崎町・新田町 116 川南東遺跡 高松市東山崎町・新田町 117 八本市遺跡 高松市東山崎町・新田町 118 日本山崎町の米山東崎市・新田町 119 久米池遺跡 高松市東山崎町の米山東訪神社 120 高松市東山崎町の米山東訪神社 121 高松市山山崎町 122 高松市山山崎町 123 高松市東山崎町の米山東訪神社 124 高松市東山崎町の米山東訪神社 125 諏訪神社・東古墳 高松市東山崎町の米山東端神社 126 諏訪神社・東古墳 高松市東山崎町の米山東端神社 127 久米山市町 128 高松市東山崎町の米山東部神社 129 高松市東山崎町の米山東部 120 高松市東山崎町の米山東部 121 高松市山崎町の町 122 高	68	畑遺跡	
70 中林遺跡 高松市林町 71 弘福寺領田図調査地(南地区) 高松市林町 72 天皇西原遺跡 高松市林町 74 林宗高遺跡 高松市林町 75 宗高・坊城遺跡 高松市林町 76 林・坊城遺跡 高松市林町 77 林・下所遺跡 高松市林町 78 林・さこ遺跡 高松市林町 79 六条城跡 高松市村町 79 六条城跡 高松市村町 80 六条上川西遺跡 高松市六条町上所 81 六条・上所遺跡 高松市六条町上所 82 六条町 高松市大窓町 83 林下所・元条地遺跡 高松市林町長池 84 木太今村上所遺跡 高松市林町長池 85 さこ・長池 I 遺跡 高松市林町長池 86 さこ・長池 I 遺跡 高松市林町長池 87 大池遺跡 高松市林町長池 88 上西原遺跡 高松市本大町 89 弘福寺鎮田図調査地(北地区) 高松市木太町 90 大太市村直敷 高松市木太町 92 加坡計 高松市木太町 92 加坡計 高松市太町 92	-		
71 弘福寺領田図調査地 (南地区) 高松市林町 72 天皇西原遺跡 高松市林町 73 公務員宿舎遺跡 高松市林町 74 林宗高遺跡 高松市林町 75 宗高・坊城遺跡 高松市林町 76 林・坊城遺跡 高松市林町 77 林・下所遺跡 高松市林町 78 林・子ご遺跡 高松市大条町子中筋 79 六条 kb 高松市大条町子中筋 80 六条・上所遺跡 高松市六条町 81 六条・上所遺跡 高松市大条町上所 82 六条・上所遺跡 高松市大条町上所 83 林下所・六条乾遺跡 高松市林町長池 84 木太や村上所遺跡 高松市林町長池 85 さこ・長池 I 遺跡 高松市林町長池 86 さこ・長池 I 遺跡 高松市林町長池 87 大池連跡 高松市本大町 88 上西原遺跡 高松市本大町 90 水太町九区 高松市木太町 91 大荒神古墳 高松市木太町九区 92 自城部市太町九区 高松市本太町九区 92 大北市古墳 高松市太町 92 大北中村遺跡 高松市本上町 94 <td>-</td> <td></td> <td></td>	-		
72 天皇西原遺跡 高松市林町 高松市林町			
73 公務員宿舎遺跡 高松市林町 高松市林町 75 宗高・坊城遺跡 高松市林町 76 林・万城遺跡 高松市林町 77 林・下所遺跡 高松市林町 77 林・下所遺跡 高松市林町 77 林・下所遺跡 高松市林町 79 六条城跡 高松市大条町 高松市大条町 高松市大条町 82 六条上川西遺跡 高松市大条町 62 元条下所遺跡 高松市大条町 62 元条下所遺跡 62 元未を町 62 元未下所遺跡 63 元未町 79 元条 校 75 元条・遺跡 63 元十 78 世 79 元条 校 75 元条・遺跡 63 元 78 町 79 元条 校 75 元 78 世 79 元 78 元 78 世 79 元 78 元 78	_		
74 林宗高遺跡 高松市林町 75 京高・坊城遺跡 高松市林町 76 林・坊城遺跡 高松市林町 77 林・方水遺跡 高松市木町 78 林・さこ遺跡 高松市大条町中的 80 六条上川西遺跡 高松市大条町 81 六条・上所遺跡 高松市大条町 82 六条下所遺跡 高松市林町 83 林下所・六条乾遺跡 高松市林町 84 木太今村正遺跡 高松市林町長池 85 さこ・長池1遺跡 高松市林町長池 86 さこ・長池1遺跡 高松市木太町一区 87 大池遺跡 高松市木太町 88 上西原遺跡 高松市木太町 90 木太町九区遺跡 高松市木太町 91 大荒神古墳 高松市木太町八区 92 向城跡 高松市木太町八区 93 自山神社古墳 高松市木太町 94 木太本村直跡 高松市木太町 95 木太中村直跡 高松市太町二区 96 神内城跡 高松市太町二区 97 木太中村直跡 高松市太町三区 98 多肥と所 高松市太町 98	-		
75 宗高・坊城遺跡 高松市林町 76 林・坊城遺跡 高松市林町 77 林・下所遺跡 高松市林町 78 林・さこ遺跡 高松市大条町 80 六条上川西遺跡 高松市大条町 81 六条・上川西遺跡 高松市大条町 82 六条下所遺跡 高松市林町長池 83 林下所・六条乾遺跡 高松市林町長池 84 木太今村上所遺跡 高松市林町長池 85 さこ・長池日遺跡 高松市林町長池 86 さこ・長池日遺跡 高松市本大町 87 大池遺跡 高松市木太町 88 上西原遺跡 高松市木太町 89 弘福寺領田図調査地(北地区) 高松市木太町 90 木太町九屋 高松市木太町 91 大流神古墳 高松市木太町八区 92 向城跡 高松市木太町八区 93 白山神社古墳 高松市太町 94 木太本村遺跡 高松市太町 95 木太中村遺跡 高松市太町 96 神内坡跡 高松市太町 97 木太中村遺跡 高松市多肥上町 100 松林遺跡 高松市多肥上町 101 <td>-</td> <td></td> <td></td>	-		
 76 林・坊城遺跡 77 林・下所遺跡 78 林・さこ遺跡 80 六条上川西遺跡 80 六条上川西遺跡 81 六条・上所遺跡 82 六条下所遺跡 83 林下所・大条乾遺跡 84 木大今村上所遺跡 85 さこ・長池1遺跡 86 さこ・長池1遺跡 87 大池遺跡 88 上西原遺跡 80 古松市木太町 81 大池遺跡 82 六長池1遺跡 83 林下所・六条乾遺跡 84 木太今村上所遺跡 85 さこ・長池1遺跡 86 さこ・長池1遺跡 87 大池遺跡 88 上西原遺跡 88 上西原遺跡 89 弘福寺領田図調査地(北地区) 90 木太町九区遺跡 91 大荒神古墳 62 古木太町 92 向城跡 63 谷市木太町八区 63 谷市木太町八区 70 本太本村1遺跡 63 谷市木太町八区 64 中内城跡 63 谷市木太町 64 神内城跡 63 谷市木太町 65 本大本村1遺跡 66 本市太町 67 木太本村北遺跡 68 参肥上町 68 参肥上町 68 参肥上町 68 参肥上町 68 参肥上町 68 参北・参肥下町 68 参北・参肥下町 68 参肥・下町 68 参肥・下町 68 参肥・下町 68 参北・参肥・下町 68 参にする肥上町 60 地の内遺跡1 60 内遺跡1 60 内遺跡1 60 内遺跡2 60 井手東1遺跡 60 井手東1 60 井町山崎町・木上町 60 井町市 60 井町市 60 井町市 60 井町町 60 井町町 60 井町町 60 市町町 60 市東山崎町・新田町 60 市東山崎町の 60 市東山崎町の 60 市町町 60 市東山崎町の 60 市東山崎町の<	75		高松市林町
77 林・下所遺跡 高松市林町 78 林・さこ遺跡 高松市木条町 80 六条址川西遺跡 高松市大条町 81 六条・上所遺跡 高松市大条町 82 六条・上所遺跡 高松市林町 83 林下所・六条乾遺跡 高松市林町 84 木太今村上所遺跡 高松市林町長池 85 さこ・長池1遺跡 高松市木大町 86 さこ・長池1遺跡 高松市木大町 87 大池遺跡 高松市木大町 88 上西原遺跡 高松市木大町 89 弘福寺領田図調査地(北地区) 高松市木太町 90 木太町九区 高松市木太町 90 木太町九区 高松市木太町 90 木太町九区 高松市木太町八区 91 大流神遺跡 高松市木太町八区 92 向城跡 高松市木太町 93 白山神社古墳 高松市木太町 94 木太本村遺跡 高松市大太町 95 木太本村遺跡 高松市太町 96 神内城跡 高松市太町 98 多肥ら見元 高松市大上町 98 多肥ら見元 高松市本太町 100	-		高松市林町坊城
78 林・さこ遺跡 高松市大条町字中筋 80 六条上川西遺跡 高松市六条町 81 六条・上所遺跡 高松市六条町 82 六条・下所遺跡 高松市大条町 83 林下所・六条乾遺跡 高松市林町長池 84 木太今村上所遺跡 高松市林町長池 85 さこ・長池1遺跡 高松市林町長池 86 さこ・長池1遺跡 高松市木太町 87 大池遺跡 高松市木太町 88 上西原遺跡 高松市木太町 89 弘福寺領田図調査地(北地区) 高松市木太町 90 木太町上環館 高松市木太町 90 木太町上墳 高松市木太町八区 91 大荒神古墳 高松市木太町八区 92 向城跡 高松市木太町八区 93 白山神社古墳 高松市木太町 94 木太本村直跡 高松市木太町 95 木太本村直跡 高松市大太町 96 神内破跡 高松市太町 97 木太本村直跡 高松市本太町 98 多肥宮尾遺跡 高松市多肥上町 90 本松林遺跡 高松市多肥上町 101 池の内遺跡 高松市多肥下町 <	77	林・下所遺跡	
79 六条地川西遺跡 高松市六条町 80 六条・上所遺跡 高松市六条町 81 六条・上所遺跡 高松市六条町 82 六条下所遺跡 高松市林町 84 木太今村上所遺跡 高松市林町長池 85 さこ・長池 Ⅱ遺跡 高松市林町長池 86 さこ・長池 Ⅱ遺跡 高松市木太町 87 大池遺跡 高松市木太町 88 上西原遺跡 高松市木太町 89 弘福寺領田図調査地(北地区) 高松市木太町 80 小本太町九区 高松市木太町 90 木太町九区 高松市木太町八区 91 大流市古墳 高松市木太町八区 92 向城跡 高松市木太町八区 93 自山神社古墳 高松市木太町 94 木太本村遺跡 高松市木太町 95 木太本村遺跡 高松市太町 96 神内城跡 高松市太町 97 木太中村遺跡 高松市多肥上町 98 多肥ら尻遺跡 高松市多肥上町 102 池の内遺跡 高松市多肥上町 103 日春、松林遺跡 高松市多肥上町 104 田東東 I 高松市大田町町町	-		
81 六条・上所遺跡 高松市六条町 82 六条下所遺跡 高松市六条町 83 林下所・六条乾遺跡 高松市林町 84 木太今村上所遺跡 高松市林町長池 85 さこ・長池Ⅱ遺跡 高松市林町長池 86 さこ・長池Ⅱ遺跡 高松市木太町一区 87 大池遺跡 高松市木太町 89 弘福寺領田図調査地(北地区) 高松市木太町 90 木太町人区遺跡 高松市木太町人区 91 大荒神古墳 高松市木太町人区 92 向城跡 高松市木太町 93 自山神社古墳 高松市木太町 94 木太本村遺跡 高松市木太町 95 木太本村 II 遺跡 高松市木太町 96 神内城跡 高松市木太町 97 木太中村遺跡 高松市木太町 98 多肥宮尻遺跡 高松市本大町 99 多肥・松林遺跡 高松市多肥上町 100 松林遺跡 高松市多肥上町 101 池の内遺跡 I 高松市多肥上町 102 池の内遺跡 I 高松市多肥上町 103 日暮・松林遺跡 高松市多肥下町 104 四原遺跡 高松市多肥下町 105 多肥下町下所遺跡 高松市が代石町井手東 106 井手東 I 遺跡 高松市が代石町井手東 107 井手東 I 遺跡 高松市が田町 108 居石遺跡 高松市松縄町 109 蛙股遺跡 高松市松縄町 11 東山崎・水田遺跡 </td <td>79</td> <td></td> <td>高松市六条町字中筋</td>	79		高松市六条町字中筋
82 六条下所遺跡 高松市木町 84 木太今村上所遺跡 高松市林町 85 さこ・長池Ⅱ遺跡 高松市林町長池 86 さこ・長池Ⅱ遺跡 高松市林町長池 87 大池遺跡 高松市木太町 88 上西原遺跡 高松市木太町 89 弘福寺領田図調査地(北地区) 高松市木太町 90 水太町人区遺跡 高松市木太町人区 91 大売中古墳 高松市木太町人区 92 向城跡 高松市木太町八区 93 自山神社古墳 高松市木太町 94 木太本村田遺跡 高松市木太町 95 木太本村田遺跡 高松市太太町 96 神へ城跡 高松市木太町 96 神へ城跡 高松市木太町 97 木太中村遺跡 高松市本大町 98 多肥宮尻遺跡 高松市多肥上町 90 多肥・松林遺跡 高松市多肥上町 100 校議遺跡 高松市多肥上町 101 池の内遺跡 高松市多肥下町 102 池の内遺跡 高松市多肥下町 103 日暮、松林遺跡 高松市大田町町 104 四原遺跡 高松市大田町町	80	六条上川西遺跡	高松市六条町
83 林下所・六条乾遺跡 高松市林町 84 木太今村上所遺跡 高松市林町長池 85 さこ・長池 I 遺跡 86 さこ・長池 I 遺跡 87 大池遺跡 88 上西原遺跡 88 上西原遺跡 88 上西原遺跡 88 上西原遺跡 89 弘福寺領田図調査地 (北地区) 89 弘福寺領田図調査地 (北地区) 90 木太町九区遺跡 91 大荒神古墳 92 向城跡 93 自山神社古墳 94 木太本村遺跡 95 本太本村 II 遺跡 96 神内城跡 96 神内城跡 97 木太中村遺跡 98 多肥宮尻遺跡 98 多肥宮尻遺跡 99 多肥・石木太町 99 多肥・石木太町 90 を林遺跡 80 高松市木太町 91 7 本な中村遺跡 96 神内城跡 80 高松市本大町 97 7 本太中村遺跡 80 高松市本大町 98 80 部市を肥上町 99 多肥・松林遺跡 80 高松市多肥上町 80 80 市多肥上町 80 市	81	六条・上所遺跡	高松市六条町上所
84 木太今村上所遺跡 高松市林町長池 85 さこ・長池 I 遺跡 高松市林町長池 87 大池遺跡 高松市林町長池 87 大池遺跡 高松市林町長池 87 大池遺跡 高松市木太町 89 弘福寺領田図調査地(北地区) 高松市木太町 90 木太町九区遺跡 高松市木太町九区 91 大荒神古墳 高松市木太町八区 92 向城跡 高松市木太町八区 93 白山神社古墳 高松市木太町八区 94 木太本村遺跡 高松市木太町 95 木太本村遺跡 高松市木太町 96 神内城跡 高松市木太町 96 神内城跡 高松市木太町 97 木太中村遺跡 高松市未太町 98 孝肥・松井遺跡 高松市多肥上町 90 参肥・松井遺跡 高松市多肥上町 100 松井遺跡 高松市多肥上町 101 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 102 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 103 日春・松林遺跡 高松市が伊田町 104 田原遺跡 高松市大石町井手東 105 夢肥下町下所遺跡 高松市大田町時里	82	六条下所遺跡	高松市六条町
85 さこ・長池Ⅱ遺跡 高松市林町長池 86 さこ・長池Ⅱ遺跡 高松市林町長池 87 大池遺跡 高松市木太町 88 上西原遺跡 高松市木太町 89 弘福寺領田図調査地(北地区) 高松市木太町 90 木太町九区 高松市木太町九区 91 大荒神古墳 高松市木太町九区 92 向城跡 高松市木太町八区 93 白山神社古墳 高松市木太町八区 94 木太本村遺跡 高松市木太町 95 木太本村遺跡 高松市木太町 96 神内城跡 高松市木太町 97 木太中村遺跡 高松市木太町 97 木太中村遺跡 高松市本大町 97 木太中村遺跡 高松市本上町 98 多肥宮尼遺跡 高松市多肥上町 99 多肥・松林遺跡 高松市多肥上町 101 池の内遺跡 I 高松市多肥上町 102 池の内遺跡 I 高松市多肥上町 103 日春・松林遺跡 高松市大石町井東東 104 四遺跡 高松市大石町井手東 105 多肥下町下所遺跡 高松市大石町町野 106 井手東 I 高松市大田町町	83	林下所・六条乾遺跡	高松市林町
86 さこ・長池Ⅱ遺跡 高松市林大町一区 87 大池遺跡 高松市木太町 88 上西原遺跡 高松市木太町 90 木太町九区遺跡 高松市木太町九区 91 大荒神古墳 高松市木太町九区 92 向城跡 高松市木太町八区 93 自山神社古墳 高松市木太町八区 94 木太本村遺跡 高松市木太町 95 木太本村遺跡 高松市木太町 96 神内城跡 高松市木太町 97 木太本村遺跡 高松市大太町 96 神内城跡 高松市木太町 97 木太本村遺跡 高松市多肥上町 90 多肥・松林遺跡 高松市多肥上町 90 多肥・松林遺跡 高松市多肥上町 100 松林遺跡 高松市多肥下町 101 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 102 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 103 日暮・松林遺跡 高松市分田町 104 田原遺跡 高松市代石町井手東 105 多肥下町下所遺跡 高松市代石町井手東 106 井手東 I 遺跡 高松市代石町井手東 107 井手東 I 遺跡 高松市松縄町下市 <tr< td=""><td>84</td><td></td><td>高松市林町</td></tr<>	84		高松市林町
86 さこ・長池Ⅱ遺跡 高松市林大町一区 87 大池遺跡 高松市木太町 88 上西原遺跡 高松市木太町 90 木太町九区遺跡 高松市木太町九区 91 大荒神古墳 高松市木太町九区 92 向城跡 高松市木太町八区 93 自山神社古墳 高松市木太町八区 94 木太本村遺跡 高松市木太町 95 木太本村遺跡 高松市木太町 96 神内城跡 高松市木太町 97 木太本村遺跡 高松市大太町 96 神内城跡 高松市木太町 97 木太本村遺跡 高松市多肥上町 90 多肥・松林遺跡 高松市多肥上町 90 多肥・松林遺跡 高松市多肥上町 100 松林遺跡 高松市多肥下町 101 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 102 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 103 日暮・松林遺跡 高松市分田町 104 田原遺跡 高松市代石町井手東 105 多肥下町下所遺跡 高松市代石町井手東 106 井手東 I 遺跡 高松市代石町井手東 107 井手東 I 遺跡 高松市松縄町下市 <tr< td=""><td>85</td><td>さこ・長池Ⅰ遺跡</td><td>高松市林町長池</td></tr<>	85	さこ・長池Ⅰ遺跡	高松市林町長池
87 大池遺跡 高松市木太町 88 上西原遺跡 高松市木太町 90 水太町九区遺跡 高松市木太町九区 91 大荒神古墳 高松市木太町九区 92 向城跡 高松市木太町八区 93 白山神社古墳 高松市木太町 94 木太本村遺跡 高松市木太町 95 木太本村遺跡 高松市木太町 96 神内破跡 高松市太町 96 神内破跡 高松市木太町 96 神内破跡 高松市木太町 96 神内破跡 高松市木太町 96 神内破跡 高松市木太町 97 木太中村遺跡 高松市泰肥上町 98 多肥・松村遺跡 高松市多肥上町 98 多肥・松村遺跡 高松市多肥上町 100 松村遺跡 高松市多肥上町 101 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 102 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 103 日暮・松林遺跡 高松市代石町井手東 104 世原遺跡 高松市伏石町井手東 105 多肥下町ご商談 高松市代石町井手東 106 井手東 I 遺跡 高松市长畑町下町 107	86	さこ・長池Ⅱ遺跡	高松市林町長池
89	87		高松市木太町一区
90 木太町九区遺跡 高松市木太町九区 91 大荒神古墳 高松市木太町八区 92 向城跡 高松市木太町八区 93 白山神社古墳 高松市木太町 94 木太本村遺跡 高松市木太町 95 木太本村遺跡 高松市太町 96 神内城跡 高松市太町 96 神内城跡 高松市太町 97 木太中村遺跡 高松市多肥上町 96 神内城跡 高松市多肥上町 97 木太中村遺跡 高松市多肥上町 98 多肥宮尻遺跡 高松市多肥上町 100 松地遺跡 高松市多肥上町 101 池の内遺跡 I 高松市多肥上町 102 池の内遺跡 I 高松市多肥上町 103 日春・松林遺跡 高松市多肥上町 104 四児遺跡 高松市多肥上町 105 多肥下町下所遺跡 高松市伏石町井手東 106 井手東I 遺跡 高松市伏石町井手東 107 井手東I 遺跡 高松市松縄町下所 11 境日・下西原遺跡 高松市松縄町下未太町 12 天満・宮西遺跡 高松市松縄町下 12 天満・宮西遺跡 高松市松縄町	88	上西原遺跡	高松市木太町
91 大荒神古墳 高松市木太町八区 92 向城跡 高松市木太町八区 93 白山神社古墳 高松市木太町 94 木太本村団跡 高松市木太町 95 木太本村団遺跡 高松市木太町 96 神内城跡 高松市木太町 97 木太中村遺跡 高松市多肥上町 98 多肥宮尻遺跡 高松市多肥上町 99 多肥・松林遺跡 高松市多肥上町 100 松本遺跡 高松市多肥上町 101 池の内遺跡 I 高松市多肥上町 102 池の内遺跡 I 高松市多肥上町 103 日暮・松林遺跡 高松市多肥上町 104 凹原遺跡 I 高松市多肥上町 105 多肥下町下所遺跡 高松市多肥下町 106 井手東I 遺跡 高松市大石町井手東 107 井手東I 遺跡 高松市伏石町井手東 108 居石遺跡 高松市大石町居石 109 軽速資跡 高松市大田町野亜 110 松縄下所遺跡 高松市松縄町下所 111 境日・下西原遺跡 高松市松縄町下市 112 天満・宮西遺跡 高松市松縄町 12 天満・宮西遺跡 高松市新田町	89		
92 向城跡 高松市木太町八区 93 白山神社古墳 高松市木太町八区 94 木太本村遺跡 高松市木太町 95 木太本村Ⅱ遺跡 高松市木太町 96 神内城跡 高松市木太町 97 木太中村遺跡 高松市多肥上町 98 多肥宮尻遺跡 高松市多肥上町 100 松林遺跡 高松市多肥上町 101 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 102 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 103 日春・松林遺跡 高松市多肥下町 104 凹原遺跡 高松市多肥下町 105 多肥下町下所遺跡 高松市多肥下町 106 井手東Ⅰ遺跡 高松市分肥下町 106 井手東Ⅰ遺跡 高松市人代町 井手東 107 井手東Ⅱ遺跡 高松市代石町井手東 108 居石遺跡 高松市代石町井手東 109 蛙股遺跡 高松市佐縄町下所 110 松縄下所遺跡 高松市松縄町下所 111 境目・下西原遺跡 高松市松縄町 112 天満・宮西遺跡 高松市松縄町 高松市報町 114 東山崎・水田遺跡 高松市春日町 115 川南西遺跡 高松市春日町 116 川南東遺跡 高松市寿日町 117 入本古墳 高松市新田町 119 入米池南遺跡 高松市新田町 120 高松茶白山市古墳 高松市新田町 121 高松茶白山南古墳 高松市東山崎町の米山 122 高松茶白山南古墳 高松市東山崎町の米山 123 高松茶白山南古墳 高松市東山崎町前田境 124 入米山古墳 高松市東山崎町の米山 125 諏訪神社古墳 高松市東山崎町の米山 125 諏訪神社古墳 高松市東山崎町の米山 126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町の米山 127 入米山古墳群 高松市東山崎町の米山 128 高松市東山崎町の米山	90		
93 白山神社古墳 高松市木太町八区 94 木太本村遺跡 高松市木太町 95 木太本村頂遺跡 高松市木太町 96 神内城跡 高松市木太町 97 木太中村遺跡 高松市本太町 98 多肥宮尻遺跡 高松市多肥上町 99 多肥・松林遺跡 高松市多肥上町 100 松林遺跡 高松市多肥上町 101 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 102 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 103 日暮・松林遺跡 高松市多肥下町 104 凹原遺跡 高松市多肥下町 105 多肥下町下所遺跡 高松市多肥下町回原 106 井手東 I 遺跡 高松市人石町井手東 107 井手東 I 遺跡 高松市人石町井手東 108 居石遺跡 高松市大石町居石 109 蛙股遺跡 高松市大石町青石 100 松縄下所遺跡 高松市大縄町下所 111 境日・下西原遺跡 高松市松縄町下所 112 天満・宮西遺跡 高松市松縄町下所 113 松縄城跡 高松市・松縄町宮西 114 東山崎・水田遺跡 高松市東山崎町水田 115 川南西遺跡 高松市東山崎町水田 116 川南東遺跡 高松市新田町 117 久本古墳 高松市新田町 118 久米池遺跡 高松市新田町 119 久米池南遺跡 高松市新田町 120 高松茶臼山市墳 高松市東山崎町八米山 <td< td=""><td>91</td><td>大荒神古墳</td><td>高松市木太町九区</td></td<>	91	大荒神古墳	高松市木太町九区
94 木太本村Ⅱ遺跡 高松市木太町 95 木太本村Ⅱ遺跡 高松市木太町 96 神内城跡 高松市木太町 97 木太中村遺跡 高松市多肥上町 98 多肥宮尻遺跡 高松市多肥上町 99 多肥・松林遺跡 高松市多肥上町 100 松林遺跡 高松市多肥上町 101 池の内遺跡Ⅱ 高松市多肥下町 102 池の内遺跡Ⅱ 高松市多肥下町 103 日春・松林遺跡 高松市多肥下町 104 凹原遺跡 高松市多肥下町 105 多肥下町所遺跡 高松市人石町井手東 106 井手東Ⅰ遺跡 高松市代石町居石 107 井手東Ⅱ遺跡 高松市代石町居石 108 居石遺跡 高松市代石町居石 109 娃股遺跡 高松市大田下町蛙股 100 松縄下所遺跡 高松市松縄町下所 111 境日・下西原遺跡 高松市松縄町下所 112 天満・宮西遺跡 高松市転縄町宮西 113 松縄城跡 高松市東山崎町水田 115 川南東遺跡 高松市東山崎町水田 116 川南東遺跡 高松市新田町 120 高松茶白山古墳 高松市新田町 <td>92</td> <td></td> <td></td>	92		
95 木太本村 II 遺跡 高松市木太町 96 神内城跡 高松市木太町 97 木太中村遺跡 高松市多肥上町 98 多肥宮尻遺跡 高松市多肥上町 99 多肥・松林遺跡 高松市多肥上町 100 松林遺跡 高松市多肥下町 101 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 102 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 103 日暮・松林遺跡 高松市多肥下町 104 凹原遺跡 高松市多肥下町 105 多肥下町下所遺跡 高松市多肥下町 106 井手東 I 遺跡 高松市人石町井手東 107 井手東 I 遺跡 高松市代石町井手東 108 居石遺跡 高松市大田下町蛙股 109 蛙股遺跡 高松市松縄町下所 111 境日・下西原遺跡 高松市松縄町・木太町 112 天満・宮西遺跡 高松市松縄町 113 松縄城跡 高松市和田町 114 東山崎・水田遺跡 高松市東山崎町水田 115 川南西遺跡 高松市新田町 116 川南東遺跡 高松市新田町 117 久本古墳 高松市新田町 120 高松茶臼山古墳 高松市前田西町	93	白山神社古墳	
96 神内城跡 高松市木太町二区 97 木太中村遺跡 高松市多肥上町 98 多肥宮尻遺跡 高松市多肥上町 99 多肥・松林遺跡 高松市多肥上町 100 松林遺跡 高松市多肥上町 101 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 102 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 103 日暮・松林遺跡 高松市多肥下町 104 凹原遺跡 高松市多肥下町 105 多肥下町下所遺跡 高松市多肥下町 106 井手東 I 遺跡 高松市伏石町井手東 107 井手東 I 遺跡 高松市伏石町居石 109 蛙股遺跡 高松市大田下町蛙股 100 松縄下所遺跡 高松市松縄町下所 111 境目・下西原遺跡 高松市松縄町・木太町 112 天満・宮西遺跡 高松市松縄町 113 松縄城跡 高松市松縄町 114 東山崎・水田遺跡 高松市東山崎町水田 115 川南西遺跡 高松市春日町 116 川南東遺跡 高松市春日町 117 久本古墳 高松市新田町 118 久米池南遺跡 高松市新田町 119 久米池南遺跡 高松市新田町 120 高松茶臼山古墳 高松市東山崎町・新田町・新田町・前田西町 121 高松茶臼山市古墳 高松市東山崎町八米山諏訪神社 122 高松末日山崎町人米山 高松市東山崎町八米山 123 高松市社市墳 高松市東山崎町八米山諏訪神社 125 諏訪神社市墳 高松市東山崎町八米山	94	木太本村遺跡	高松市木太町
97 木太中村遺跡 高松市多肥上町 98 多肥宮尻遺跡 高松市多肥上町 99 多肥・松林遺跡 高松市多肥上町 100 松林遺跡 高松市多肥下町 101 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 102 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 103 日暮・松林遺跡 高松市多肥上町 104 凹原遺跡 高松市多肥下町 105 多肥下町下所遺跡 高松市多肥下町 106 井手東 I 遺跡 高松市人石町井手東 107 井手東 I 遺跡 高松市代石町居石 108 居石遺跡 高松市大田下町蛙股 109 蛙股遺跡 高松市松縄町下所 110 松縄下所遺跡 高松市松縄町下所 111 境日・下西原遺跡 高松市松縄町 112 天満・宮西遺跡 高松市松縄町宮西 113 松縄城跡 高松市東山崎町水田 115 川南西遺跡 高松市春日町 116 川南東遺跡 高松市新田町 117 久本古墳 高松市新田町 118 久米池南遺跡 高松市新田町 120 高松茶臼山市墳 高松市東山崎町・新田町 121 高松茶臼山市古墳 高松市東山崎町入米山	-		
98 多肥空尻遺跡 高松市多肥上町 99 多肥・松林遺跡 高松市多肥上町 100 松林遺跡 高松市多肥下町 101 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 102 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 103 日暮・松林遺跡 高松市多肥上町 104 凹原遺跡 高松市多肥下町四原 105 多肥下町下所遺跡 高松市多肥下町 106 井手東 I 遺跡 高松市伏石町井手東 107 井手東 I 遺跡 高松市伏石町井手東 108 居石遺跡 高松市伏石町居石 109 蛙股遺跡 高松市松縄町下所 110 松縄下所遺跡 高松市松縄町・木太町 111 境日・下西原遺跡 高松市松縄町 112 天満・宮西遺跡 高松市松縄町宮西 114 東山崎・水田遺跡 高松市東山崎町水田 115 川南西遺跡 高松市春日町 116 川南東遺跡 高松市新田町 117 久本古墳 高松市新田町 118 久米池南遺跡 高松市新田町 120 高松茶臼山古墳 高松市東山崎町・新田町 121 高松茶臼山古墳 高松市東山崎町入米山諏訪神社 122 高松茶臼山西古墳	-		
99 多肥・松林遺跡 高松市多肥上町 100 松林遺跡 高松市多肥上町 101 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 102 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 103 日暮・松林遺跡 高松市多肥上町 104 凹原遺跡 高松市多肥下町凹原 105 多肥下町下所遺跡 高松市 伊田町 106 井手東 I 遺跡 高松市伏石町井手東 107 井手東 I 遺跡 高松市伏石町井手東 108 居石遺跡 高松市伏石町居石 109 蛙股遺跡 高松市大田下町蛙股 110 松縄下所遺跡 高松市松縄町下所 111 境目・下西原遺跡 高松市松縄町 112 天満・宮西遺跡 高松市松縄町宮西 113 松縄城跡 高松市松縄町宮西 114 東山崎・水田遺跡 高松市春日町 115 川南西遺跡 高松市春日町 116 川南東遺跡 高松市春日町 117 久本古墳 高松市新田町 118 久米池南遺跡 高松市新田町 119 久米池南遺跡 高松市新田町 120 高松茶臼山古墳 高松市東山崎町・新田町・新田町・前田西町・前田西町・前田西町・前田西町・直松市東山崎町の大米山 高松市東山崎町久米山 高松市東山崎町久米山 高松市東山崎町久米山 高松市東山崎町久米山 諏訪神社 高松市東山崎町八米山 1093 125 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町八米山 1093			
100 松林遺跡 高松市多肥上町 101 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 102 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 103 日暮・松林遺跡 高松市多肥上町 104 凹原遺跡 高松市多肥下町凹原 105 多肥下町下所遺跡 高松市多肥下町 106 井手東 I 遺跡 高松市伏石町井手東 107 井手東 I 遺跡 高松市伏石町居石 108 居石遺跡 高松市大田下町蛙股 100 松縄下所遺跡 高松市松縄町下所 111 境目・下西原遺跡 高松市松縄町・木太町 112 天満・宮西遺跡 高松市松縄町宮西 113 松縄城跡 高松市松縄町宮西 114 東山崎・水田遺跡 高松市春日町 115 川南西遺跡 高松市春日町 116 川南東遺跡 高松市新田町 117 久本古墳 高松市新田町 118 久米池南遺跡 高松市新田町 119 久米池南遺跡 高松市新田町 120 高松茶臼山古墳 高松市東山崎町・新田町・新田町・前田西町・新田町・前田西町・高松市東山崎町・新田町・高松市東山崎町市田境 121 高松茶臼山市古墳 高松市東山崎町入米山諏訪神社 122 高松茶臼山周辺古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 125 諏訪神社古墳 高松市東山崎町八米山諏訪神社 126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町八米山諏訪神社 127 久米山古墳群 高松市東山崎町八米山 1093	-		
101 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 102 池の内遺跡 I 高松市多肥下町 103 日暮・松林遺跡 高松市多肥下町 104 凹原遺跡 高松市多肥下町 105 多肥下町下所遺跡 高松市多肥下町 106 井手東 I 遺跡 高松市伏石町井手東 107 井手東 I 遺跡 高松市伏石町井手東 108 居石遺跡 高松市伏石町居石 109 蛙股遺跡 高松市松縄町下所 110 松縄下所遺跡 高松市松縄町下所 111 境目・下西原遺跡 高松市松縄町・木太町 122 天満・宮西遺跡 高松市松縄町宮西 144 東山崎・水田遺跡 高松市松縄町宮西 115 川南西遺跡 高松市新田町 115 川南西遺跡 高松市新田町 116 川南東遺跡 高松市新田町 117 久本古墳 高松市新田町 118 久米池遺跡 高松市新田町 119 久米池南遺跡 高松市新田町 110 高松茶臼山古墳 高松市前田西町引妻 120 高松茶臼山古墳 高松市町田町 121 高松茶臼山市古墳 高松市東山崎町市田境 122 高松茶臼山同辺古墳 高松市東山崎町前田境 123 高松茶臼山周辺古墳 高松市東山崎町前田境 124 久米山古墳 高松市東山崎町八米山諏訪神社 125 諏訪神社古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 127 久米山古墳群 高松市東山崎町久米山諏訪神社 128 京松市東山崎町久米山諏訪神社 128 京松市東山崎町久米山諏訪神社 128 京松市東山崎町久米山諏訪神社 128 京松市東山崎町久米山諏訪神社 128 京松市東山崎町久米山諏訪神社 128 京松市東山崎町久米山諏訪神社 128 京松市東山崎町久米山 1093 128 下東山崎町久米山 1093 128 下町 1	-		
102 池の内遺跡	-		
103 日暮・松林遺跡 高松市多肥上町 104 四原遺跡 高松市多肥下町四原 高松市多肥下町四原 高松市多肥下町四原 高松市大石町井手東 高松市伏石町井手東 高松市伏石町井手東 高松市伏石町井手東 高松市伏石町居石 62 62 62 62 62 63 63 64 64 64 64 64 64	-		
104 四原遺跡	-		
105 多肥下町下所遺跡 高松市多肥下町 106 井手東 I 遺跡 高松市伏石町井手東 107 井手東 I 遺跡 高松市伏石町井手東 108 居石遺跡 高松市大石町居石 高松市太田下町蛙股 109 蛙股遺跡 高松市松縄町下所 高松市松縄町下所 111 境目・下西原遺跡 高松市松縄町・木太町 122 天満・宮西遺跡 高松市松縄町 木太町 131 松縄城跡 高松市松縄町宮西 144 東山崎・水田遺跡 高松市和縄町宮西 115 川南西遺跡 高松市春日町 116 川南東遺跡 高松市春日町 117 久本古墳 高松市新田町久本 118 久米池遺跡 高松市新田町 119 久米池南遺跡 高松市新田町 119 久米池南遺跡 高松市新田町 120 高松茶臼山古墳 高松市東山崎町・新田町 121 高松茶臼山古墳 高松市東山崎町前田境 122 高松茶臼山南古墳 高松市東山崎町前田境 123 高松茶臼山周辺古墳 高松市東山崎町前田境 124 久米山古墳 高松市東山崎町八米山諏訪神社 125 諏訪神社古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 127 久米山古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 128 諏山崎町久米山諏訪神社 128 129 1	-		
106			
107			
108 居石遺跡	-		
109 蛙股遺跡	-		
110 松縄下所遺跡	-		
111 境目・下西原遺跡 高松市松縄町・木太町 112 天満・宮西遺跡 高松市松縄町 113 松縄城跡 高松市松縄町宮西 114 東山崎・水田遺跡 高松市東山崎町水田 115 川南西遺跡 高松市春日町 116 川南東遺跡 高松市新田町へ本 117 久本古墳 高松市新田町へ本 118 久米池遺跡 高松市新田町 119 久米池南遺跡 高松市新田町 120 高松茶臼山古墳 高松市東山崎町・新田町・新田町・前田西町 121 高松茶臼山市古墳 高松市東山崎町前田境 122 高松茶臼山周辺古墳 高松市東山崎町所田境 123 高松茶臼山周辺古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 124 久米山古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 125 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 127 久米山古墳群 高松市東山崎町久米山 1093			
112 天满・宮西遺跡 高松市松縄町宮西 113 松縄城跡 高松市水縄町宮西 114 東山崎・水田遺跡 高松市東山崎町水田 115 川南西遺跡 高松市春日町 116 川南東遺跡 高松市新田町人本 117 久本古墳 高松市新田町人本 118 久米池遺跡 高松市新田町 119 久米池南遺跡 高松市新田町 120 高松茶臼山古墳 高松市東山崎町・新田町・前田町・前田町・前田町・前田町・前田町・前田墳 高松市東山崎町前田境 高松市東山崎町前田境 高松市東山崎町八米山 高松市東山崎町久米山諏訪神社 高松市東山崎町久米山諏訪神社 高松市東山崎町久米山諏訪神社 高松市東山崎町久米山諏訪神社 高松市東山崎町久米山諏訪神社 高松市東山崎町八米山 1093	-		
113 松縄城跡 高松市松縄町宮西 114 東山崎・水田遺跡 高松市東山崎町水田 115 川南西遺跡 高松市春日町 116 川南東遺跡 高松市春日町 117 久本古墳 高松市新田町久本 118 久米池遺跡 高松市新田町 119 久米池南遺跡 高松市新田町 120 高松茶臼山古墳 高松市東山崎町・新田町・新田町・前田西町・新田町・前田西町・前田西町・前田西町・前田西町・前田墳 高松市東山崎町市田境 122 高松茶臼山南古墳 高松市東山崎町前田境 123 高松茶臼山周辺古墳 高松市東山崎町久米山 125 諏訪神社古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 127 久米山古墳群 高松市東山崎町久米山 1093	-		
114 東山崎・水田遺跡 高松市東山崎町水田 115 川南西遺跡 高松市春日町 116 川南東遺跡 高松市春日町 117 久本古墳 高松市新田町久本 118 久米池遺跡 高松市新田町 119 久米池南遺跡 高松市新田町 120 高松茶臼山古墳 高松市東山崎町・新田町・新田町・前田西町・前田西町・前田西町・前田西町・前田西町・前田墳 122 高松茶臼山南古墳 高松市東山崎町前田境 123 高松茶臼山周辺古墳 高松市東山崎町入米山 125 諏訪神社古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 127 久米山古墳群 高松市東山崎町久米山 1093	-		
115 川南西遺跡 高松市春日町 116 川南東遺跡 高松市春日町 117 久本古墳 高松市新田町久本 118 久米池遺跡 高松市新田町 119 久米池遺跡 高松市新田町 120 高松茶臼山古墳 高松市東山崎町・新田町・新田町・前田西町引妻 121 高松茶臼山東古墳 高松市東山崎町前田境 122 高松茶臼山南古墳 高松市東山崎町前田境 123 高松茶臼山周辺古墳 高松市東山崎町入米山 125 諏訪神社古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 127 久米山古墳群 高松市東山崎町久米山 1093	-	7	
116 川南東遺跡 高松市春日町 117 久本古墳 高松市新田町久本 118 久米池遺跡 高松市新田町 119 久米池南遺跡 高松市新田町 120 高松茶臼山古墳 高松市東山崎町・新田町・新田町・前田西町 引妻 121 高松茶臼山東古墳 高松市東山崎町前田境 122 高松茶臼山南古墳 高松市東山崎町前田境 123 高松茶臼山周辺古墳 高松市東山崎町入米山 124 久米山古墳 高松市東山崎町久米山 125 諏訪神社古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 127 久米山古墳群 高松市東山崎町久米山 1093	-		
117 久本古墳 高松市新田町久本 118 久米池遺跡 高松市新田町 119 久米池南遺跡 高松市新田町 120 高松茶臼山古墳 高松市東山崎町・新田町・新田町・前田西町引妻 121 高松茶臼山東古墳 高松市東山崎町前田境 122 高松茶臼山南古墳 高松市東山崎町前田境 123 高松茶臼山周辺古墳 高松市東山崎町大米山 124 久米山古墳 高松市東山崎町久米山 125 諏訪神社古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 127 久米山古墳群 高松市東山崎町久米山 1093	-		
118 久米池遺跡 高松市新田町 119 久米池南遺跡 高松市新田町 120 高松茶臼山古墳 高松市東山崎町・新田町・前田西町 引妻 121 高松茶臼山東古墳 高松市東山崎町前田境 122 高松茶臼山南古墳 高松市東山崎町前田境 123 高松茶臼山周辺古墳 高松市東山崎町入米山 124 久米山古墳 高松市東山崎町久米山 125 諏訪神社古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 127 久米山古墳群 高松市東山崎町久米山 1093	\vdash		
119 久米池南遺跡 高松市新田町 120 高松茶臼山古墳 高松市東山崎町・新田町・前田西町 121 高松茶臼山東古墳 高松市前田西町引妻 122 高松茶臼山南古墳 高松市東山崎町前田境 123 高松茶臼山周辺古墳 高松市東山崎町前田境 124 久米山古墳 高松市東山崎町久米山 125 諏訪神社古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 127 久米山古墳群 高松市東山崎町久米山町の3	-		
120 高松茶臼山古墳 高松市東山崎町・新田町・前田西町 121 高松茶臼山東古墳 高松市前田西町引妻 122 高松茶臼山南古墳 高松市東山崎町前田境 123 高松茶臼山周辺古墳 高松市東山崎町前田境 124 久米山古墳 高松市東山崎町久米山 125 諏訪神社古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 127 久米山古墳群 高松市東山崎町久米山 1093	-		
121 高松茶臼山口頃 前田西町 前田西町 前田西町 前田西町 前田西町 前田西町 前松末臼山東古墳 高松市東山崎町前田境 高松市東山崎町前田境 高松市東山崎町前田境 高松市東山崎町久米山 125 諏訪神社古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 127 久米山古墳群 高松市東山崎町久米山 1093			
122 高松茶臼山南古墳 高松市東山崎町前田境 123 高松木臼山周辺古墳 高松市東山崎町前田境 124 久米山古墳 高松市東山崎町久米山 125 諏訪神社古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 127 久米山古墳群 高松市東山崎町久米山 1093			·前田西町
123 高松茶臼山周辺古墳 高松市東山崎町前田境 124 久米山古墳 高松市東山崎町久米山 125 諏訪神社古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 127 久米山古墳群 高松市東山崎町久米山 1093	-		
124 久米山古墳 高松市東山崎町久米山 125 諏訪神社古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 127 久米山古墳群 高松市東山崎町久米山 1093	-		
125 諏訪神社古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 127 久米山古墳群 高松市東山崎町久米山 1093			
126 諏訪神社東古墳 高松市東山崎町久米山諏訪神社 127 久米山古墳群 高松市東山崎町久米山 1093	-		
127 久米山古墳群 高松市東山崎町久米山 1093	-		
	-		
120 川你伊小场退跡 尚忪巾果山啃叫	-		
	128	川尛伊小场退跡	向仏印釆山呵叫

第1表 周辺遺跡一覧表

弥生時代

前期では標高 6 mの東中筋遺跡出土資料は沖積低地の河川堆積層から遠賀川系土器壺底部と突帯文系 土器が共伴する前期前半古相の資料である。下位の突帯文土器単純層の放射性炭素年代測定(AMS 年 代測定)による年代は紀元前 800 ~ 750 年と示されており、上位の当該資料はこれよりやや新しい年代 が与えられる。汲仏遺跡では前期前半新相から開始する環壕集落、空港跡地遺跡(62)では竪穴建物、 土坑、河川跡が検出されている。また北野遺跡(3)では水田跡が検出されている。

中期の遺跡は多肥松林遺跡 (99) では中期前半の河川域に面して掘立柱建物と円形平地建物の組み合わせによる建物群が検出されている。同時期の井出東 I 遺跡 (106) では河川内から多彩な木製品が出土し楽器の木製琴も含まれていた。付近には凹線文出現直後に廃絶する遺跡が多く平野全体で中期後半(凹線文)期の遺跡が少ない。

後期初頭からは各所で遺跡が出現する。上天神遺跡・太田下須川遺跡・天満宮西遺跡(112)では在地土器が茶褐色系の香東川下流域産と称される特徴的な胎土に変化するとともに、多くの搬入土器や朱の精製用の容器が伴う。それまでにない交易領域を示す出土品の組成である。また、同時期の太田原高州遺跡では大小の方形周溝墓からなる墓域が形成され、主体部からは日本海岸地域からもたらされた可能性が高い水晶玉が出土するなど、人の移動を伴う外部からの文化移入を読み取ることができる。

後期後半から古墳時代初頭は遺跡数がさらに増加する。空港跡地遺跡(62)では周溝墓を伴う集落が確認された。周溝墓には円形と方形がある。いずれも突出部付で全長約15mの墳丘の周囲に一辺(直径5m)ほどの小形の周溝墓がそれぞれ付随する。出土遺物から後期後半新相から終末期にかけての時期で集落内の単位ごとに異なる形状の周溝墓が構築されたものであろう。

なお剥片石器石材として縄文時代から使用され続けた金山産サヌカイトの流通は後期後半から途絶 え、利器の鉄器化がうかがわれる。

古墳時代

高松平野中央北端部には山上に安山岩のキャップロックをもつ石清尾山丘陵がある。その丘陵上には安山岩の板石や塊石を積み上げて構築した積石塚(石清尾山古墳群)が多数分布する。標高 100 mクラスの石船塚古墳を始め猫塚古墳・鶴尾神社 4 号墳などの前方後円墳や双方中円墳が所在し、古墳時代前期末ごろまで継続的な系譜が辿れる。

一方で平野東側には船岡山古墳、高松茶臼山古墳(120)、池戸八幡神社古墳といった 40 ~ 70 mクラスの前方後円墳の系譜がある。その周囲には前期でも前半段階の可能性がある 20 ~ 30 mクラスの小規模な前方後円墳も点在する。調査地南側の丘陵頂部にある全長 31 mの瘤山 1 号墳(20)は塊石積みの竪穴式石室が残存する例である。このような中小規模の前方後円墳は三谷石舟古墳(15)へと系譜が続く。三谷石舟古墳(15)は全長 88 mの大規模な前方後円墳で中期前半と推定され、後円部に露出する棺は高松市国分寺町鷲の山に産出する角閃石安山岩製の刳抜式石棺である。地域統合を象徴する盟主墳的な前方後円墳で、その後は大形円墳に転換し盟主墳の系譜が続く。調査地近くには直径 42 mの大形円墳の高野丸山古墳(8)が所在する。地表面に周濠の痕跡がある。

中期後半には平野東部の池戸丘陵に所在する権八原古墳群において初期須恵器を納めた群集墳が展開しその眼下の平野部には六条上所遺跡(81)、尾崎西遺跡、陵遺跡で陶質土器や韓式系土器が出土するなど渡来系文化の移入が認められる。近隣の三谷三郎池西岸窯跡(35)は県内最古の須恵器窯として知られている。

後期では大形の横穴式石室を有する古墳が平野部に点在する。矢野面古墳(30)は全長 9.1m の両袖 式石室を有す巨石墳で、盟主墳の系譜上にある。また周辺丘陵裾を中心に雨山南古墳群(26)や三谷石 舟池古墳群(18)などの群集墳が展開する。

集落跡は太田原高州遺跡、大下遺跡で後期から古代はじめ頃の集落が確認されている。両者は一連の 集落で、太田原高州側では大形建物に玉類や金属器生産跡が伴い、大下側では中小形の竪穴建物が多数 重複して分布するなど、階層的な居住分化が明確である。7世紀後半以後は竪穴建物はなくなり、ほぼ すべての建物が掘立柱建物に移行する。

古代

7世紀後半の集落跡が空港跡地遺跡(62)や多肥遺跡群で検出されている。8世紀以後の集落は建物 や溝が条里方向に揃うことから8世紀前半の条里地割の施工が想定できる。高野廃寺(9)は奈良から 平安後期までの瓦が知られ、継続した寺院経営が窺われる。周辺集落の調査は例が少ないが古墳と寺院 の分布から有力豪族の存在が想定できよう。

今回の調査地は讃岐国山田郡三谷郷に属し、三谷郷は現在の三谷町一帯に比定されている。延喜式によると、讃岐国内6か所の駅家のうちの一つである「三谿駅家」が郷内に所在し、馬四頭を常備し、当郷内を南海道が通過していた。

調査地周辺に限らず、高松平野全域には北から9~11度東偏した条里地割が広範囲に分布し南海道はその地割の基準線と位置づけられる。金田章裕氏は南海道は高松平野主要部では三木町白山(203.0 m)と六ツ目山(317 m)北側の傾斜変換点を見通すように設定された完全な直線道と推定し、推定線部分の南北幅が東西幅に比べて10 m程度広いことから、「条里地割が道路敷に相当すると推定される一定幅を除いて施工されている」として「条里地割の施工が、南海道の官道の設定以後」と考え、後章で詳説のとおり現地形に残る古代官道の「遺構」の存在も指摘して南海道の推定線を明確に規定した。当遺跡はその推定線がちょうど調査区内に入る。つまり調査地及びその周辺には南海道及び三谷駅家を核とする官衙施設の存在が強く想定される状況である。

中世・近世

中世では城館跡が多く、三谷氏の上佐山城・三谷城(16)、鎌野氏の鎌野城(7)、由良氏の由良山城(59)など小地域単位の土豪の拠点が残存し戦国期の状況を伝える遺跡が多く分布する。

第3章 調査成果

第1節 調査地区割及び層序

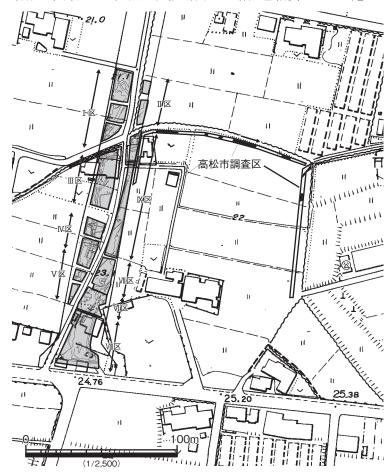
第6~26図に調査区ごとの土層断面図を掲載した。以下、調査区ごとに層序・微地形を説明する。

I 区北から I a 区・ I b 区・ I c 区に区分して調査が進んでいる。 I a 区北壁断面及び I a 区西壁断面では耕作土直下に基盤層である褐灰色粘土(北壁 12 層・ I a 区西壁 5 層)がある。堅く締まった粘土層との記録が残る。西壁ではその下位に黒褐色粘質シルトや灰色砂層などで構成される河川堆積層が存在するが出土遺物もなく河川の時期は不明。 I c 区西壁拡張断面では暗灰色粘質シルト(⑤ I c

区西壁 拡張 28 層)を基盤とする同一層がある。その他の断面でも 20.6 m前後が検出面である。すなわち、元来時期不明ながら厚い河川堆積層が形成されていたと思われるが、その堆積途上である堅く締まった粘土層まで大きく削平を被っている。SD01・SD06 が条里方向の溝で、Ib区西壁では縦断面が観察できる。Ic区西壁では南縁の撹乱層に切られて両溝が西に向けてカーブする断面が捉えられる。

Ⅱ区は完全な削平面である。調査 区内の遺構検出ラインは撹乱検出ラインである。

Ⅲ区は西壁で基盤層の黄褐色粘土 (西壁 36 層)最高点標高が 21.5 m あり、北端は撹乱が入り北壁で標高 21m付近で基盤層の粘土層(部分 的に砂層、北壁 44·48 層)がみえる。 基盤層は南ほど上昇しⅢ区南端では 標高 22 mに達する(Ⅲ区東壁断面



第4図 調査地区割図

三谷中原遺跡(香川県埋蔵文化財センター編 2019 年) 第3章 調査成果 -V区西壁-(第13図)-- N区南側西壁・北側西壁 -(第12図)--Ⅲ区西壁断面-(第9図)---I c区·•-I b区·•-I a区西壁断面-(第7図)-21.0 -VII区西壁断面-(第17図)-──VI区東壁断面-(第14図)── -VII区西壁断面-(第16図)---- IX区西壁断面 - (第24・25図) ·

第5図 全体平面図及び縮小断面図

の南端 33 層上面)。 ${\rm SD05}\sim 07$ が条里方向に走行しそのうち ${\rm SD07}$ が東に屈曲する形状を呈する。これらもすべて基盤層の削平面で検出したものである。なお、東壁の $14\sim 31$ 層は後述する南から北に走向する自然河川の流路 A に合流する後背低地に形成された窪み(${\rm SX04\cdot SX05}$)である。

Ⅳ区はⅢ区の南に位置する調査区で西壁を参考にすると粘土層を基盤(北側西壁 6 層)として北端で標高 21.8 m、南端で 22.4 mと約 0.6m 上昇している。ここでも耕土層直下が遺構検出面であり、SD01・SD02 の条里方向の溝が基盤層を掘開する。

V区も同様に粘土層(西壁 4 層)を基盤とする。

Ⅵ~㎞区は南から北東方向に流下する自然河川の堆積層とその埋没後の条里方向の溝がある。自然河川は弥生時代後期から古墳時代にかけて埋没した流路 A と古代 8 世紀代に埋没した流路 B に分かれており、条里方向の溝は流路 A の埋没後に掘開しているのは間違いないが、流路 B は条里方向の溝との重複関係を十分に精査せずに重機で掘り下げているために、重要な切り合い関係は部分的な土層断面から類推せざるを得ない。層位関係の詳細は後に詳説する。

Ⅵ区の土層断面図は下層の自然河川掘削前に記録した断面図である。南壁 14 層は自然河川(流路 A= Ⅵ区 SR01) 堆積層で、17 ~ 22 層の条里方向の溝(SD01) が切っている。

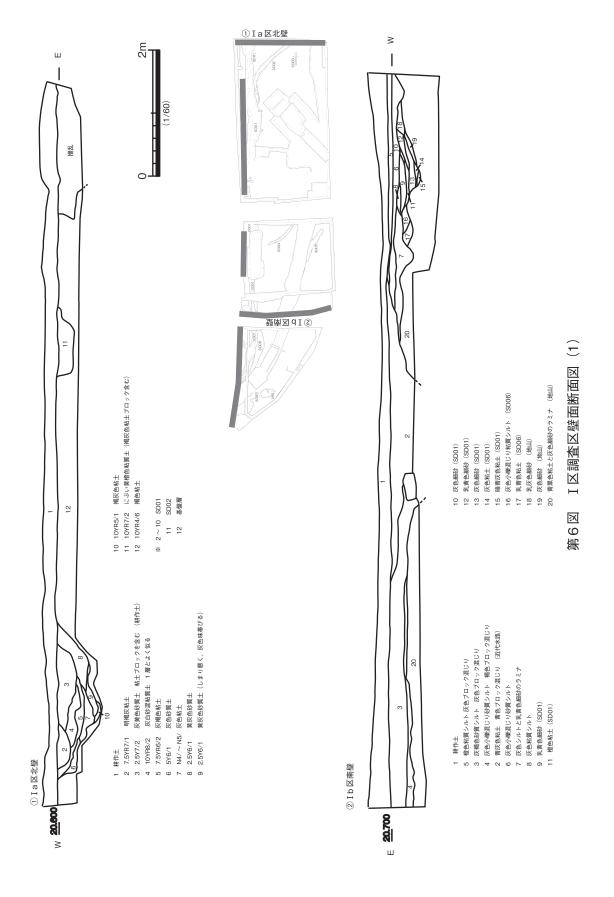
Ⅲ区は南壁で自然河川流路 B (Ⅲ区 SR01) が流路 A (Ⅲ区 SR02) 堆積層を V 字状に深く切り込んで流下する断面が示されている。流路 B 最下層の黒茶色粘土層(南壁 18 層)付近から斎串等の木製品(239~244) が出土している。

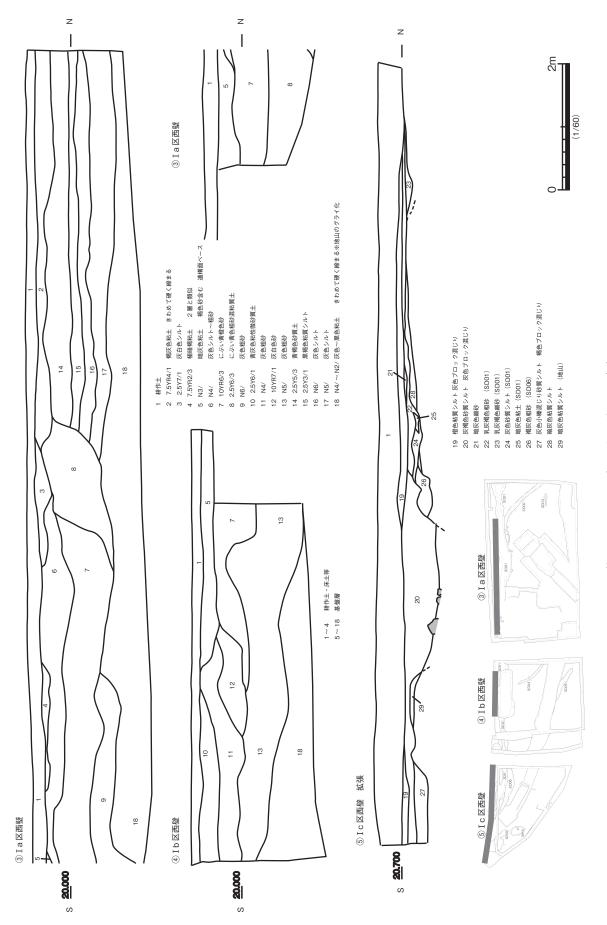
□区は県道三木国分寺線に面する遺跡南端の調査区である。北壁断面で条里方向の溝(Ψ区 SD01・02・04、4~19 層)と自然河川流路 A(Ψ区 SR01、37~57 層)、同流路 B(Ψ区 SR02、20~36 層)及び基盤層である橙色粘土(51 層)及び流路 A 西肩部の基盤層である粘土砂交互層(58~63 層)が確認できるが、流路 B と条里方向の溝との層位的な関係性はこの断面では不明である。南壁断面ではほぼ全面的に流路 B 堆積層が認められるが、西端近くで若干の窪みを伴う堆積層がある。この部分については記録作成時には気付くことができなかった条里溝との切り合い関係が示されているものと考えられる。詳細は条里方向の溝を報告するにおいて溝底レベルの比較等から旧状復元を試みている。

IX区では自然河川流路 A の北端 (IX区 SR03) が北東方向の調査区外に出る部分 (東壁 2 の 6 \sim 24 層) までを示している。それ以外は黄色系シルト層の基盤層が広がり、 I \sim V 区の基盤層と共通する。

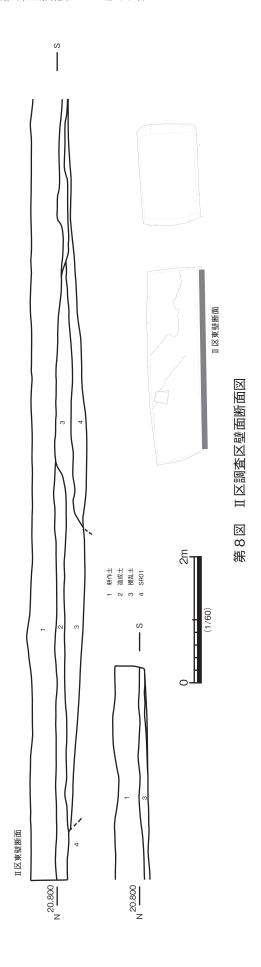
以上の土層断面を第5図に縮小して掲載した。ここから観察できる微地形をまとめると、弥生期以前の自然河川により堅く締まった粘土砂の堆積で形成された基盤層を弥生時代後期以後の自然河川が開析し、その埋没途上もしくは埋没後に古代まで継続した自然河川がさらに大きく開析、その埋没途上または埋没後に条里方向の坪境溝が掘開された。上記の自然河川は南端の垭区から北東方向に流下し区で調査区外に出る。その西岸は基本的には粘土層を基盤とする削剥面で、条里溝はそれを切り込んで掘開する。遺構検出面はその後の耕作等によりさらに大きく削剥されながら、北に向かって基盤層は下降していた。古代南海道推定線であるⅢ区北端付近と斜め方向の水路及び里道を挟んで北側のⅠ・Ⅲ区基盤層との標高差は0.9m以上あり、特に北側のⅠ・Ⅲ区における上部削平が著しいものと思われた。

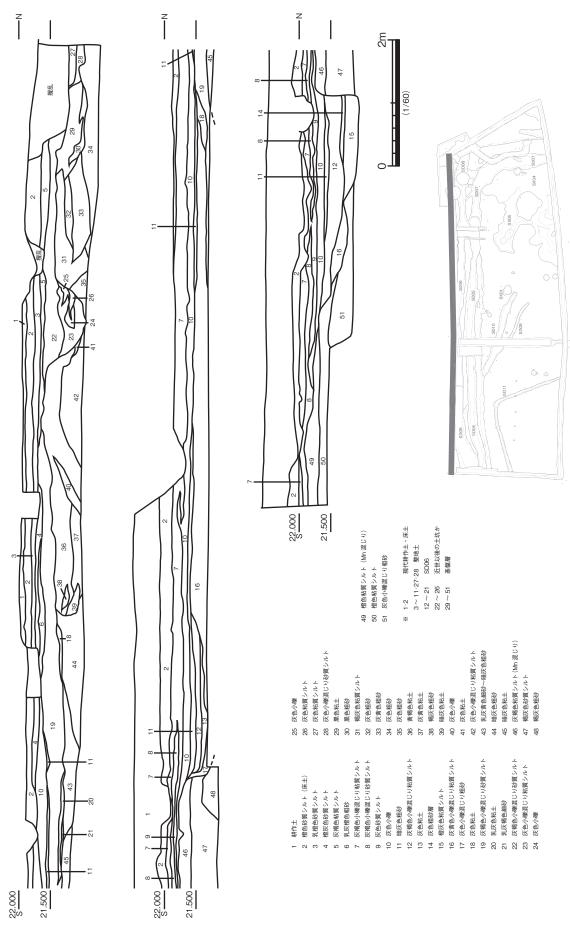
以下、遺構種別の順で遺構・遺物を報告する。



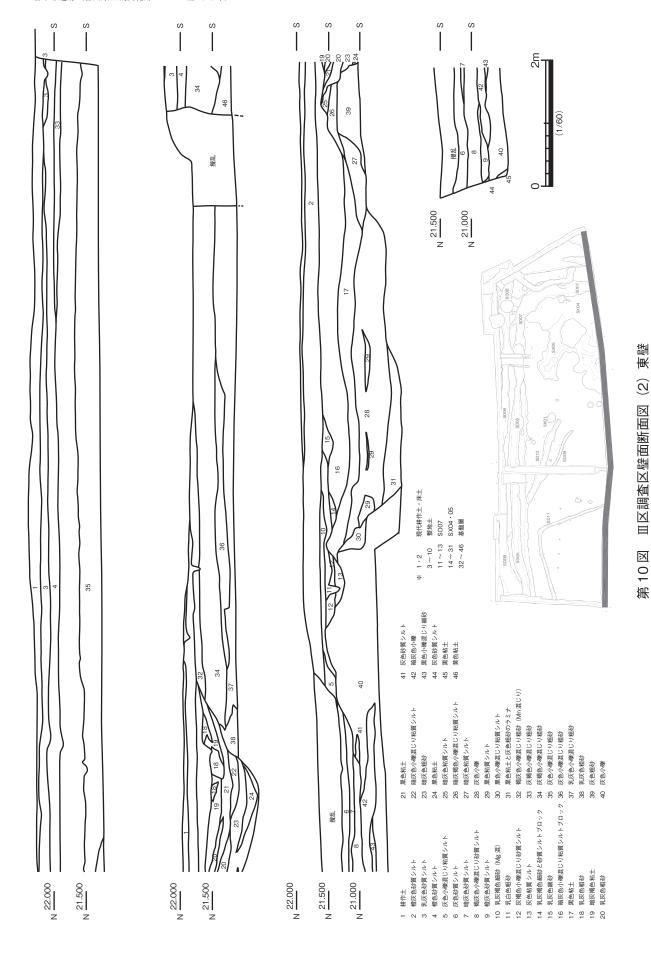


第7図 I区調査区壁面断面図(2)

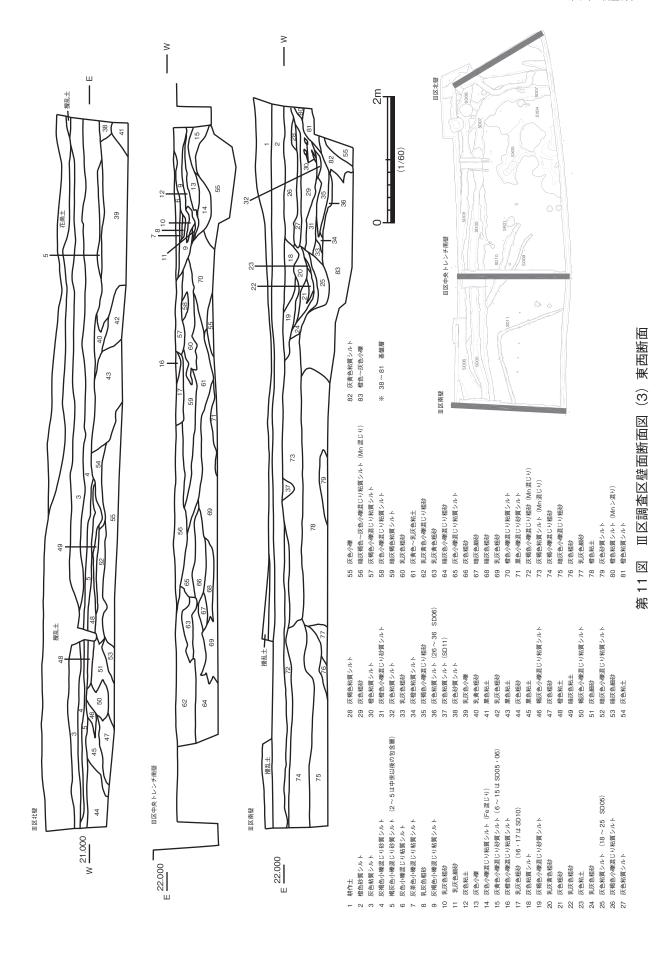




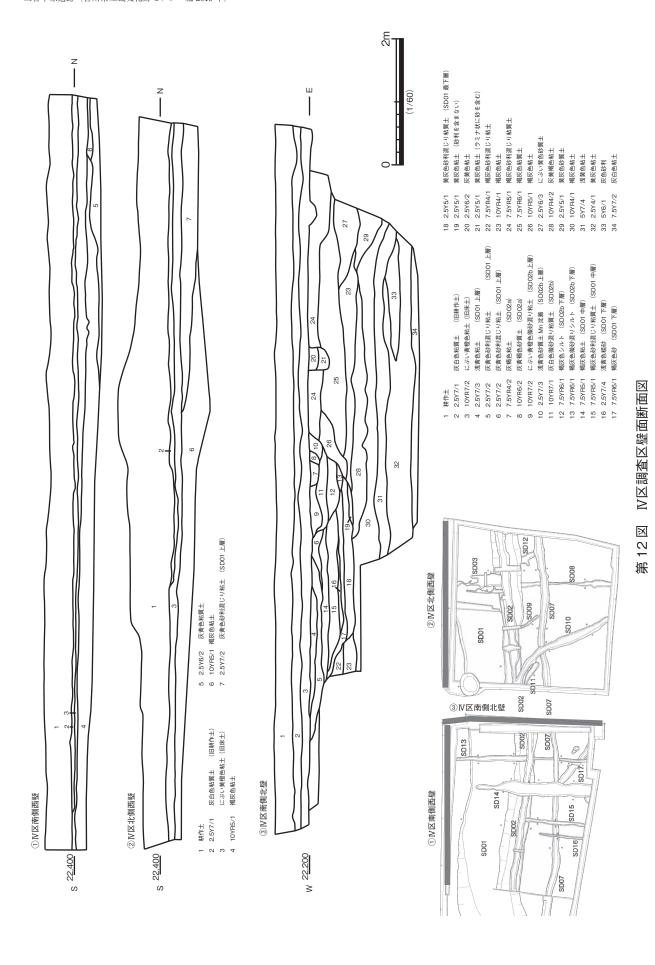
第9回 皿区調査区壁面断面図(1) 西壁



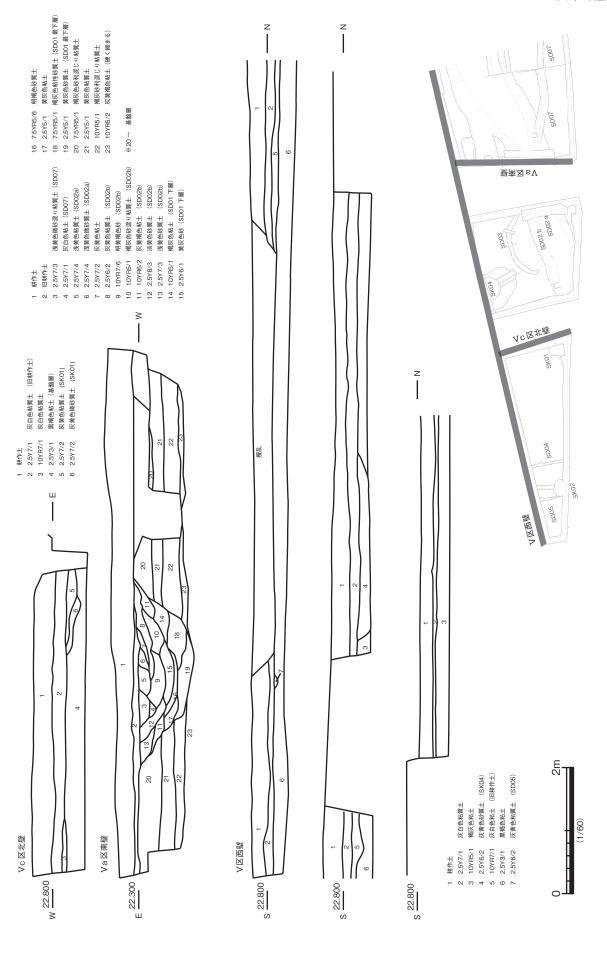
-16-



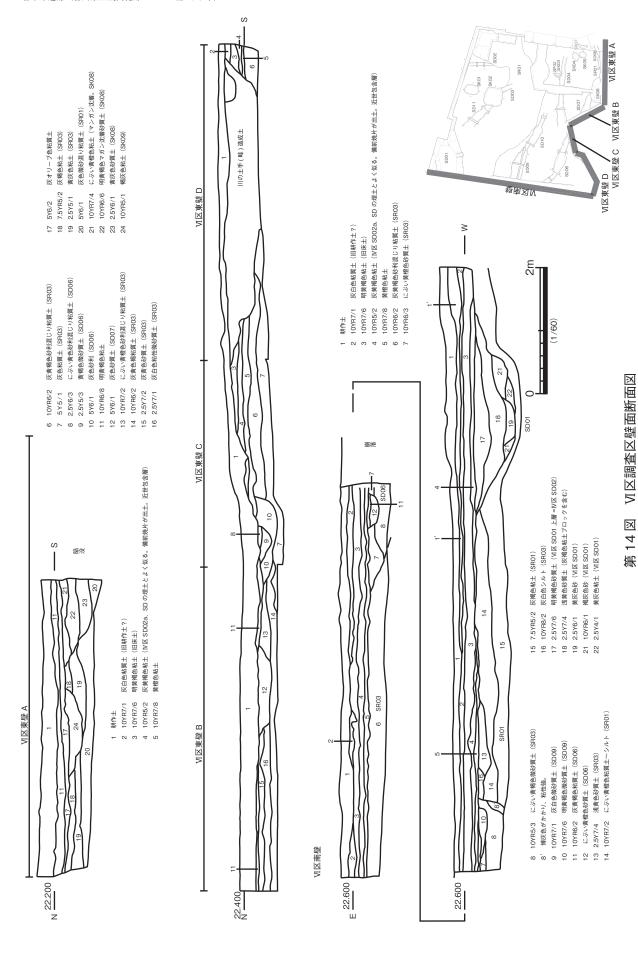
-17 -



-18-



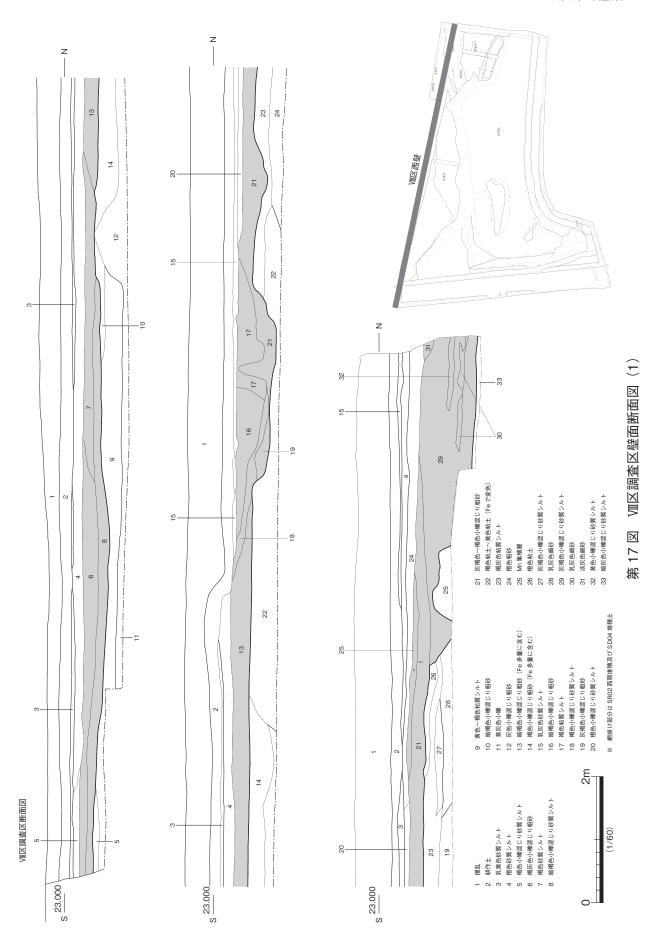
第13 図 V区調査区壁面断面図

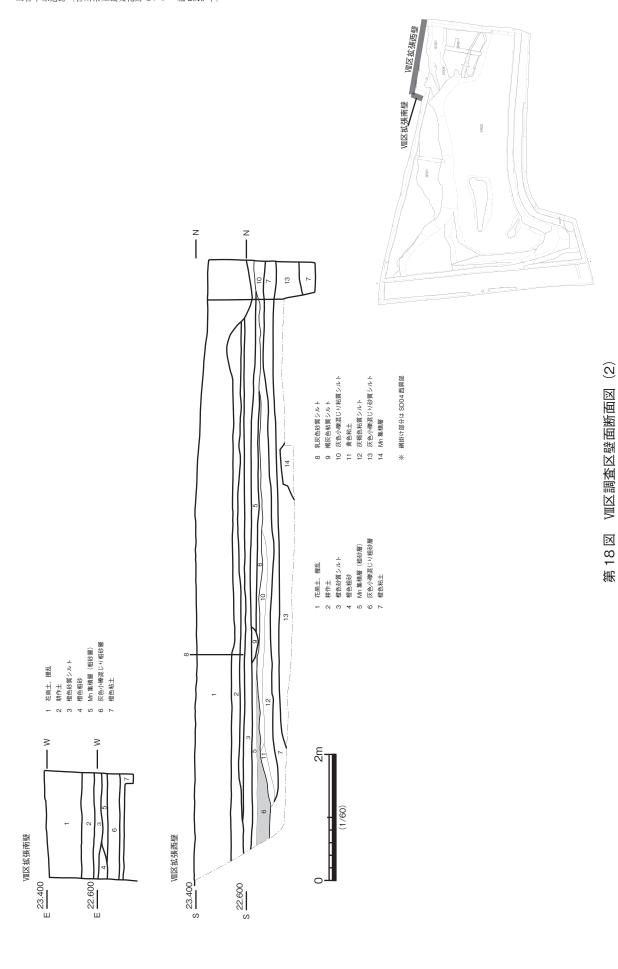


-20 -

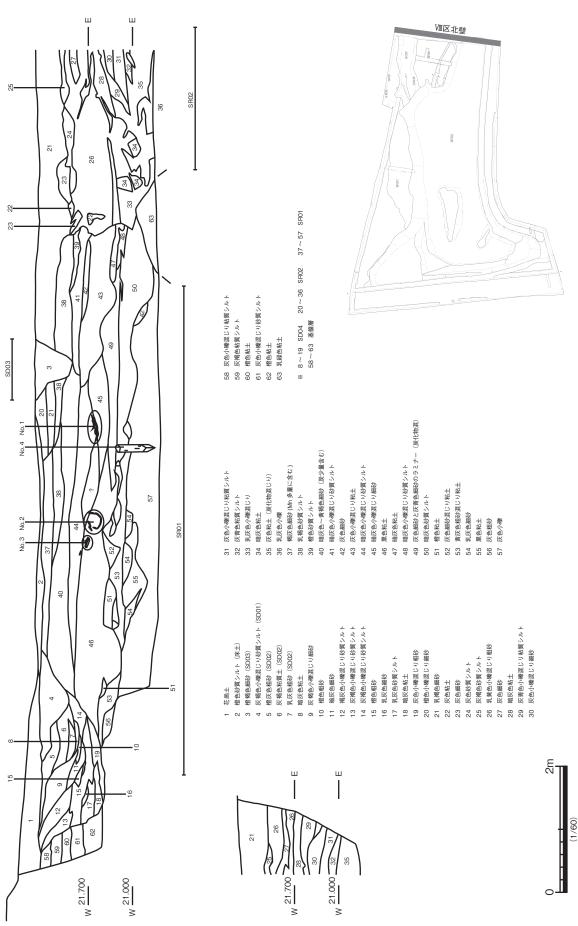
第15図 VII区調査区壁面断面図(1)

第16図 四区調査区壁面断面図(2)

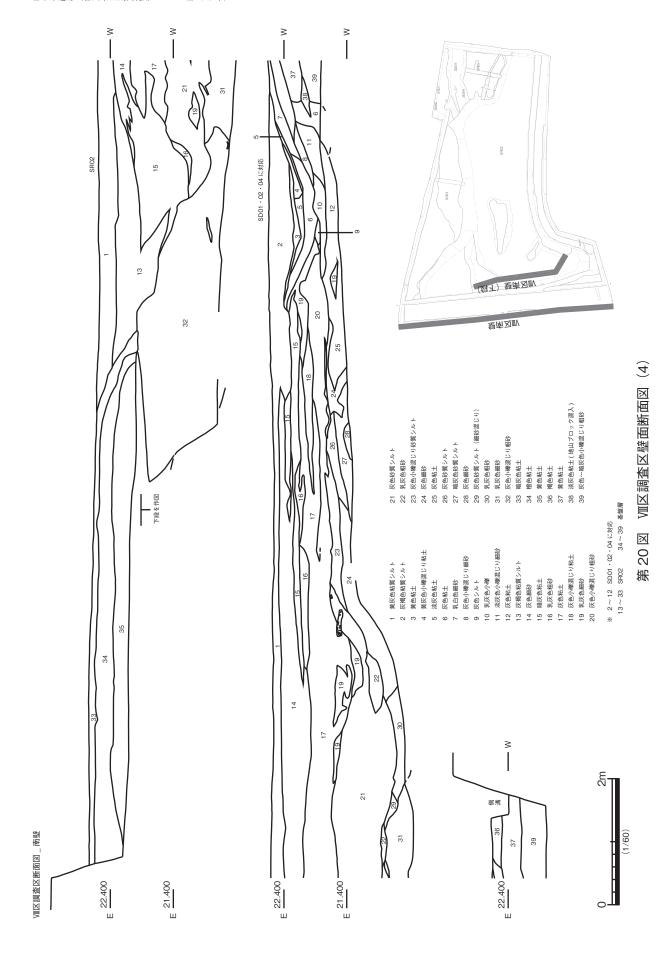




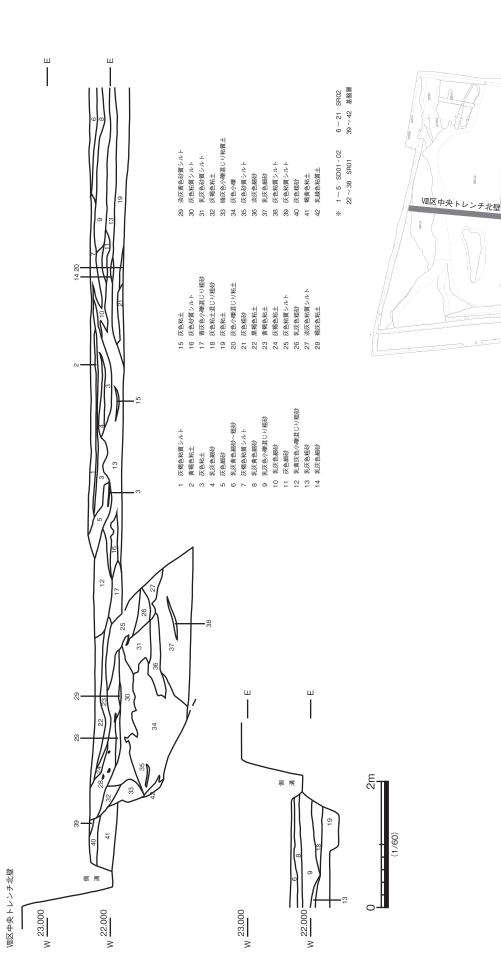
-24-

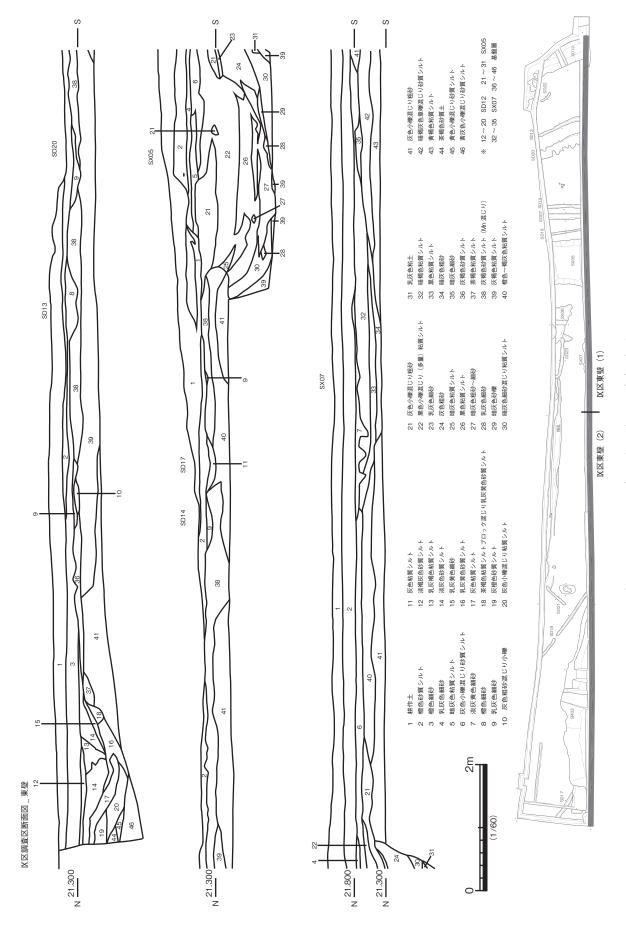


™区北壁



-26 -





第22 図 IX区調査区壁面断面図(1)東壁1



-29-

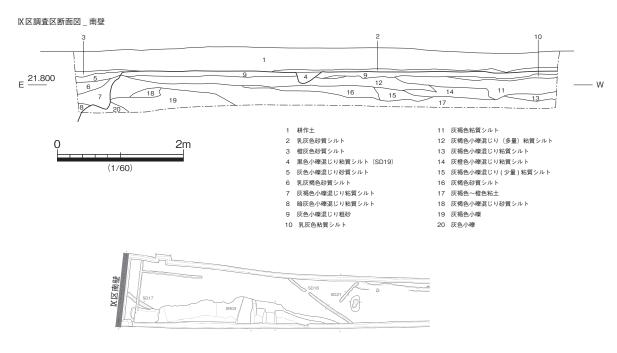
X区調査区断面図 _ 西壁

21 灰色粘質シルト 22 灰褐色粘質シルト 23 灰褐色小線湖じり砂質シルト 24 灰褐色一個石粘土 25 暗褐色小線湖じり超砂 26 臨灰褐色小線湖にり地砂 27 臨灰褐色小線湖にり地砂 27 臨灰褐色小線湖にり地間シルト 27 臨灰褐色小線湖にり地質シルト 28 米褐色粘質シルト 25 11 反着色を置シルト 12 積色を計 13 反着色の響シルト 14 反着色の響ぶリト 15 暗着色を震シルト 16 反流色を震シルト 17 反流色を震シルト 19 仮色を震シルト 19 仮色を震シルト 19 極色を震シルト 19 極色を震シルト 19 極色を震シルト 19 極色を震シルト 56 18 2 単灰色砂質シルト 3 権色砂質シルト 4 灰荷色小 機選じ1砂質シルト (SD18) 5 灰色粘質シルト (SD18) 6 灰色小鏡ジリー (SD18) SX05 乳灰色粘質シルト
 灰橙色砂質シルト
 乳灰黄色組砂
 乳灰黄色砂酸シルト 15 z | X区西壁 33 25 ω (1/60) S 21.900 s 21.900 S 21.900 S 21.900

第24 図 IX区調査区壁面断面図(3) 西壁1



第25 図 IX区調査区壁面断面図(4) 西壁2



第 26 図 区区調査区壁面断面図(5)南壁

第2節 遺構・遺物

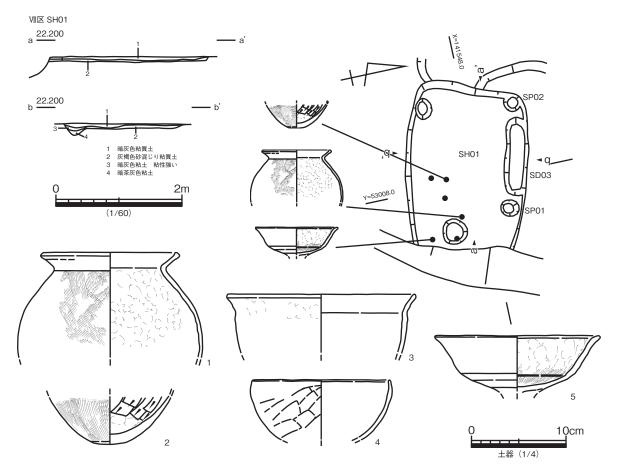
(1) 竪穴建物

VI区 SH01

弥生時代後期から古墳時代に所属すると考えられる自然河川WI区 SR02(IX区 SR03 に接続)の西肩部で検出した浅い方形土坑である。東西に長い長方形を呈し東側は SR02 により切られる。

東西 2.6m、南北 1.9 mで底面は平坦である。底面で柱穴 4 基、北壁沿いで溝 1 条を検出した。検出面から底面までの深さは 0.1m、柱穴の SP01 は底面から深さ 0.14 m、SP02 は深さ 0.1 m、溝 SD03 は深さ 0.08 mといずれも浅い。埋土は暗灰色系粘質土で埋積し、炭化物等が含まれた形跡はない。このように調査記録では竪穴建物としているが、明確な主柱穴がなく、床面には炉跡などの火処遺構がないので、遺構の性格は不明としておく。

1~5は土師器である。1は体部球胴化した下川津B類系の甕である。口縁部が長く間延びし端部の上部への摘み上げも丸味を帯びて鈍い。口縁部直下の体部上半は強い内傾はみられない。体部外面はハケ調整、内面は全面指押さえ痕跡が残る。2は厚底の甕底部、内面へラケズリし体部は薄く仕上げる。3は口縁部が屈曲する鉢である。深みのある体部だが、口縁部の屈曲は緩やかで鈍い。4はボール状鉢で内外面ともナデ仕上げ、5は高杯で外面はナデ調整、内面は杯部見込みに放射状のヘラミガキを施す。杯口縁部境の屈曲は外面ナデ仕上げにより、明確な稜線を形成しない。これらの土器は弥生土器からの系譜をとどめた古墳時代前期前半期でも古相の土器の一群である。1・2・5が床面から出土しており、当遺構の埋没時期を示すものである。



第27図 VII区 SH01 平・断面図、出土遺物実測図

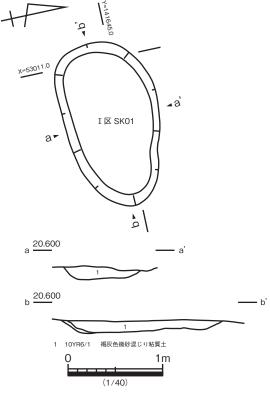
(2) 土坑

I⊠ SK01

I 区南端付近の撹乱除去後に検出した土坑である。平面形が楕円形で主軸は北から 92 度西に振れる。深さは約 0.1 mを測り、断面は底面は平坦で、側面は緩やかなカーブを呈して立ち上がる。埋土は灰褐色系砂質土である。検出面の標高は 20.4 m、底面の標高は 20.3 mである。

当該土坑の主軸は北から東に約10度振れ、条里方向とは約12度の差があり、I・Ⅲ区間の現水路・現里道の方向に一致する。また後述するIX区 SD12も同じ方向で、当該土坑はSD12を西方向に延長した辺りにある。IX区 SD12の西端の底面標高は20.5 mであり当該土坑とは0.2 mの差があるが、SD12底面には若干の凹凸があることから、当該土坑はSD12の部分的な窪みに対応する遺構である可能性がある。

なお、埋土中には出土遺物はなかった。



第28図 I区SK01平·断面図

Ⅲ区 SK01

Ⅲ区中央部で灰褐色系小礫混粘質土を基盤とする不定形 土坑である。断面も不定形なV字形で深さ 0.4 m。明るい色 調の灰色系粘質土で埋積する。埋土中からサヌカイト製石 鏃1点が出土した。形状から風倒木痕の可能性が高い。

6 はサヌカイト製の石鏃である。全形を復元しても長さ 2.5cm を下回る凹基式の小形品である。

Ⅳ区 SK01

IV区北側調査区の南壁に接して検出した円形の土坑である。直径 1.3 ~ 1.6 m で深さ 0.65 m で円筒形である。埋土は下層に褐灰色系粘質土が堆積し、中層に基盤土の黄灰色系土の流入があり、上層は黒褐色粘土で完全に埋められる。層位関係から条里方向の溝IV区 SD01 に後出する。

出土遺物はなく、所属時期は不明だが、遺構形状と埋土 の状況から近世以後の田地耕作に伴う水溜の可能性が高い。

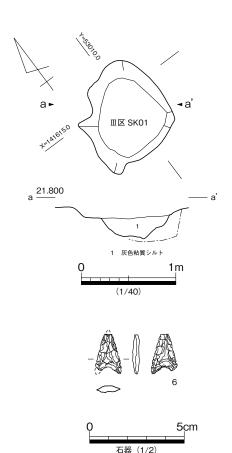
V⊠ SK01 ~ 04

V区 SK01 はVc区北端で検出した方形の土坑である。 隅部が調査区内にあり、調査区北壁断面にみる最大深さは 0.2m、底面は平坦な部分もあるが、北壁断面では凹凸が顕 著である。黒褐色粘土を基盤とし、埋土は灰黄色砂混粘質 土で埋積する。

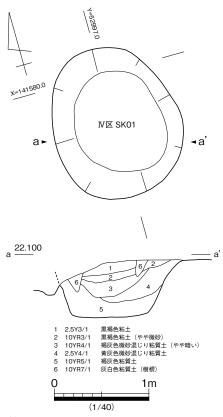
出土遺物はなく、所属時期は不明だが、遺構形状と埋土 の状況から近世以後の田地耕作に伴う水溜の可能性が高い。

V区SK02はVc区東壁沿いで検出した円形の土坑である。 直径約1.2mで深さは0.2m。断面は緩やかなU字形である。 南に隣接して同じ埋土のSK03が所在する。いずれの土坑も 埋土が黄橙色粘質土で埋め戻されている。出土遺物はなく、 所属時期は不明だが、遺構形状と埋土の状況から近世以後 の田地耕作に伴う水溜の可能性が高い。

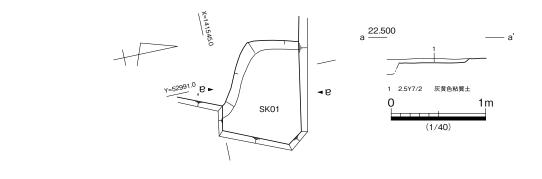
V区 SK04 はVb区西壁沿いで検出した円形土坑である。 直径約 1.6m の円筒形土坑の周囲に深さ 0.2m のステップが 付く。基盤土は褐灰色粘土で埋土は黄色系砂質土である。 出土遺物はなく、所属時期は不明だが、遺構形状と埋土の 状況から近世以後の田地耕作に伴う水溜の可能性が高い。

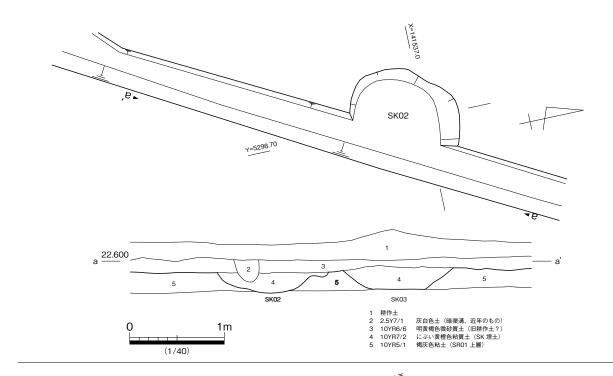


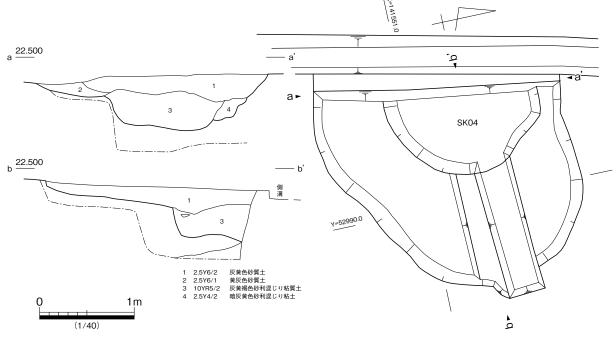
第 29 図 Ⅲ区 SK01 平・断面図、出土 遺物実測図



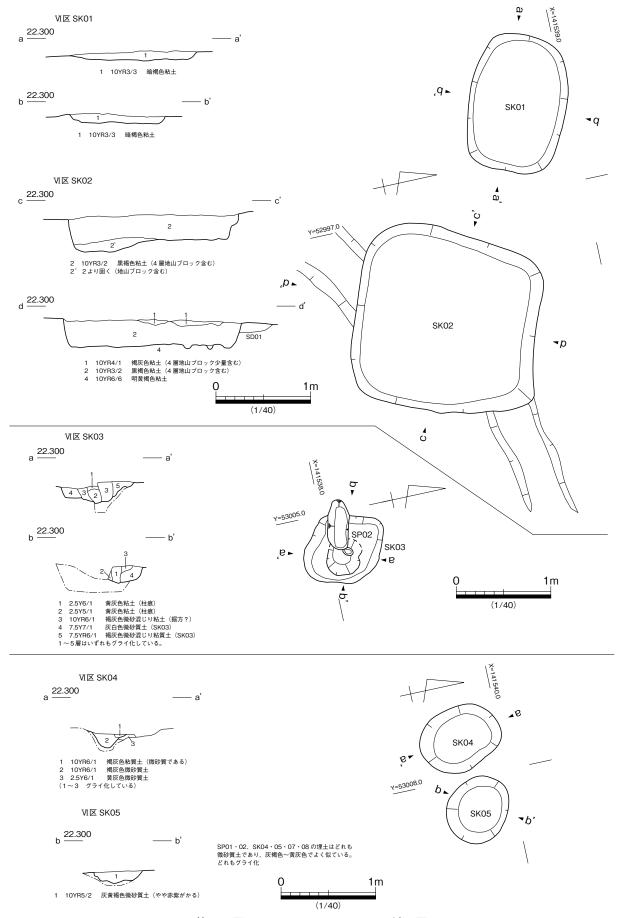
第30図 IV区 SK01 平・断面図







第31 図 V区 SK01 ~ 04 平・断面図



第32図 VI区 SK01 ~ 05 平・断面図

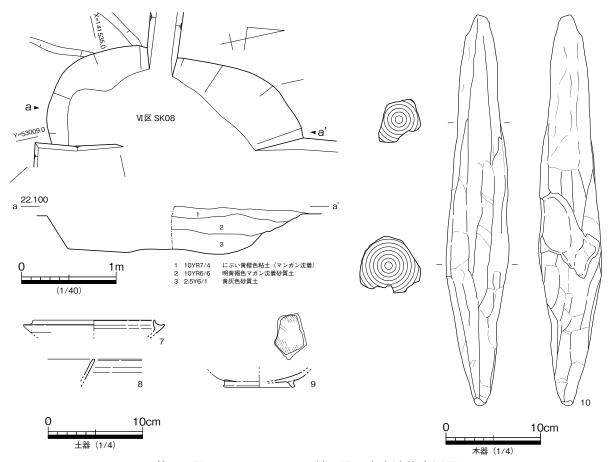
VI区 SK01 ~ 05

W区は調査区ほぼ全域が自然河川域であり、河川以外の遺構はすべて河川埋没層を基盤として掘開されたものである。基盤土は場所によって微妙に異なるがほぼ灰褐色系粘質土にまとめられる。土坑は方形基調の $SK01 \sim 03$ と円形の $SK04 \cdot 05$ がある。 $SK01 \cdot 02$ は暗褐色系粘土に基盤層ブロックが混じる土で埋められており、SK03 は黄灰色系砂質土で埋没する。このうち SK03 は柱痕を伴う柱穴状の断面が記録されており、耕作にあたっての杭等を設置していた可能性がある。 $SK04 \cdot 05$ は断面 U 字形で浅く、黄褐色・灰褐色系砂質土で埋積する。調査記録ではこれらの土坑の埋土は「グライ化が進む」とあるので、検出時は還元状態で青灰色を呈していたのかもしれない。基盤層の強い粘性が影響したものと考えられる。

出土遺物は混在の弥生土器・土師器等片少量のみで、所属時期は不明だが、遺構形状と埋土の状況から近世以後の田地耕作に伴う水溜の可能性が高い。

VI区 SK08

上記の土坑と同様の埋土でやや規模の大きな土坑である。直径 2.6m の円形で側縁は緩やかに立ち上がる形状を呈す。埋土は黄灰色砂質土が堆積し、最上部は黄橙色粘土で埋没する。この粘土層は近世以後の耕土整地に伴う置き土(第 14 図上段の 11・17・21 層)にあたる。したがって当該土坑も近世以後の年代が考えられる。底面から杭片が貼り付いて出土している。これは下層の自然河川に伴う可能性もあるが、主にWI区で出土した木製品が河川の最下層で出土していることからみると、この杭は土坑埋没



第33図 VI区 SK08 平・断面図、出土遺物実測図

時期の近世以後に所属する可能性が高い。

7は受部径13cmの杯身である。受部が短小で7世紀中葉の所産。8は口縁部が斜め上方に直線的に立ち上がる9世紀の須恵器杯である。以上の2点は遺構の底に貼り付いて出土したものである。9は高台裾径が7.7cmの黒色土器B類の椀である。器壁が薄く底部内面に分割へラミガキを施し、高台は矩形で裾がやや外に踏ん張る形態。高台径と形態から10世紀末から11世紀初頭の東かがわ市西村遺跡2期(同遺跡SB104出土品)に例がある両黒の黒色土器B類出現時期にあたる。10は芯去削出のクリ材の下端を加工して尖らせた木杭である。残存長41.5cm、最大径6.7cmで下端の加工範囲は長さ15cmである。上端は腐食し滅失する。遺構の底面に貼り付いて出土した。

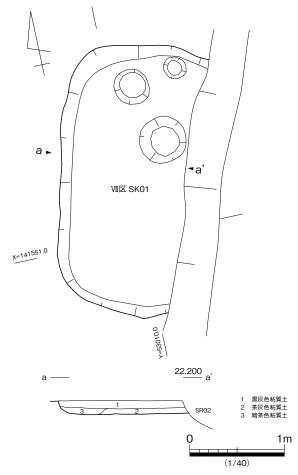
VII区 SK01

SH01 と同様に自然河川 SR02 の西肩で検出した 方形土坑である。隅丸方形で東半分を SR02 に侵食 される。底面は平坦で、3基の柱穴の深さは底面 から $0.1 \sim 0.15$ mと浅い。SH01 と同時期の可能性 が高いが、出土遺物は小片のみで実測できる個体 はなかった。

VII区 SK02

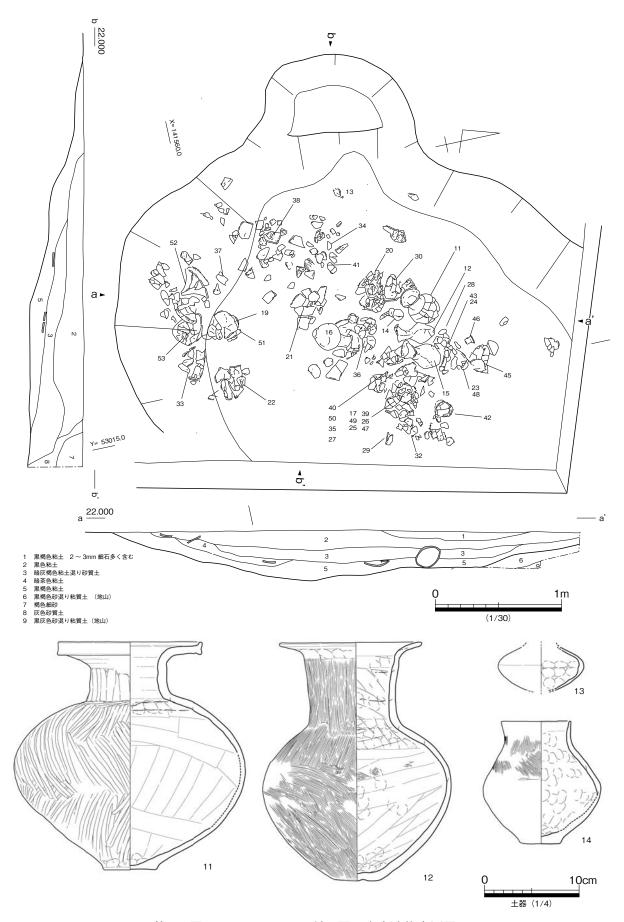
SH01 と同様に自然河川 SR02 の西肩で検出した 土坑だが平面形が不定形で、深さが 0.4m とやや 深く、断面形は皿状である。埋土は黒褐色系粘土 層を基調として砂質土 (3 層) が間層に入る。砂 質土より下位において図示した土器群が出土した。 完形かそれに近い状態まで復元できる個体が多く、 一括投棄の土器資料として注目できる。断面から SR02 の最終埋没層には切られるが、SR02 存続期 のどこかで共存し SR02 から西側に派生する窪みで あった可能性がある。

44点の弥生土器が出土した。壺 9点、甕 26点、 鉢 6点、高杯 2点、甑 1点である。

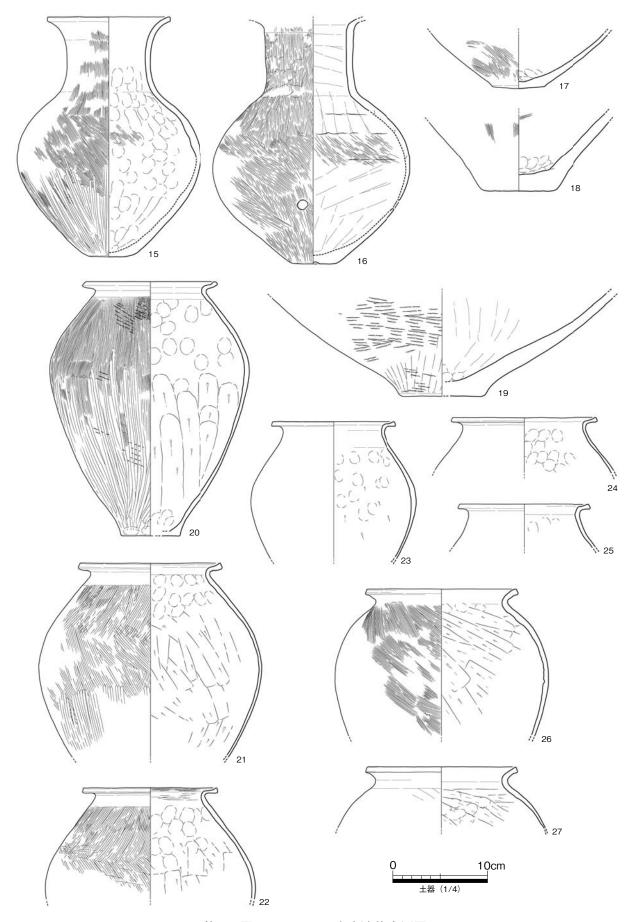


第34図 VII区 SK01 平·断面図

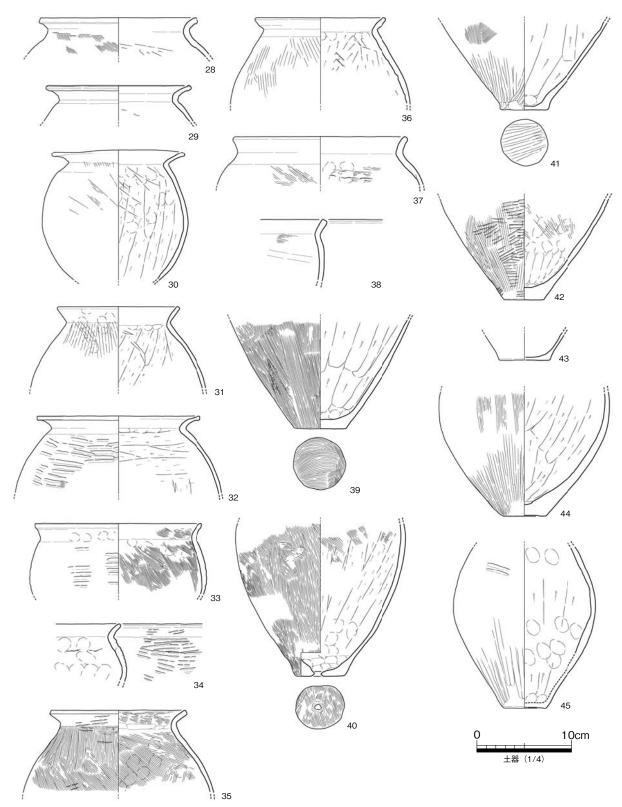
11~19 は壺である。11 は器高 24cm の中形の広口壺で玉ねぎ状にやや扁平な体部に直立する頸部、水平に開く口縁部が付属する。口縁端部は上下に拡張し幅 1.3cm の面をもつ。体部外面は粗い単位のヘラミガキで仕上げ、頸部は縦位ナデ、口縁部は内外面ヨコナデを施す。体部内面上半に粘土紐接合痕及びその指押さえを残し下半は幅広く柔らかい板状工具によるナデ仕上げ。底部はやや上げ底気味の平底である。12・15・16 は器高 25~ 26cm の長頸壺である。いずれも体部中位に最大径をもつ球形の体部に 12 はやや外傾、15 は緩やかな C 字カーブ、16 は直立の頸部が接続する。口縁部は 12・16 が緩やかに屈曲して水平に短く開く形態で端部は丸く収め、15 は屈曲なく C 字カーブのままスムーズに口縁端部に至る形態で端部を面取りする。底部はいずれも平底だが、底縁稜線はいずれも鈍く丸味を帯びる。



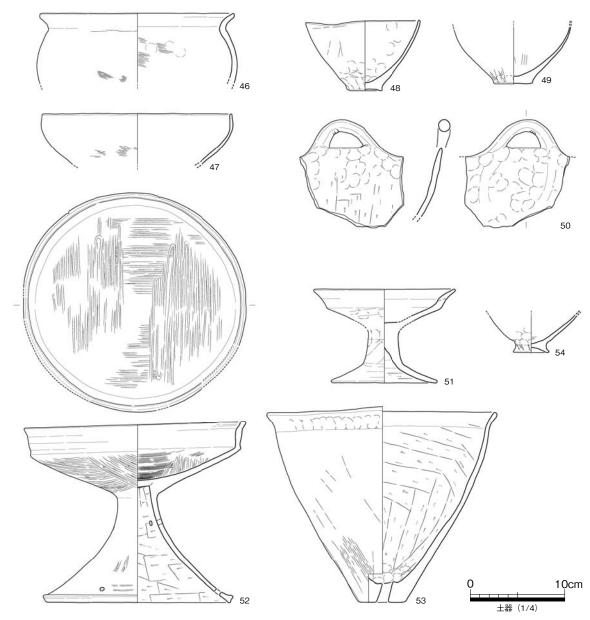
第35図 VII区 SK02 平・断面図、出土遺物実測図1



第36図 VII区 SK02 出土遺物実測図2



第37図 VII区 SK02 出土遺物実測図3



第38図 VII区 SK02 出土遺物実測図 4

器面調整はいずれもハケ目主体で 15 のみ体部下半に縦位のヘラミガキを施す。16 は体部下半に焼成後 に直径約 1cm の敲打穿孔を施す。17 ~ 19 はいずれも体部が大きく開く形態の壺底部片である。17 は 薄手で底面がやや膨らむ形態、 $18\cdot 19$ は厚い平底である。19 は平行叩き成形の痕跡が残る。

20~45 は甕である。20~25 は下川津 B 類系で肩が張る体部に口縁部が短く外反し端部を断面三角形状に摘み上げる形態。底部まで残る 20 は安定した平底である。体部外面はハケ目調整が基調。下地の叩き成形痕がわずかに残る。20 は体部下半に定石とおりの縦位ヘラミガキを丁寧に施す。内面下半はいずれもヘラケズリし上半には指押さえが顕著であることも定石とおりである。体部上半から口縁部にかけての細部形態にばらつきがあり、20~22 は強い内傾がないまま口縁部屈曲に至っているが、23~25 は体部上半で一旦強く内傾した後上への緩やかな外反カーブを経て口縁部屈曲に至る。なお23~25 は器面調整が観察できないほど表面が磨滅する個体である。20~22 のごとく器面調整を含めた残存状態が良い一群とは埋没状態に相違があるとみるべきで、一括投棄した土器(20~22)とそれ以前の

遺構外廃棄土器 (23 ~ 25) が混在したと解釈し、先の細部形態の違いは時間的関係を示す可能性が高い。 26 ~ 28 は肩が張る体部から口縁部が C字カーブで接続し端部を若干拡張する甕である。口縁部から体部上半は厚手で体部中程は内面を強くヘラケズリすることにより薄く仕上げる。外面は左上りのハケ調整である。29 ~ 31 は口縁部がくの字に屈曲する形態の甕で、内面は強いヘラケズリが見える。32 ~ 34 は外面に平行叩き成形痕を残す甕である。内面は横位にヘラケズリするもの(32)とハケ・ナデ調整のもの(33・34)がある。35 ~ 38 は口縁部が短く屈曲して外反する形態の甕である。細部形態は多様で複数系統が含まれる。39 ~ 45 は甕底部である。いずれも安定した平底で下川津 B 類系の 41 は底面にヘラミガキ、その他の39・40 は底面にハケ調整を施す。40 は焼成後に穿孔し甑転用する。

 $46\sim50$ は鉢である。形態は多様である。46 は甕形態で胴部径が大きいもの、47 は薄作りの直口内湾の鉢、48 は逆三角形で安定した平底の完形鉢、54 は底縁裾が斜め下方に突出して台状となる台付鉢、50 は把手付大形鉢である。

51・52 は高杯である。51 は脚柱部が中実の高杯で杯部から口縁部へは器形が強く屈曲して外反する 形態である。屈曲部は外面の屈曲位置と内面の屈曲位置がずれており、内面は段が形成されているよう にみえる。52 は下川津B類系の高杯である。脚部は3個単位の細い透孔が上下2段に巡り裾は大きく 開いて内面は横位のヘラミガキを施す。裾端部は上下に拡張して端面に凹線を1条入れる。杯部は円盤 充填で底を塞ぎ内外面に丁寧な四分割のヘラミガキを施す。口縁部は強く屈曲して直立し内外面に強い ヨコナデにより凹線文風の窪みを外面に2条、内面に1条を施す。口縁端部は面取りする。

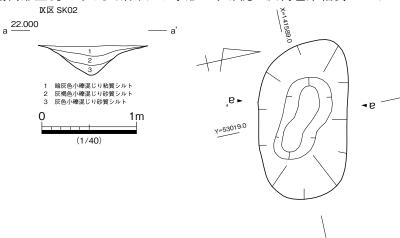
53 は焼成前穿孔をもつ甑である。逆三角形の器形を呈し口縁部は緩やかに屈曲して外上方に開く。内面は2段分割して強いヘラケズリを施す。後期後半古相に特徴的にみられる器種である。

以上の土器は土坑一括廃棄の土器として資料的価値は高く甕や高杯の形状から後期後半古相の良好な 資料であり、当該土坑の埋没時期を示す。

IXIX SK02

区中央やや南よりで検出した長楕円形土坑である。断面が ∇ 字形で小礫混の灰褐色系粘質シルト

で埋積する。出土遺物はなく所属 時期は不明だが、形状が不定形な ことから、風倒木痕の可能性があ る。



第39図 IX区 SK02 平・断面図

(3) 溝

I 区 SD01 ~ 07

I 区西壁沿いに条里方向に北流する溝が SD01・06 である。SD06 は I c 区拡張部西壁及び I b 区南壁断面 (第6図) で SD01 に先行する溝であることが確認でき、I c 区でのみ平面プランが確認できる。 I c 区南では両溝は緩やかに西にカーブし調査区外に外れる。

SD01 は幅 $1.3 \sim 1.7$ m、断面 U 字形で深さ最大 0.36 mの溝である。 I 区北端に近い a ラインで底面の標高が 20.1 m、南端に近い e ラインでは 20.35 mである。つまり南から北に流下したものと考えられる。 SD06 は第 40 図下段の e ラインにおける底面の標高が 20.25 mと SD01 より 0.1m 低いが、これも北方向に流下したとみて矛盾はない。

埋土は SD01 が褐灰色系粘土及び砂質土で埋積する。部分的に e ライン 1 層のように粗砂による流水層を残すが、基本的には滞水状態を反映する堆積層である。SD06 は黄色系砂及び灰白色粘土の互層による流水層で、SD01 とはやや様相が異なる。

SD02 から SD05 は条里方向とは異なる方位をもつ溝である。灰黄色系土で埋積しており、SD02 は SD01 埋没後に掘削された溝である。 I・Ⅲ区間の現水路・里道の方向にほぼ並行しており、 IX区 SD12 とも方向が等しいことから、SD12 が所属する 14 世紀ごろ以降の溝と言える。同様に南端の SD07 も条 里方向とは異なる。先述した SK01 と同様に攪乱土除去後に検出した不定形遺構で、底面は 20.3 mと SK01 と同じである。これも IX区 SD12 と関係のある遺構であろう。

これらの溝のうち、SD01で土器が出土したが、それ以外の溝は実測可能な遺物はなかった。

55・56 は土師器、57~59 は須恵器である。

55 は土師器小皿。口径 8cm 弱、体部中程から強い回転ナデで器形を外反させる。小皿出現段階のもので、11 世紀後半から 12 世紀前半の所産。56 は土師器椀である。径 6.5cm の高台は扁平で体部外面に指押さえが残る。

57 は須恵器皿底部片である。底径約 9cm で体部は斜め上方に直線的に立ち上がる形態で外面に火だすきが残る。9世紀の所産。58 は頸部が上方に向かって開く形態の須恵器壺片である。頸部外径 6.5cm、内径 4.5cm で、頸部内面は直線的に立ち上がる。10 世紀に所属する。59 は須恵器小型杯底部片である。底径が 4cm 弱で底面はヘラ切り後に回転ナデ調整を行う。同様の小型品としては、前田東中村遺跡 E 区 SD19 の 391 黒色土器椀や多肥北原西遺跡 SD0501 の 264 緑釉陶器がある。

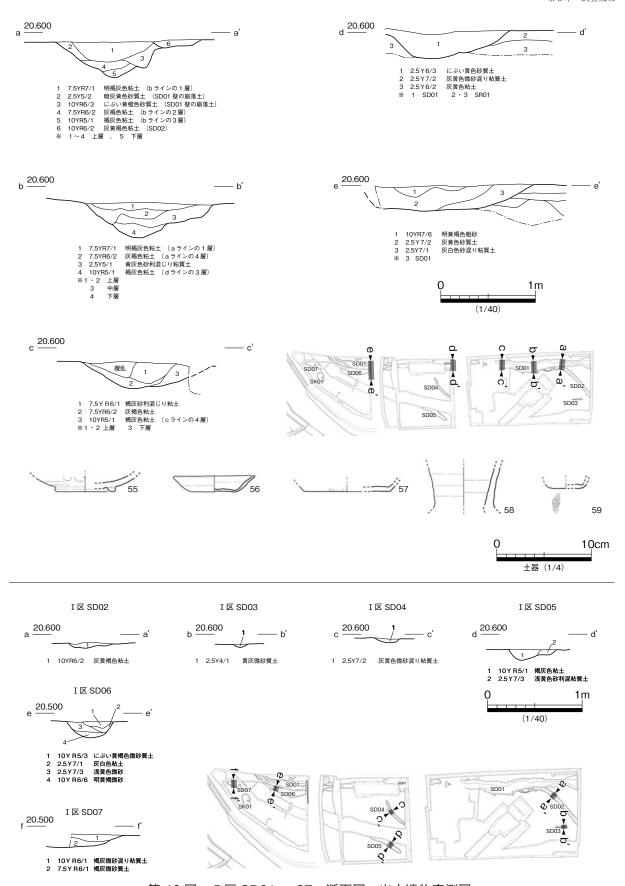
以上の土器により、12世紀前半までに I \boxtimes SD01 は埋没したと考える。それ以外の溝については、それ以後の時期が与えられる。

II 区 SD05 ~ 08

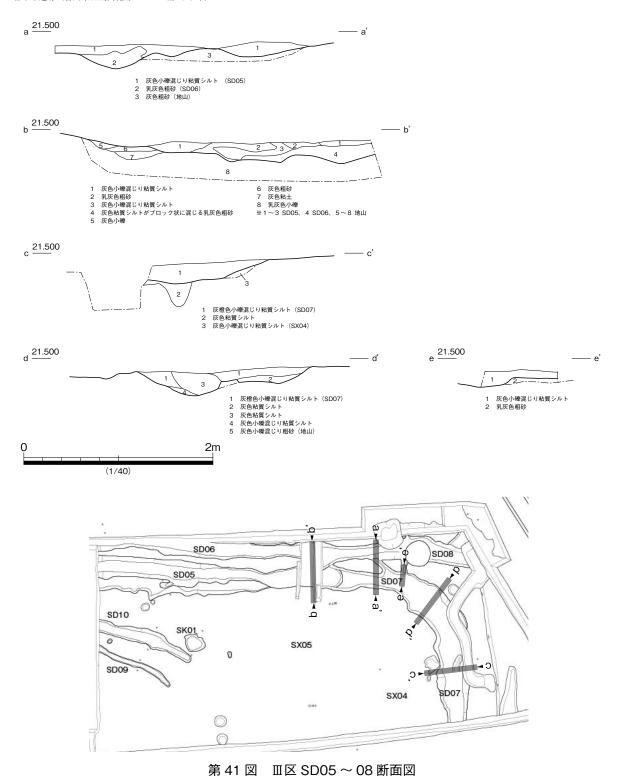
皿区において条里方向に走行する数回にわたって掘り直された溝群である。西壁際を北流する SD05・06 が皿区北側で東に折れ SD07 として東へ流下する。SD08 は a ラインから北で SD05・06 から 分岐し北端で撹乱に削られる。SD05 は SD06 がある程度埋没した後に掘り直しされる。溝幅は場所に よって異なるが、 $1.3 \sim 2.0$ mで深さは $0.2 \sim 0.3$ mと浅い。埋土は SD07 が主に粘質シルトで埋積し、SD05・06 は一部(a ライン 2 層・b ライン 2 層)に粗砂を含みながら粘質シルトで埋積する。

出土遺物はSD08で出土したものはなく、すべてSD05~07で出土したものである。

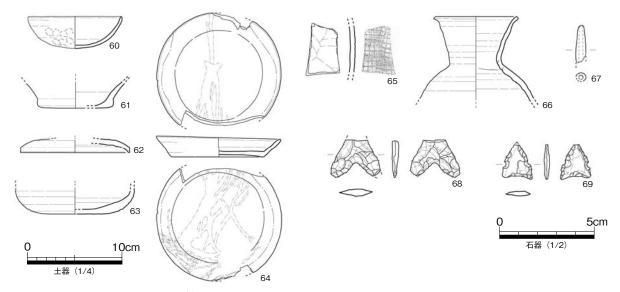
 $60 \cdot 61$ は土師器、 $62 \sim 66$ は須恵器、67 は土錘、 $68 \cdot 69$ は石鏃である。



第40図 I区SD01~07 断面図、出土遺物実測図



 $60\cdot61$ は土師器鉢・杯である。60 はボウル状の鉢で器壁が $3\sim3.5$ mm と薄い。このような極薄の鉢は、必ずしも一般的ではないが、下川津遺跡 SH II 07 (418 図 $29\cdot30$)、同遺跡第一低地帯流路 2(56 図 $3\sim5$)、中間西井坪遺跡 II 谷 7 最上層 $876\cdot877$ などに例があり、口径 12cm 以下の古墳時代タイプの須恵器蓋杯が伴うことから、平城 I (6ABY $\cdot6$ ABX 区溝 SD1900 下層) や県内では打越窯の後半時期とされる8世紀初頭に位置づけられる。61 は土師器杯である。底部が段状高台を呈し体部が直線的に外開きとな



第 42 図 Ⅲ区 SD05 ~ 07 出土遺物実測図

る。10世紀後半から11世紀後半に属す。

62 は8世紀代の杯蓋、63 は8世紀前半の杯身、66 は11世紀後半の壺である。体部上半から頸部にかけての器形反転部の緩さは前田東中村遺跡 E 区 SK05 出土品に類似し、十瓶山西村 2 号窯と 1 号窯の中間的形態にあたる。64 はほぼ完形の皿。直径約 13.3cm、器高 2 ~ 2.3cm で、やや焼け歪む。内外面に焼成時の火だすきが残る。また、口縁部に約 1cm 幅で炭素吸着がある。底部は回転へラきり後に丁寧なナデ調整を行い、やや上げ底気味の断面形を呈す。9世紀初頭から前葉にかけて(平城宮 SD650 期)の資料には口径 15cm 未満の皿はなく、県内では9世紀後半の資料から形式分化し小形の皿が出現する。なお、都城では小形の皿は出現していないので、地方においてのみ分化した器種である。9世紀後半に該当する。65 は格子タタキの甕体部片である。

67 は管状土錘である。68・69 はサヌカイト製石鏃である。68 は先端欠損だが全形を復元すると 3.0cm 以上と考えられる。凹基式である。69 は微細な剥片の周縁のみを加工した平基式石鏃である。長さ 2cm サイズの小形品である。

以上により、 $SD05 \cdot 06$ は 11 世紀後半を下限とする埋没が想定される。ただし、SD06 で出土した 63 の 8 世紀前半の杯身から、SD06 はそれまでには埋没しているとみられる。

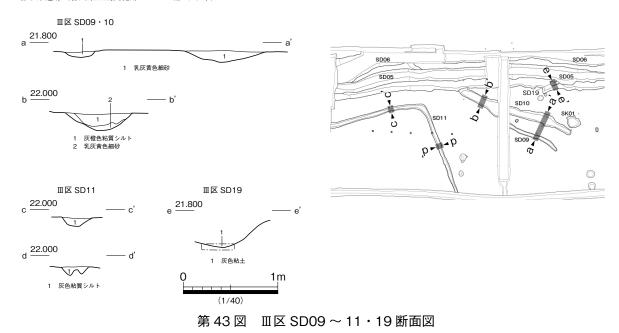
II ⊠ SD09 ~ 11 · 19 · 23

Ⅲ区の溝のうち条里方向に合致しない溝群である。SD09・10 は SD05 に切られ北東方向に流下する 溝で灰橙色~乳灰黄色細砂層で埋積する。古墳時代の溝の可能性がある。

SD11 は灰色粘質シルトが埋積しており、 $\mathbb{N} \boxtimes$ SD07 と同一溝である。 $\mathbb{N} \boxtimes$ 区溝の重複関係から 12 世紀前半と推定される。

いずれも出土遺物はなかった。

Ⅳから V 区にかけて条里方向に走行する溝である。SD01 が下位、その埋没後に SD02 が掘開されて



おり、Va·Vb区では同一溝の上下層関係にある。Ⅲ区 SD05 がⅣ・V区 SD02 に、Ⅲ区 SD06 がⅣ・ V区 SD01 に対応する。

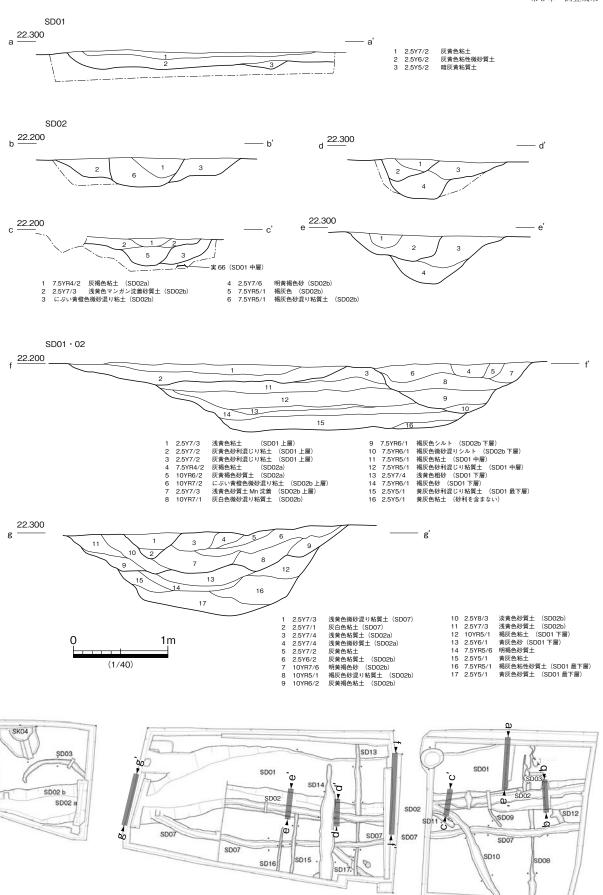
下位の \mathbb{N} ・ \mathbb{N} $\mathbb{$

層位、出土位置別に提示する。

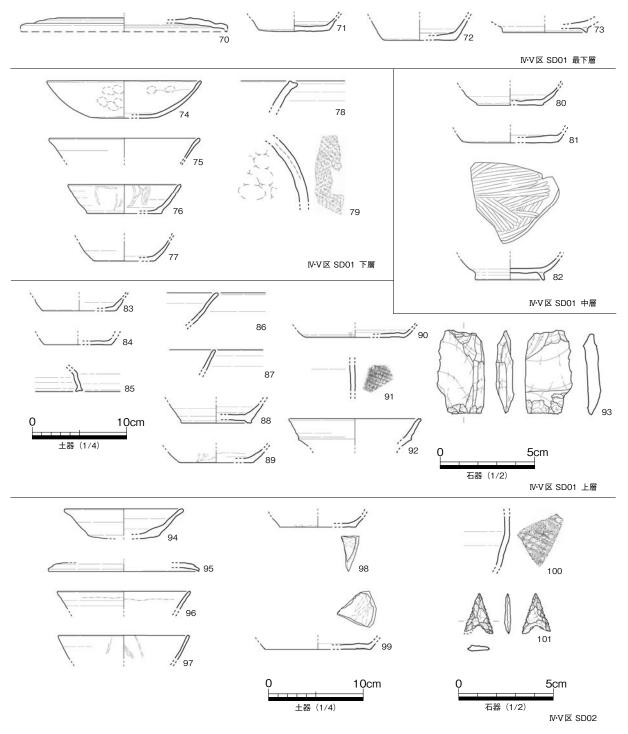
70~73 は最下層出土の土器である。70 は須恵器杯蓋で下端径 22.0cm と大形である。平城宮出土の須恵器は平城 I (TK48型式) から平城 II (MT21型式) にかけて杯の口径が 20cm を越える一群が多出する。当該個体は端部形状が「へ」字状となっており、平城 II 式 (8世紀前半) に所属する。71・72は須恵器杯底部片である。いずれも底部は回転へラ切りしナデ調整を行い平底とし、体部は斜め上方に直線的に開く形態である。71 は灰白色系で微砂粒を含むザラツキのある胎土で内面見込みに黒化した重ね焼き痕が残る。72 は暗灰色系で精良粘土を使い外面に火だすきを残す。9世紀後半~10世紀前半の所産。73 は黒色土器の椀高台部片である。内黒のA類で高台は断面三角形で細く径が 9cm 弱と大形である。畿内Ⅲ類の浅椀型(森 1995)で 10 世紀後半を下限とする。

74~79 は下層出土の土器である。74 は土師器杯で体部が内湾気味に大きく開き浅椀形を呈して底部は稜線不明瞭な底縁を経て平底を呈す。薄作りだが回転台成形の痕跡に乏しく、指押さえ痕が多い。明言できないが10世紀前半に属す可能性が高い。75 は口径が16cm ある土師器杯口縁部片である。極端に薄く器表面に磨滅が及ぶ。76・77 は須恵器杯身である。76 には顕著な火だすきがある。78 は口縁部が拡張する須恵器甕口縁部片である。79 は外面に偽格子叩き成形がある。

80~82 は中層出土の土器、そのうち 82 は出土位置記録がある。80 は土師器杯底部片である。直径 7cm の底面は平坦な回転ヘラ切り面で側縁に円盤高台状の段が形成される。11 世紀後半。81 は須恵器 杯底部。82 は高台径 7.4cm の黒色土器 A 類椀で深椀タイプである。11 世紀代であろう。



第 44 図 IV・V区 SD01・02 断面図



第 45 図 Ⅳ・V区 SD01・02 出土遺物実測図

83~93 は上層出土の土器・石器である。83~88 は須恵器で杯を主体とする。9世紀後半から 10世紀、86 は土師器椀である。11世紀後半以降。93 はサヌカイト製の楔状石核である。上下縁に敲打打撃による剥離面があり、側縁は裁断面が残る。小形石器の石核または素材である。

 $94 \sim 101$ は SD01 埋没後に掘削された SD02 出土の土器である。94 は土師器杯で底部が膨らむ形態で 11 世紀前半。 $95 \sim 98$ は須恵器杯、重ね焼き痕や火だすきが残る。99 は須恵器皿である。100 は格子叩きを施す須恵器壺体部片。101 はサヌカイト製の凹基式石鏃である。縁辺に微細加工を施す。

以上の出土遺物のうち当該溝の埋没年代を示すのはいずれも 11 世紀代に所属する中層出土の 80 の土師器杯及び 82 の黒色土器で埋没開始の上限を示す。最下層・下層には 10 世紀後半を下限とする遺物が含まれていることから、10 世紀後半から 11 世紀までの間に堆積が進行し、11 世紀後半までに埋没が完了したことがわかる。掘削時期は分からないが 70 は 8 世紀代に遡る資料でありそれ以前から掘開状態にあったとみておきたい。上位の SD02 の埋没時期を示す遺物はないが、Ⅲ区例を参考にすると 11 世紀後半以後で 12 世紀前半までに埋没したものと考えられる。

$\mathbb{N} \cdot \mathbb{V} \boxtimes SD03 \cdot 07 \sim 11 \cdot 13 \sim 15 \cdot 17$

条里方向の基幹的な溝である SD01・02 以外の溝である。IV区 SD03 は条里の東西方向に走行する溝でIV区 SD08 と同一溝である。SD01 埋没後に掘削され、SD02 開削前には埋没する。

10世紀後半の須恵器が出土するが SD01 の混在品であろう。同一時期で SD13 も該当する。

102 は須恵器杯である。体部下端が下方に屈曲して平底底部に続く。103 は須恵器壺で口縁部形態が66 に共通し11 世紀後半に所属するものとみる。102 は SD01 からの混在である。103 は SD13 の時期を示す。SD17 は他と異なり黒褐色粘土で埋積する。VI区の条里方向と異なる溝群の一部によく似ており、古墳時代後期の可能性がある。

VI⊠ SD02 · 04 · 06 · 09 · 10 · 11

Ⅵ区 SD02・03・11 は古墳時代前期以前の自然河川 SR01 埋没後に掘開され、古代の自然河川 Ⅵ区 SR03 の西肩に所在する条里方向と異なる溝である。埋土は暗褐色・黒褐色の粘質土を埋土とする。 SD11 から古墳時代後期の須恵器が出土し所属時期を示す。

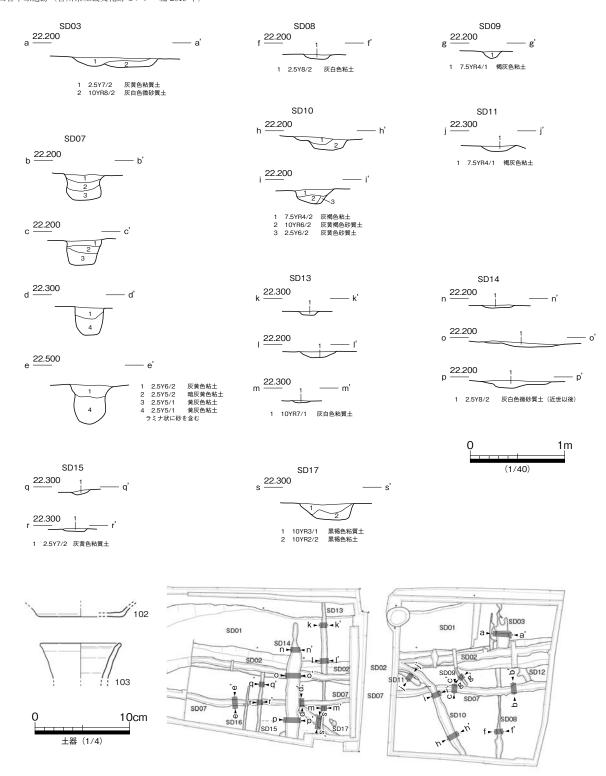
VI区 SD04・06・07・09・10 は古代の自然河川 VI区 SR03 埋没後に掘開された条里方向と異なる方向の溝である。12 世紀前半を上限とする。

104 は VI 区 SD11 出土の須恵器高杯である。7 世紀前半の所産。

WI⊠ SD01 · 02

Ⅲ区 SD01 は調査区北側で北西方向に直線的に流下する溝で、IX区 SD17 に接続する。延長 15 mを確認した。IX区 SD18 からIV区 SD17 につながる溝ラインに並行する。SD02 は古墳時代初頭の竪穴建物とした Ⅲ区 SH01 に接して掘開された L 字に屈曲する溝である。暗灰色粘質土で埋積する。SH01 に関係する遺構と考えられる。

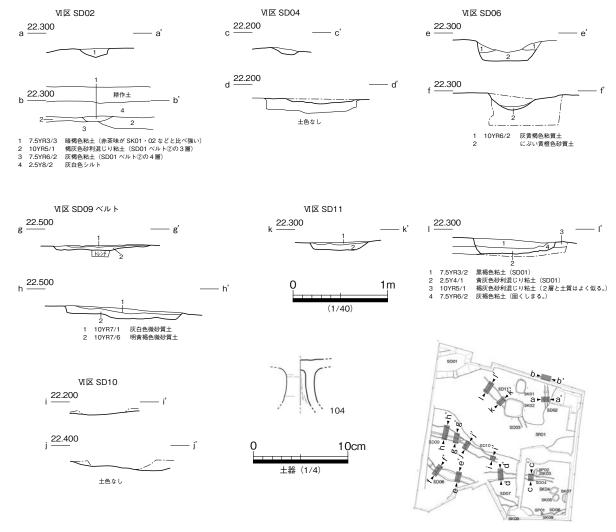
SD01 から弥生土器・土師器が出土した。105 は弥生土器甕である。底部は平底で外面は叩き成形痕をハケ目調整で消す。内面は横位ヘラケズリである。106 は弥生土器高杯脚部。下川津B類系で裾を肥厚させ端部を面取りする。下端から 2cm 上の位置に小穴 2 個を単位とする透孔を配する。107 は土師器広口壺口縁部である。一部内湾気味に大きく開き、端部を上下に大きく拡張する。胎土は茶褐色系で角閃石を含む。



第 46 図 IV区 SD03_17 断面図、出土遺物実測図

VII区 SD01 · 02 · 03 · 04 · SX02 · VI区 SD01

Ⅲ区は大部分が自然河川域だが、北西側の一部でⅥ区南西端やⅣ・V区から続く条里方向の溝群が確認できる。Ⅲ区では条里方向の溝を3本に区分し、上位からSD01・SD02・SD04として調査した。最上位のSD01は主に砂質土で埋積し、SD02は埋土下半で粘質土が堆積、最も下位のSD04は主に砂質

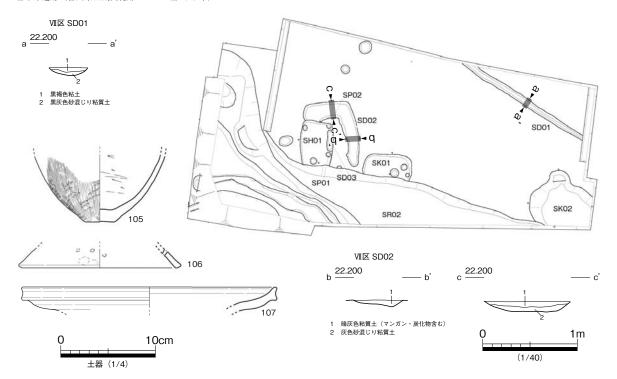


第 47 図 VI区 SD02 · 04 · 06 · 09 · 10 · 11 断面図、出土遺物実測図

土で埋積する。第 49 図で示したように、調査区北壁断面では SD01 の底面標高は 22.008 m、SD02 は 21.9 m、SD04 は 21.445 mである。これは先述した $\mathbb{N}\cdot\mathbb{V}$ 区の f·g ラインにおける SD01 上層底面標高、SD02 底面標高、SD01 下層底面標高にほぼ対応し、2 回の掘り直しが当該調査区でも確認できる。

図面ではこれらの溝群は古代に埋没した SR02 に切られるように示されているが、実際には SR02 は上面の十分な精査を行わず重機で掘り下げたために、溝群と河川堆積層との関係が不明となったもので、明確に SR02 がこれらの溝群に後出する訳ではない。 VI区の SD09・10 は当該 WI区 SD03 に接続するが、 VI区では SR03 埋土を確実に切っているにもかかわらず、当該 WI区では同じ河川である SR02 に切られたように表現されており切り合いに矛盾がある。十分に精査が行われなかったことがここにも示されている。

とはいえ、哑区の中央部の東西トレンチや調査区南壁断面において溝との関係性を点検した結果、南壁断面(第20図)では図の西端付近、中央トレンチ断面では断面中央やや西寄りで溝状の窪みがみられることが分かった。第49図では南壁断面の該当箇所を抽出して再掲している。この1層がSD01、2~6層までが高さから見てSD02に対応するものと考えられ、その下位は河川が埋没する過程で次第に溝状の窪みが形成された形跡を読み取ることができる。SD04堆積過程においてはSR02とSD04が同



第 48 図 Ⅵ区 SD01・02 断面図、出土遺物実測図

時に埋没する局面があったと考えられる。その埋没途上か一旦埋没した段階で、SD02 が掘削されその段階では SR02 は大部分が埋まり、西肩に沿って溝状の流路が継続していた。垭区南壁では溝に継続する窪みの位置はすでに条里方向から東に逸脱しており、自然河川の流筋に影響された状況である。このことから、SD04 の段階では垭区の SR02 河川域、または北側の VI 区 SR03 河川域において水位を調整するための井堰等の施設が存在し、調査区付近の河川が埋没した後には取水口が南に移動し、河川西肩沿いの溝から SD02 に給水されたとみられる。

この想定が正しければ、Ⅷ区 SR01 の底面標高は 20.0 mよりやや低いので、最大高さ 1.5 mほどを井堰によりダムアップして SD04 へ給水し、溝はⅢ区 SD07 の屈曲部に至るまで約 100 mを条里方向に直線で北流していたことになる。

なお、SX02とした部分はaライン断面の側溝付近の堆積層を示しており、SD02に相当する。

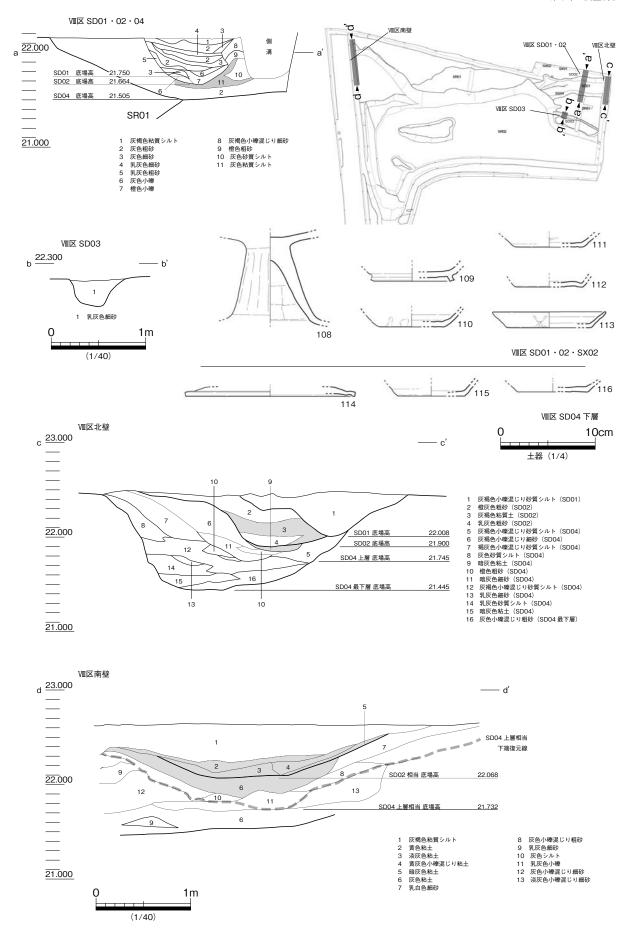
 $108\sim113$ は \overline{w} 区 SD01·02·SX02 で出土した土器である。108 は弥生土器高杯で大形の脚柱部である。 $109\sim113$ は須恵器で 8 世紀から 9 世紀後半までの時期幅がある。 $114\sim116$ は SD04 下層の土器である。8 世紀前半から 9 世紀後半までの時期幅がある。

IX区 SD12・拡張

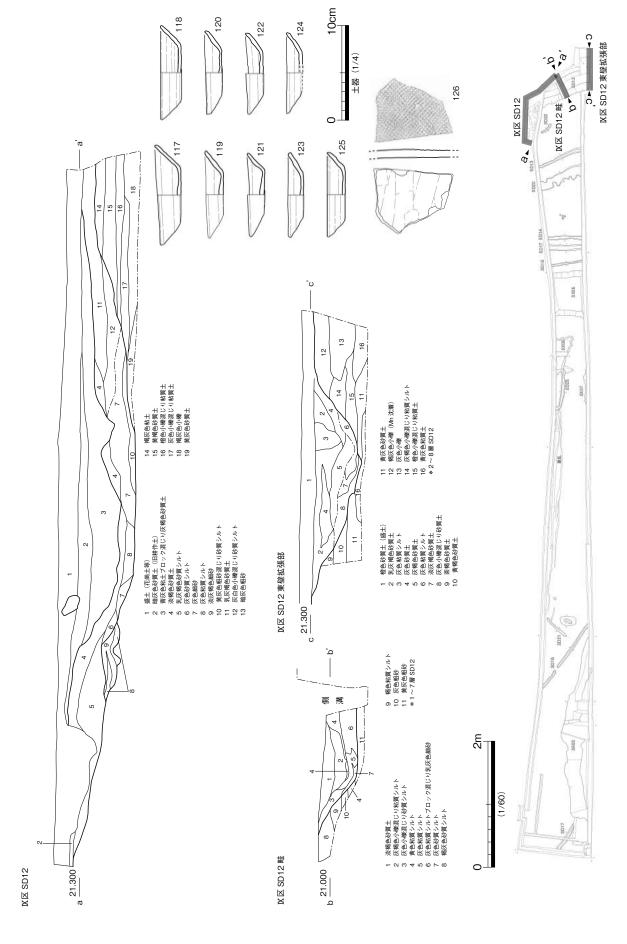
IX区北端で検出した非条里方向の溝である。幅 3.5 m、深さ 0.8m で断面形は緩やかな V 字形を呈す。 粘砂互層で堆積する。最下層付近で土師器小皿がまとまって出土した。祭祀的な意図が窺える。

 $117 \cdot 118$ は土師器杯である。117 は口径が $10 \sim 10.5$ cm で器高は $2 \sim 2.3$ cm で底部は回転ヘラ切りによる。 $119 \sim 125$ は口径 10cm 以下の小皿である。口縁が大きく外傾して開く。端部をやや上方に摘み上げ、内外面を回転ナデ。14 世紀前半の土師質土器皿である。126 は格子目叩きを施す亀山系陶器甕である。

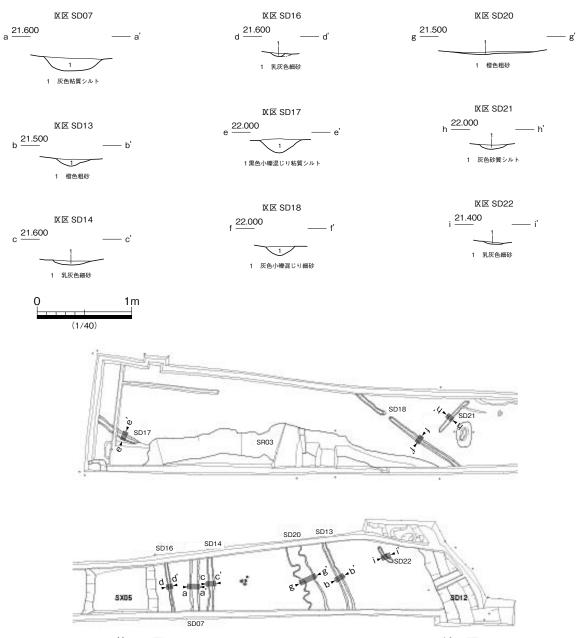
条里関連溝は11世紀後半を最後に埋没し、現況の乱れた地割りに沿ったSD12が東から西に向けて流



第 49 図 VII区 SD01・02・03・04・VI区 SD01 断面図、出土遺物実測図



第50 図 IX区 SD12 断面図、出土遺物実測図



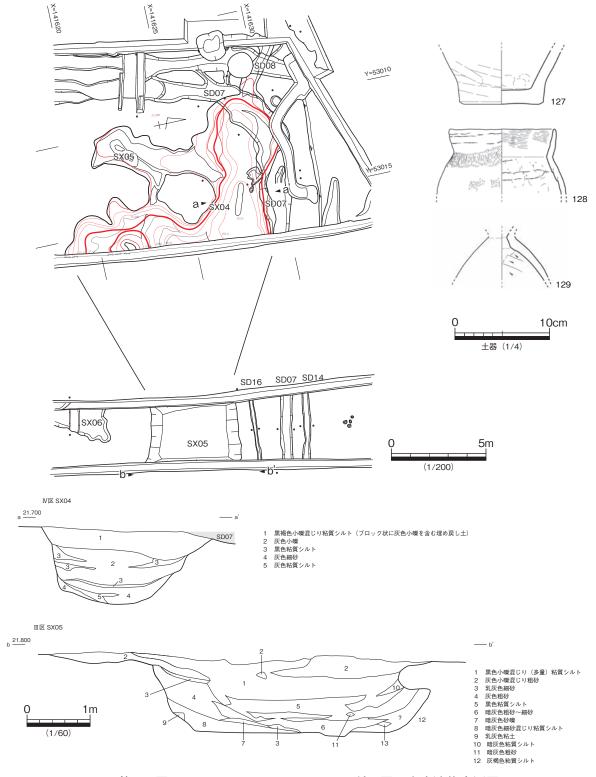
第51 図 X区 SD07・13・14・16~18・20~22 断面図

下する形で機能を継承し、14世紀前半を最後にSD12も埋没した。

X \(\sum \) SD07 · 13 · 14 · 16 ~ 18 · 20 ~ 22

 \mathbb{N} 区の SD12 以外の溝を一括して掲載した。既述のように SD17・SD18 は平行する 2条の溝で SD17 は古墳時代前期初頭を下限とする溝である。SD18 は \mathbb{N} 区の SD17 から接続する溝で \mathbb{N} 区ではすべての溝に切られており、古い時期に所属するとみて矛盾はない。

いずれも実測可能な出土遺物はなかった。



第52図 Ⅲ区 SX04・IX区 SX05 平・断面図、出土遺物実測図

(4) 不明遺構

Ⅲ区 SX04・05 及び区区 SX05

Ⅲ区からIX区にかけて、条里方向の溝に切られて黒褐色粘質シルトを埋土とする低地域 SX04・05 が 広がる。まったくの不定形で自然後背地の窪みに見えるが、東側ほど側縁が急な立ち上がりを示してい ることから、自然の窪みに手を加えたものと考えられる。手を入れた目的はIX区 SX05 が溝状を呈し、底面標高が 20.35 mとⅢ区 SX04 と比べ 5cm ほど低くなっており、また埋土がIX区 SR03 に共通することから、調査区の東隣接地に想定される SR03 に向かって流下する出水(自然湧水)状の水源遺構と推定する。

127 は弥生土器壺底部である。厚い底部と底縁部の横方向の調整痕跡から弥生前期末ごろの壺とみる。128 は古墳時代の土師器甕、129 は古墳時代初期の土師器器台の脚台部である。

以上により SX04・SX05 は SR03 と同様に、古墳時代後期ごろに埋没した遺構であり、出土遺物は条里関連遺構の開削時期の上限を画するが、現時点では出土遺物が少なく明確ではない。

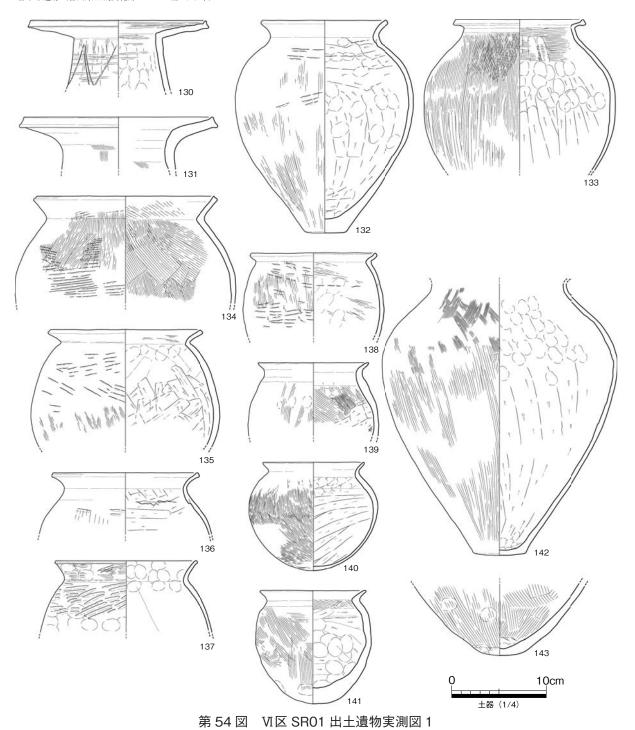
(5) 河川跡

調査範囲の南半部において南から北東方向に流下する自然河川を複数の調査区で検出した。発掘調査時には調査区毎に個別に遺構番号 (SR) を付与していたが、整理段階で最終的に判断した河川の流れは次のとおりである。

第1節で説明したように南から北東への河川筋は 大きくわけて流路A・Bの2条がある。流路Aは畑区 SR01→Ⅵ区 SR01→Ⅶ区 SR02→Ⅸ区 SR03 とつながる流路筋で、南から流入し北東側の調査区外へと流下する。前項で説明したⅢ区 SX04・SX05 は埋土と出土遺物からみて東側の調査区外でこの流路Aに合流することが推定できる。第53 図では流路筋を青色で表示した。流路Aの埋土は主に黒色系の粘砂互層で、弥生時代後期から古墳時代後期までの遺物が出土する。

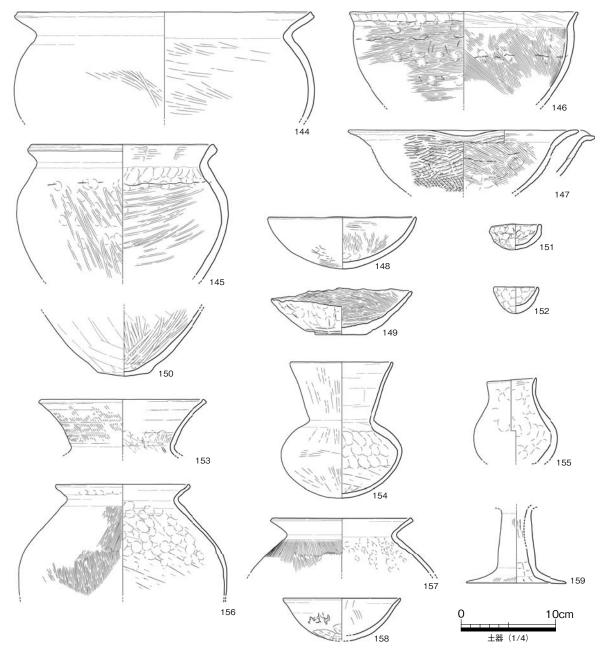
流路 B は W 区 SR02 → VI 区 SR03 → W 区 SR01 と 続く流路筋で、南から流入し北東側の調査区外へ と流下する。第53 図では流路筋を緑色で表示した。 暗灰色系の粘砂互層で埋積する。河川底から8世紀 代、埋土上部から11世紀代の遺物が出土している。 先述した南北方向の条里溝群と併存する流路筋であ





る。ただし、WI区南壁断面で条里溝に対応する溝状の窪みが流路Bの埋土を一部切るように認められることから、流路の埋没時期は条里溝の埋没より古く、調査区付近では早くに湿地状態となっていたようである。

以上の流路区分を第53図に示した。ただ調査中にこのような流路区分が明確だったわけではなく、 出土遺物の取り上げには少なからず混乱がある。その状況を含めて調査区ごとに説明する。

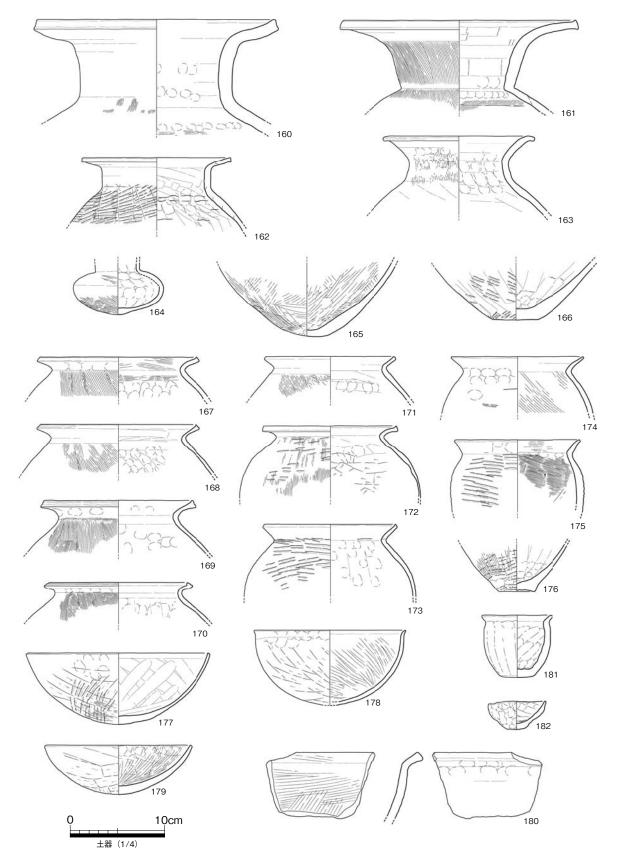


第55図 VI区 SR01 出土遺物実測図 2

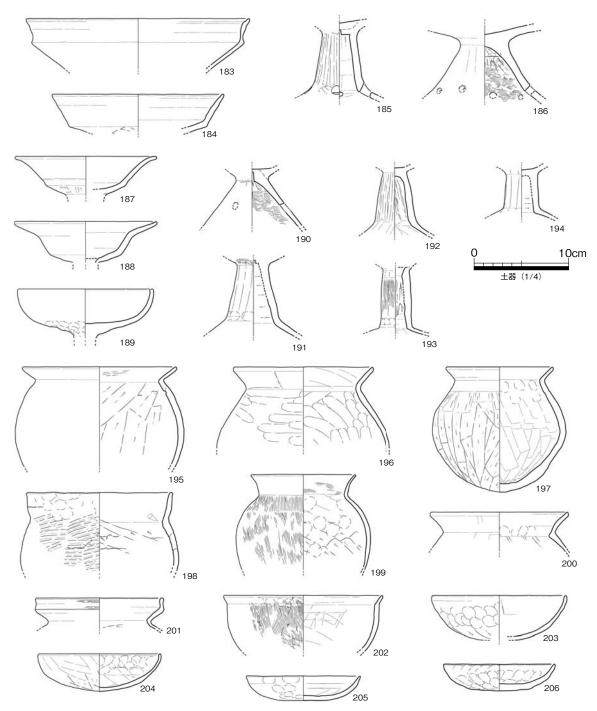
VI⊠ SR01

全体流路Aに所属する。調査区の西側の大半がSR01の埋土で、条里溝SD01に切られる。弥生時代後期後半から古墳時代前期までの遺物が出土した。上下層に区分して取り上げられているが、土器相は時期差を反映していない。

130・131 は弥生土器壺である。直立気味の頸部から口縁部が大きく開く形態で口頸境は130が明確に屈曲し131 は緩やかなカーブを呈す。132~143 は弥生土器甕である。132 は底部が厚めの平底で肩が張る倒卵形の体部から緩やかなカーブを介して口縁部が外反する完形の甕である。内面は全面にヘラケズリを施す。133・142 は肩が張る体部から頸部が内傾し口縁部が短く屈曲して端部を肥厚して上方に摘み上げる形態で、底部は142ではやや膨らむ平底で器壁は全体的に薄い。外面は刷毛目調整後に下半をヘラミガキ調整し、内面は下半をヘラケズリ、上半に顕著な指押さえを行う。茶褐色系胎土の下川



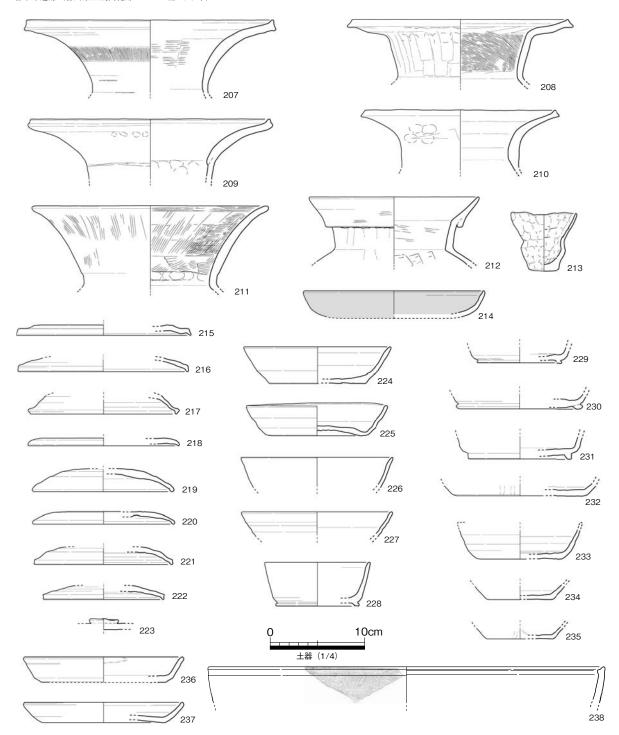
第 56 図 VII区 SR01・SR02 出土遺物実測図 1



第 57 図 VII区 SR01 · SR02 出土遺物実測図 2

津 b 類系土器だが、142 は胎土中に角閃石は含まない。 $134 \sim 138$ は叩き成形の甕で叩きの後に刷毛目調整を施しすものが多い。 $139 \sim 141$ は小形甕である。 $144 \sim 151$ は弥生土器鉢である。口縁部が「く」の字に外反するものと直口のものがある。 $145 \cdot 146$ は内面にヘラミガキを施すことから鉢に含めた。147 は叩き成形の鉢で口縁部が片口となる。 $151 \cdot 152$ は手づくねのミニチュア鉢である。

 $153\sim159$ は土師器である。 $153\sim155$ は壺である。153 は口縁部が若干外反しながら斜め上方に開く形態で体部は球形を呈すものと考える。154 は玉葱形の体部に斜め上方に直線的に開く口縁部がつく形態の壺である。155 は体部と口縁部境が不明瞭な小形壺である。 $156\cdot157$ は内面上半に顕著な指押さ

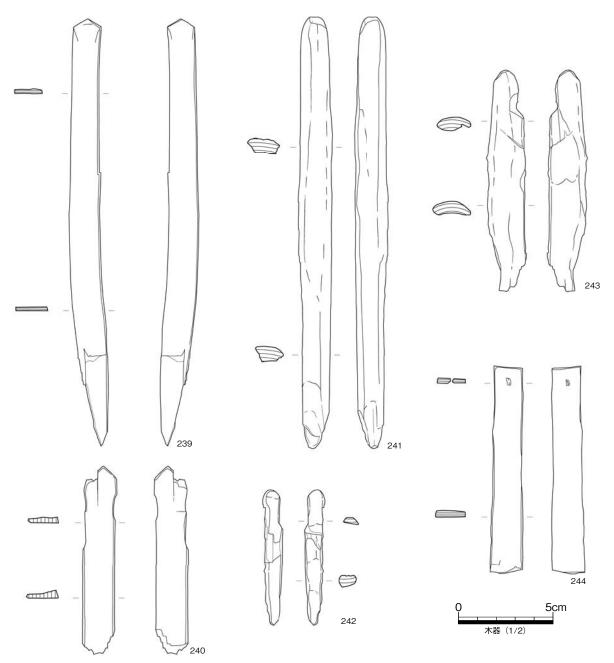


第 58 図 VII区 SR01・SR02 出土遺物実測図 3

えを施す甕である。158は小形の鉢、159は脚柱部が円筒形となる高杯である。

WI⊠ SR01 · SR02

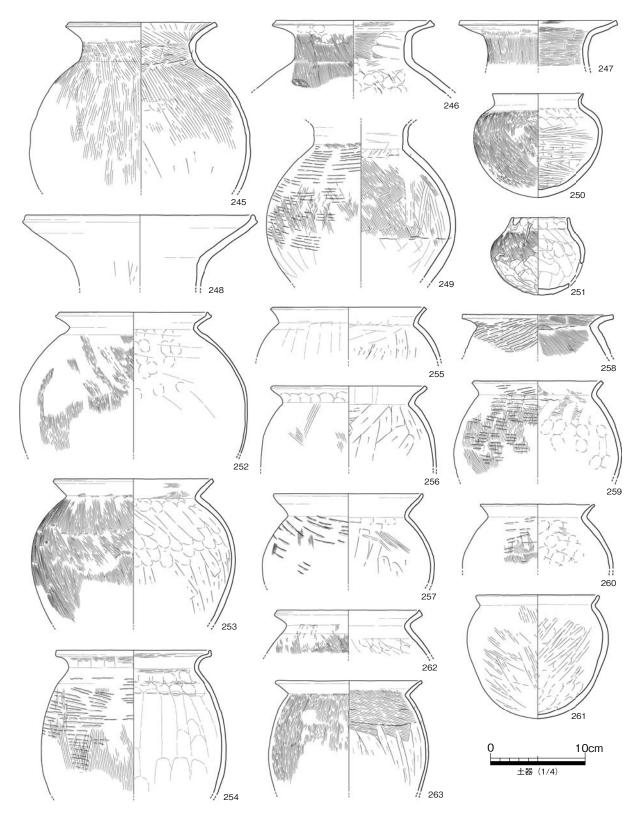
断面 V 字形状を呈す SR01(第 15 図 3 \sim 18 層)は西肩の SR02(19 \sim 26 層)とともにその上半を掘削し、SR01 上層として遺物を取り上げた。そのため SR02 の出土遺物の大半が SR01 として取り上げられている。さらに SR01 下層・最下層として掘り下げた層位から斎串等の木製品が出土し、その時点で



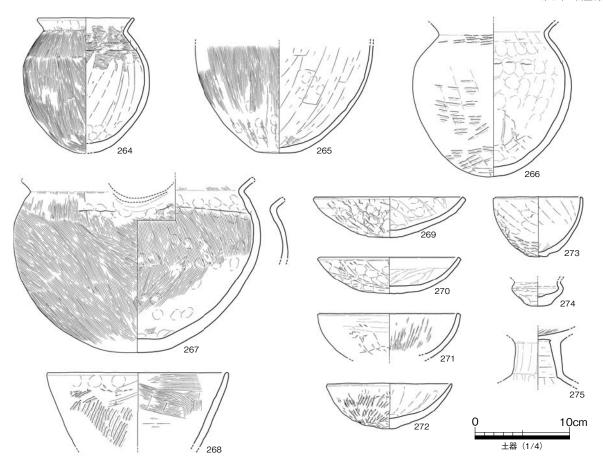
第 59 図 VII区 SR01・SR02 出土遺物実測図 4

層位関係を把握したが、その時には SR02 堆積層はすでに掘りあがっていた。そのためここでは両河川 出土遺物を基本的には一括して取り扱い、明確な遺物のみ出土層位の説明を加える。

 $160 \sim 186$ は弥生土器である。 $160 \sim 166$ は壺で $160 \sim 163$ が広口壺、164 が小型丸底壺、 $165 \cdot 166$ は壺底部である。 $167 \sim 176$ は弥生土器甕である。下川津B類系の甕($167 \sim 171$)と叩き成形の甕($172 \sim 176$)がある。 $177 \sim 180$ は弥生土器鉢である。 $177 \cdot 179$ は丸底で直口のタイプ。178 は口縁部が僅かに屈曲し外上方に摘み出すタイプ。180 は口縁が「く」の字に屈曲するタイプである。 $181 \cdot 182$ はミニチュア鉢である。 $183 \sim 186$ は弥生土器高杯である。口縁部 2 点はいずれも下川津 b 類系の高杯。 $187 \sim 213$ は古墳時代の土師器である。 $187 \sim 193$ は高杯で口縁部形態は多様である。 $195 \sim 201$ は甕である。器面調整に板状工具または柔軟体の工具によるナデ調整を多用する。201 は口縁部が二重に立ち上がり



第60図 WI区 SR01 出土遺物実測図1



第61 図 Ⅷ区 SR01 出土遺物実測図 2

外面に刷毛を施す吉備系甕である。202 は口縁部が短く屈曲する鉢、 $203 \sim 206$ は丸底で直口の鉢である。 $207 \sim 212$ は壺である。208 は中折れして口縁部が水平に広がる形態、211 はラッパ状に口縁部が開き端部を拡張しないものである。212 は頸部が直立し明確な粘度接合痕を介して口縁部に接続し斜め方向に直線的に開く形態の壺である。それ以外の3点はラッパ状に口縁部が開き端部を拡張して端面を窪ませる形態を呈す。213 はミニチュア壺である。214 は古代の土師器皿である。内面は赤色顔料の痕跡が顕著だが、外面はかろうじて痕跡がある程度である。 $215 \sim 238$ は須恵器である。 $215 \sim 238$ は須恵器である。 $215 \sim 238$ は変の口縁部で外面に横描波状文を施す。

 $239 \sim 244$ は SR01 下層(最下層か)出土の木製品である。239 は斎串である。針葉樹の板目材を使用する。頭部を三角に成形し両端に切り込みを1 か所ずつ入れる。下端は尖らせる。240 はモミ属の柾目材で頭部は三角形に成形し上半の左右両側刳り込みが入る。斎串に似ているが柾目材を使用することから懐疑的である。241 はヘラ状木製品である。ヒノキの板目材を使用し下端をヘラ状に薄く成形する。242 はアスナロの柾目材を使用した刳り込み入りの棒状木製品である。上端部をやや丸く成形したように見える。243 はヒノキ柾目材の板状木製品である。建築材か。244 はコウヤマキ製の板目の木製品である。上端に釘穴を穿つ。曲げ物側板かもしれない。いずれも赤外線観察を行ったが、墨書等は認められなかった。

以上のⅢ区 SR01·SR02 は弥生時代後期後半古相から古墳時代前期まで存続した後、8世紀から9世